

生物

の謎を

解く、

最先端

のその

先へ。

日本大学
生物資源科学部は
2023年4月
新学科体制へ。

設置届出書類提出中

※設置計画は予定であり
内容が変更となる場合があります。

2023

生物の謎を解く、最先端のその先へ。

その好奇心が、
ときめく未来を
つかむんだ。

2023年4月
新学科
体制へ。
設置届出書類提出中
※設置計画は予定であり
内容が変更となる場合があります。

生物の謎を解く、最先端のその先へ。
日本大学生物資源科学部

日本大学 生物資源科学部が 変わる

日本大学生物資源科学部
2023年4月新学科体制スタート!

未来は、必ずやってきます。ただしそれは、深刻な食料危機や修復不可能な環境破壊、世界を襲うパンデミックなど、人類の生存をおびやかす諸問題を伴って訪れ、解決のめどが立たないものもたくさんあります。厳しい明日を座して待つのではなく、希望の持てる将来へと変えていくため、大学にできることは何か。日本大学生物資源科学部では、生命や食料、資源、環境などのテーマに新たな視点で教育・研究に取り組み、最先端の知識や技術、SDGsやOne Healthの意識を持って対応できる人材の育成が急務であると考えています。そこでこのたび、学科の構成や教育内容を大きく見直し、全11学科の新しい日本大学生物資源科学部として生まれ変わります。未来を見据えた新学科で、一人ひとりにより深い学びを。そこから未来は変えられます。

広く研究を知り、自分の学びを選ぶ

STUDY SIDE

スタディ編

好奇心が騒ぎ出す、
自分だけの研究領域を見つけよう。

生命の謎に迫る?食の豊かな可能性を拓く?それとも環境や資源問題を解決する?あなたは大学で何を学び、どんな夢に挑戦したいと考えていますか。生物資源科学部は、好奇心旺盛なあなたを迎える知のテーマパーク。多くの先生や先輩方が独創的な研究課題に没頭し、あなたが仲間に加わる日を心待ちにしています。多様な専門分野を網羅する11学科の中から、ワクワクするような学びの小宇宙を見つけてください。



CONTENTS

02 学部長からのメッセージ

04 学びのキーワード
生物資源科学部の新しい11学科で学べること

06 11学科の研究と学びの特色
学科紹介

50 より高度な学びへ
大学院紹介

52 ここが知りたい
Q&A 新しい生物資源科学部での学び方



学生生活を楽しみ、
明日に備える
ライブ編
LIFE SIDE

夢を叶える
生物資源科学部はここがすごい!
進路別に充実したキャリア支援 02

学びによりそう
一人ひとりを支える教育支援体制 09

先輩からのメッセージ
生物資源科学部で学び、社会で活躍する先輩たち
MESSAGE FROM GRADUATES 11

フィールドでのリアルな学び
FIELD SCIENCE & CAMPUS LIFE 17

課外活動紹介
CLUB & CIRCLE 26

湘南エリア紹介
ロケーション 27



このガイドブックには両サイド(スタディ編・ライブ編)があります。
学びや研究に関するスタディ編はこちら側から、学生生活や就職に関するライブ編は反対側からお読みください。



輝く未来を創生するために

日本大学生物資源科学部は、神奈川県湘南（藤沢市）にキャンパスがあります。緑豊かなキャンパスは、東京ドーム12個分に相当する広大な面積を有し、小田急線の「六会日大前駅」から徒歩3分と極めてアクセスの良い環境にあります。キャンパス内には、博物館、動物病院、図書館、農場、演習林をはじめ最先端の機器を備えた研究施設が集中しており、学部・大学院の教育・研究に利用されています。

現在、世界は急速な人口増加やそれに伴う食料問題、地球温暖化に代表される環境問題をはじめ、新型コロナウイルス感染症のような新興感染症の出現など多くの解決すべき問題を抱えています。また、急速にグローバル化・ボーダーレス化した社会においては、過去に経験したことのない複雑な問題がでてまいりました。それらの解決には、国連サミットで採択された「持続可能な開発目標（SDGs）」に向けていち早く行動を開始するとともに、人・動物とそれを取り巻く環境・生態系の健全性を「一つの健康（One Health）」として包括的に捉え、関連する学術分野が連携・協力して解決に当たる必要があります。

本学部では、早くからSDGsやOne Healthに関連する学問分野に取り組んでまいりました。ここでは、「生産・利用科学」、「生命科学」、「環境科学」を柱とする体系的なカリキュラムを通して、生命・食料・資源・環境分野の分子・生体レベルからフィールドに至るまでのさまざまな知識や技術を学ぶことができます。また、本学部の特色である「フィールドサイエンス教育」では、学内の付属施設・実験室、あるいは

下田臨海実験所をはじめとする学外の施設を利用して、講義で学んだ内容を実際に自らの目で確かめ、感じ、手を動かして着実に身につけていきます。これらの教育・研究を通じ、自然とSDGsやOne Healthを理解し、それらにかかわる諸問題の解決能力を身につけ、国際的に活躍できる「実践力」のある人材を育成してまいります。そして、日本大学の教育理念「自主創造」の構成要素である「自ら学ぶ」、「自ら考える」及び「自ら道をひらく」能力を培っていきます。

大学は、学生の皆さんがそれぞれの目的に向かって学び・研究し、切磋琢磨しながら、あるいは協力しながら豊かな人間性を形成していく場でもあり、その過程で出会った仲間は、かけがえのない生涯の友となります。キャンパスでは、全国から集まった6,700名を超える仲間たちが、自然を身近に感じながら日々学び、研究し、熱心に議論をしたり、楽しく語り合う姿やクラブ・サークル活動に精を出す姿をそこかしこで見かけることができます。また、キャンパスからほど近いところには景勝地の湘南海岸や江の島、古都鎌倉がありますので、休日には気の合った仲間たちと訪れて勉学の疲れを癒し、また将来の夢や希望を語り合い、友情と絆を深めるのも良いでしょう。

私たち教職員は、皆さんの未来の夢を実現できるよう、そして充実したキャンパスライフを送ることができるよう、全力でサポートいたします。輝く未来を創生するために、この湘南の地で皆さんと一緒に学び、研究できることを心から楽しみにしています。

日本大学生物資源科学部

学部長

丸山 悠一



生物資源科学部の

新しい11学科で

学べること

生物資源科学部には、生命や食料、資源、環境に関する諸問題の解決に向け、多彩な視点でアプローチする11の新学科が誕生しました。各学科におけるホットなテーマや研究領域を示すキーワードから、ご自身の興味や好奇心がかなう学びの舞台を、ぜひ発見してください。

P06 バイオテクノロジーで生命現象を解明し、社会に役立てる

バイオサイエンス学科

遺伝子とゲノム サプリメントと薬理学
 栄養と健康 発酵と醸造
 生理活性物質 スマートセルインダストリー
 医薬と化粧品 微生物と植物

P10 動物の生活史や生体機能、進化の背景を解明する

動物学科

動物自然史・博物学
 動物細胞と免疫動物学
 動物昆虫動物系統分類
 動物生理虫哺乳類・鳥類
 動物の保全と環境
 動物生命史 動物生命科学

P14 海洋生物や海洋環境について研究し、海洋資源を社会に生かす

海洋生物学科

海洋生物由来の有用物質探索・利用
 水圏生態系 海洋環境の保全
 水産加工食品 海洋教育・水族館
 水産増養殖 魚病の診断と予防
 魚類・無脊椎動物の生理・生態

P18 森林と人間社会との関係を理解し、森林の保全と利用を図る

森林学科

森林きのこのインテリア
 ツーリズム 森林環境教育
 リーズム 森林微生物
 ム 森林バイオマス利用
 森林空間情報
 森林フィールド実習

P22 身近な自然環境や地球環境、都市環境、防災について研究する

環境学科

自然環境 地球温暖化
 防自然保護
 環境都市環境
 循環型社会
 再生可能エネルギー

P26 付加価値の高い農畜産物の生産やフラワー装飾について研究する

アグリサイエンス学科

スマート農業 品種改良
 フラワーサイエンス
 乳製品 食料生産
 製品 アグリバイオテクノロジー

P30 安全で健康に役立つ未来の食品を創造、開発する

食品開発学科

新食素材開発 お食と脳科学
 食の安全 機能性食品
 食の安全 食品創生

P34 食の流通やビジネス、食にまつわる文化について研究する

食品ビジネス学科

食料資源 食文化
 食文化 食産業
 食文化 食産業

P38 国内外での体験を通じグローバルな視点でビジネスや文化・社会を学ぶ

国際共生学科

持続性社会 食料貿易
 国際社会協力
 国際社会協力

P42 優れた愛玩動物看護師を養成し、人と動物の健康と福祉に貢献する

獣医保健看護学科

動物のしつけ 動物病院実習
 動物のしつけ 動物病院実習

P46 優れた獣医師を養成し、動物の健康を守り公衆衛生に貢献する

獣医学科

高度・先端獣医療 動物の再生医療
 動物の再生医療 動物の再生医療

バイオサイエンス学科



スパイスには、金銀より貴重なものが眠っている？

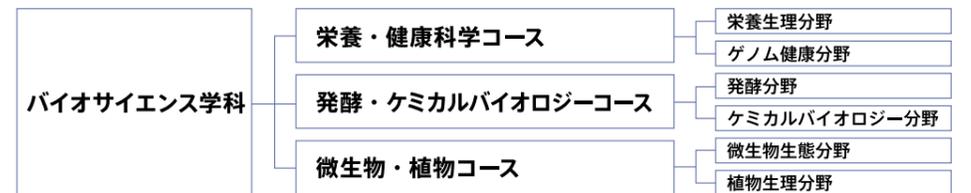
食事をおいしくしてくれるスパイス。中世ヨーロッパでは同量の金銀より高値で取引されたともいいますが、今やスーパーでも手に入る代物に、なお金銀以上のお宝が眠っているなんてホントでしょうか。上の写真の星形をした実は、中国原産のトウシキミから採れる八角。じつはインフルエンザウイルスに効く抗ウイルス薬のタミフルは、この八角からとれるシキミ酸を原料として合成されています。なるほど、それなら金銀以上の価値も期待できるわけです。こうした人の健康に役立つ「生理活性物質」の多くは、自然界にある植物や微生物などに由来します。しかしそれをバイオの視点で正しく評価し、医薬品などの役立つ物質へと応用していく過程は試行錯誤の連続。職人的な技や勘さえ必要とされていました。そんな状況を一変させたのが、ヒトゲノムの解読など生命情報の蓄積とコンピュータの進化です。袴田航教授は、さまざまな生理活性物質をコンピュータによる分子シミュレーションで最適化し、有機合成することで、より優れた生理活性物質を創成する研究を行っています。この方法なら勘に頼らず目標とする化合物を「論理的に設計できる」と、袴田教授は強調します。自然の恵みと最新の IT 技術を結びつけ、人の役に立つお宝を探究する。大航海時代よりもスリリングな科学の冒険が、バイオサイエンス学科から始まっています。

バイオサイエンス学科って、どんなところ？



学科の特長

1年次にバイオサイエンスの基礎科目を学んだ後、2年次以降に3つの専門コースに分かれる緩やかなコース制を採用しています。各コースは各々2つの専門分野に分かれます。



先端的バイオテクノロジーを学ぶ唯一の学科

バイオサイエンス学科は、生物が持つ多様な情報・物質・機能を最大限に活用するためのバイオサイエンスを広く学ぶ、生物資源科学部でも唯一の学科です。本学科では、生命および生命現象を普遍的に理解し、人々の生活を豊かにするため、バイオサイエンス分野の幅広い知識と研究基礎力、さらに実践的な課題発見・解決能力をアクティブ・ラーニングやPBL(問題解決型学習)を活用して修得することを学びの目標としています。

情報・デジタル技術の積極的な活用

バイオサイエンスの分野においても、情報・デジタル技術の導入と活用が不可欠となっています。そのような時代のニーズに対応するため、ITとAI(人工知能)に関する基礎・応用の科目を多数設置しました。基礎科目では「データサイエンスの基礎」、「AIと生命情報科学」など。また、コンピュータを使った遺伝子情報の解析や、画像情報を活用した細胞やウイルスの解析など、先端的・挑戦的な科目も導入されています。

専門分野を広くも深くも学べるコース制

バイオサイエンス学科では、専門分野の異なる3つのコース(栄養・健康科学コース、発酵・ケミカルバイオロジーコース、微生物・植物コース)が、入学後に選べます。1年次では基礎的な科目を通じて学科の学問領域と内容を理解し、2年次より専門コースに分かれ、3年次より研究室に所属します。2~4年次まで1つのコースに所属すれば、特定の専門分野を究めて深く学ぶことができます。また、異なるコース科目の履修や年次ごとのコース変更も可能な緩やかなコース制となっているので、バイオサイエンスを幅広く学ぶという選択肢も選べます。

学びと社会とのつながりを重視

本学科の最終目標は、バイオサイエンスの知識と研究基礎力を活かし、新産業の創生や、健康で活力のある社会の実現を可能にする人材を養成することです。そのための科目として、新しいバイオ産業の創出に役立つ「革新的バイオ産業の創出」、「スマートセルインダストリー」、産業との連携を意図した「インダストリーと栄養」、「医薬と化粧品化学」、「インダストリーと微生物」などを設置しています。そうした授業では、企業や研究所の研究者・開発者などを講師として招き、実社会でどのようにバイオサイエンスが活かされているかも講義していただきます。

学修の流れ

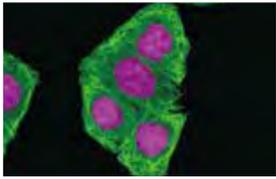
1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
学科の理念や概要を理解します。学科の専門科目は全て必修とし、全員が同じカリキュラム(教養教育科目は除く)で学修をすすめます。それにより、1年次でバイオサイエンス学修のコアを形成します。	選択したコースで、少人数での専門的な学修がスタート。各コースの学修領域・研究内容・研究室を理解するための科目を学びます。2年次より学生実験も始まり、各コースで特徴的な実験技術を習得します。	コース単位・研究室単位で、少人数での専門的な学修を継続します。また、社会とのつながりを意識させる科目や、キャリア教育科目の履修により、早い段階から卒業後の進路について考える機会を設けます。	所属する研究室で、一年間の卒業研究(必修)に取り組みます。コースおよび研究室で実施するプレゼンテーション科目を設置し、日本語および英語でのサイエンス・プレゼンテーションも指導します。

科目一覧



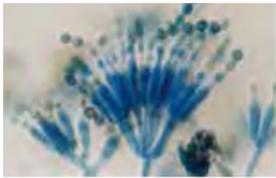
【全コース共通】

バイオサイエンス入門、バイオサイエンス概論、バイオサイエンス体験、細胞生物学、有機化学、分子生物学、微生物学、生物の有機化学、ゲノム生物学、バイオサイエンス演習Ⅰ～Ⅳ、バイオサイエンス英語Ⅰ～Ⅱ、分析化学、生命とバイオの倫理、生体分子の構造解析、AIと生命情報科学、バイオインフォマティクス、分子間相互作用学、生物統計解析学、革新的バイオ産業の創出、食品衛生学、バイオ英語プレゼンテーションⅠ～Ⅱ、バイオサイエンス研究Ⅰ～Ⅱ



【栄養・健康科学コース専門科目】

栄養科学、栄養と健康科学、人体と生命の科学、分子栄養学、食と健康科学、代謝生化学、栄養機能学、アレルギーと免疫の科学、病態生化学、サプリメントと薬理学、スポーツと健康科学、インダストリーと栄養、栄養と健康科学実験Ⅰ～Ⅲ、バイオサイエンス解析法Ⅰ



【発酵・ケミカルバイオロジーコース専門科目】

タンパク質と酵素の科学、バイオマスを知る、バイオマスを活かす、バイオマス発酵学、発酵科学、サステナブルイノベーション、分子創生の科学、ケミカルバイオロジー、生理活性物質の科学、創薬科学、天然物化学、医薬と化粧品化学、発酵とケミカルバイオロジー実験Ⅰ～Ⅲ、バイオサイエンス解析法Ⅱ



【微生物・植物コース専門科目】

微生物遺伝学、DNAテクノロジー、植物の細胞生理、微生物生理学、遺伝子とゲノムの情報学、植物細胞分子生物学、微生物機能利用学、インダストリーと微生物、植物と微生物の相互作用、オミクス解析学、エピジェネティクスとゲノム編集、植物のシグナル伝達、植物免疫学、スマートセルインダストリー、植物の機能と制御、微生物と植物実験Ⅰ～Ⅲ、バイオサイエンス解析法Ⅲ

将来の活躍分野

栄養と健康増進・ヘルスケア分野(医薬品・医療関係等、機能性食品、栄養食品、サプリメント等)の企業、豊かな生活に貢献する分野(化粧品、香料、飲料、酵素、新素材等)の企業、微生物や植物を基盤としたバイオ産業関連(発酵食品、種苗、バイオ資材、生物農薬等)の企業、生命情報とデジタルを活用した産業(IT、遺伝子検査、画像診断等)、さらには中学校や高等学校の理科教諭、学芸員、地方・国家公務員、大学院への進学なども視野に入ります。

卒業後のキャリアにつながるカリキュラム

3年次は6月頃からインターンシップなど就職活動が始まり、翌年3月からの企業説明会、面接選考とより本格化します。卒業後にバイオサイエンス領域の専門性を活かし、社会で活躍できるよう、2年次から無菌操作や細胞培養、機器分析の基礎などの専門的な実験スキルを身

資格

(予定であり、変更となる場合があります。)

【取得できる免許・資格】

中学校教諭一種免許状(理科)[※]、高等学校教諭一種免許状(理科・農業)[※]、自然再生士補

[※]申請中。ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります。

【任用資格(卒業後の実務経験により取得できる資格)】

食品衛生管理者、食品衛生監視員、学芸員、環境衛生監視員、家庭用品衛生監視員、環境衛生指導員

【受験資格】

甲種危険物取扱者、化学分析技能士(2級)、バイオ技術者認定試験(中級・上級)

につけます。さらに3年次では、社会での活躍をイメージできる実践的な講義や研究室でのキャリア教育を行い、就職活動での自身の強みやアピールポイントを身につけられるよう学修面の支援をします。さらに研究を継続し専門性を高めたい学生は、大学院進学も目指せます。

栄養・健康科学コース

栄養・遺伝子・ゲノムなどの研究によって疾病の予防や改善をめざし、人々の健康な暮らしに貢献することを目標としています。栄養生理分野とゲノム健康分野に分かれます。

栄養生理分野

生活習慣と疾病の関係を栄養学的視点から解明します。

関泰一郎 | 栄養生理

複雑な生命現象と栄養の関係を明らかにし、メタボリックシンドローム・生活習慣病の予防・改善をめざします。

近藤春美 | 脂質代謝・吸収

日本人の死因の4分の1を占める動脈硬化性疾患を予防する物質を食品や栄養成分から探索し、健康寿命の延伸に貢献します。

細野 崇 | 栄養・神経・加齢

アルツハイマー病をはじめとした加齢に伴って発症するさまざまな病気に対して、栄養学的な予防法の確立をめざします。

増澤 依 | 栄養生理

タンパク質や食物繊維などの栄養素の適切な摂取量と質について研究し、脂肪肝や炎症性腸疾患の予防と改善に役立てます。

ゲノム健康分野

ゲノムや遺伝子の視点から健康を支える生命活動のしくみを解明します。

司馬 肇 | 細胞死・老化

細胞と組織の老化の分子メカニズムを解明し、人々の健康維持と病予防に役立てます。

舩廣善和 | 高機能タンパク質創生

高機能組換え体タンパク質を主としたバイオ医薬品開発研究により健康長寿をめざします。

新井直人 | DNA組換え

ゲノムDNAが傷を受けた時に、それを修復するメカニズムを明らかにして健康に貢献します。

渡邊泰祐 | 遺伝子・麹菌

麹菌等の醸造微生物が生産する香気物質とその生成機構の研究を通して人々の健康に貢献します。

相澤朋子 | 有用微生物利用

極限環境で細菌が生き抜くためのメカニズムの究明を通じて、人の生活と健康の向上に貢献します。

発酵・ケミカルバイオロジーコース

分子レベルで生物の機能を理解し高度に制御することで人々の豊かな暮らしに必要な技術や物質を開発し、豊かで持続可能な社会の構築に貢献することを目標としています。発酵分野とケミカルバイオロジー分野に分かれます。

発酵分野

微生物などの多様な機能を解明し、その制御を通じて有用物質の生産系を築きます。

光澤 浩 | 微生物遺伝

細胞が自分を食べるオートファジーのしくみを酵母を用いて明らかにし、技術開発につなげます。

荻原 淳 | 発酵・醸造微生物代謝

酵母やカビなど発酵醸造微生物の持つ特別な機能を明らかにして、利用応用をめざします。

上田賢志 | 微生物生理

微生物間の共生関係を化学因子の役割に着目して解明し、バイオマス活用法に新たな道を拓きます。

高野英児 | 医薬微生物・物質生産

微生物センサーから学んだことを微生物工場デザインに応用し、効率的なバイオ生産系を創ります。

西山辰也 | 酵素・生体触媒

酵素、有機触媒の微生物からの探索研究をバイオセンサーに応用し、新規測定系の確立をめざします。

ケミカルバイオロジー分野

機能性分子をツールとした生命現象の解明や創薬等への応用をめざします。

明石智義 | 植物代謝生化学

植物由来の活性物質がつくれるしくみを明らかにし、ゲノムやタンパク質工学の点から植物の機能の向上をめざします。

袴田 航 | 生物有機

分子シミュレーションと有機合成を駆使して新たな生理活性物質を創成し、抗ウイルス剤や抗がん剤等の創薬をめざします。

伊藤紘子 | 植物生理活性物質

有用な植物の生理活性物質の探索および合成量の調節機構の解明を通じて、物質の合成量をデザインできる技術の確立をめざします。

平野貴子 | 合成・物質変換

自然界の糖質などを原料として酵素合成により生理活性物質を創り出し、化粧品や医薬品に役立てることをめざします。

微生物・植物コース

人々の快適な生活環境や食料の提供に欠かせない微生物と植物のユニークな生理生態を、細胞・分子レベルで解明・理解し、快適な社会や産業利用に貢献することを目標としています。微生物生態分野と植物生理分野に分かれます。

微生物生態分野

地球上に普遍的に存在する微生物による物質循環や機能・生理・生態を解明します。

高橋令二 | 環境微生物

窒素循環に関わる微生物の探索や分離を行い、有用な機能を利用することをめざします。

中川達功 | 微生物生態・ゲノム

低エネルギーで二酸化炭素を固定し有用化合物を創り出す硝化菌を研究開発します。

岩淵範之 | 特殊環境微生物

油の中で生きる微生物の研究を通して生命の新しい形やしくみを理解し、その様々な有用機能を新しい産業の創出に役立てます。

土屋雄揮 | 界面微生物生態

海藻(海藻ではありません)の表面や内部に棲息する微生物の機能を解明し、生物多様性の維持に応用します。

植物生理分野

食料・有用物質の生産工場である植物の機能・病気の解明をめざします。

内山 寛 | 植物分子遺伝

バイオテクノロジーを駆使して植物の不思議な力(食虫性やストレス応答)の解明をめざします。

新町文絵 | 植物栄養生理

植物の養分吸収や代謝に着目して、植物のもつ有用機能の探索と解析、その利用をめざします。

井村喜之 | 植物ウイルス

病原微生物やウイルスが植物に感染するしくみと植物の潜在能力を理解し、植物改良に挑戦します。

土屋徳司 | 遺伝子発現制御

遺伝子・エピジェネティクスからみた植物免疫を解明し、新規耐病性植物の創生をめざします。

奈島賢児 | 植物遺伝情報

果実や花の特徴的な成分や形態に着目し、ゲノム・遺伝子から植物の謎を解き明かします。

動物学科



骨だけで失礼します。さて、私は誰でしょう。

「私は日本大学生物資源科学部「骨の博物館」に収蔵されている骨格標本。日本に生息するごく普通の動物です。なぜここにいるかという、私たち「種」の特徴を調べるのに重要だからです」と、誇らしげに語るのは骨の主。ところであなたは生物の「種」が、どのように定められ分類されているか、考えたことはありますか。例えばキリンなどは、似た動物がほとんどおらず分類も容易。しかしネズミや昆虫などは多様性に富み、似たような種が沢山いるので大変です。今はDNA一発でわかるんじゃないの?と、疑問に思う方もいるでしょう。じつはDNAは、塩基配列が同じでも発現の仕方が異なるなど、有力証拠となっても決定打としては難しいのです。「動物の分類(分類学・体系学)には、骨格はもちろん、形態・遺伝・生態・生理など、多くの特徴から総合的な判断が必要になります」と話すのは、「種」の研究に取り組む岩佐真宏教授。この分野は、基礎中の基礎として生物学を根底から支えていると強調します。「自然界には「種」という生物の単位があり、それにならう分類体系は唯一無二であると考えてるのが、自然分類と呼ばれる基本理念です。ゆえに「種」とは何か、は生物学にとって永遠のテーマでもあるんですね。」さて、あの骨の主は結局誰だったのか。答えはぜひ「骨の博物館」を訪ね、ご自身の目で確かめてください。

動物学科って、どんなところ?



学科の特長

動物学科には4つの学びの分野があります。学生は必修科目に加え、それぞれの興味や将来の進路に合わせ、各分野から講義や実習などを選択することができます。多様で幅広い分野を有する本学科では、分子から生態系まで動物に関するあらゆることを学べます。

動物学科

動物生理分野

動物細胞・免疫分野

動物自然史分野

動物生態・保全分野

動物の基礎研究に取り組める唯一の学科

動物学科はすべての動物(脊椎動物・無脊椎動物)を研究対象とし、動物学について学ぶ学科です。本学部には他にも動物を扱う学科がありますが、食や畜産、獣医療などを研究する学科であり、純粋に動物を研究する学科は本学部でも唯一といえます。そのためカリキュラムも基礎分野の充実を図り、学生が本格的な研究を無理なく展開できるよう配慮しました。興味を突き詰めることで「動物の謎を解明する」面白さに出会える学科だと自負しています。

4つの分野から動物を多角的に解明

動物の生態の研究には、動物を取り巻く気候や植生、地理など多彩な環境要因が関係してきます。また、動物の生理的なメカニズムの解明には、微生物や生化学的なアプローチも必要となります。本学科は、「動物生理」「動物細胞・免疫」「動物自然史」「動物生態・保全」の4分野を柱に、進化学・遺伝学・形態学・生理学・生態学・分子生物学・環境科学・保全生物学といった多方面から動物の謎を解明していく教育研究を展開しています。

3万点の資料が貴重な教材となる付属博物館

本学部に併設されている「骨の博物館」は、神奈川県下の大学で初めて「博物館相当施設」の指定を受け、骨格標本を始め約3万点の収蔵品を保管する本格的な博物館です。その運営や展示などには本学科の教員が深く関わっており、本学科における体験的な授業や教育研究の場としても広く利用されています。また、学芸員資格を取得するために必要な「博物館実習」の場としても活用されています。

教育や研究分野を志す学生に最適の学び

動物学科は基礎分野に重点を置き、本学部の中でも「科学」や「生物学」に大きく関わる学科です。そのため将来的に高等学校・中学校の教諭、博物館の職員などをめざしている方には、動物学科の学びが最も適しているといえるでしょう。また、基礎分野に重点を置いた動物学科は、多様な視点から俯瞰する柔軟な思考能力を養い、どのような職種にも対応できる人材を育てます。

学修の流れ

1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
動物学に関する基礎科目を学びます。後期から始まる「動物学基礎実験Ⅰ」では、複数の教員によるオムニバスの実験メニューにより、動物学の基礎に関わる実験・調査方法を修得します。	1年次から引き続き「動物学基礎実験Ⅱ」を始めとする基礎的な科目を履修します。さらに、4分野に関する選択科目や、「フィールド調査実習」など、応用的な選択科目も増えていきます。	それぞれの興味に応じ、より専門的な科目を選択します。例えば「骨の博物館」で行う「動物自然史博物館実習」もその一つです。また動物学研究(卒業研究)に取り組む専門分野を絞り、所属する研究室を決定します。	これまで学んだ基礎・応用科目の集大成として動物学研究に取り組み、自分なりの「動物の謎解き」を深めていきます。4年間で身に付けたスキルを携え、就職や進学に臨みます。

科目一覧

	【基盤領域】 最新の動物学、動物の多様性、動物細胞生物学、生化学、動物遺伝学、動物生理学、動物形態学、動物系統分類学、動物学基礎実験Ⅰ、分子生物学、哺乳類・鳥類学、昆虫体系学、動物学基礎実験Ⅱ、両生類・爬虫類学、基礎栄養学、動物組織学、動物科学論文講読、生物統計学、動物の福祉と倫理
	【動物生命史系科目】 動物行動学、動物生態学、フィールド生態調査法、動物自然史博物館学、応用昆虫学、海岸生物学、フィールド調査実習、動物学史、古動物学、動物自然史博物館実習、動物地理学
	【動物生命科学系科目】 動物発生学、免疫生物学、微生物学、実験動物学、生殖生物学、応用免疫学、動物学応用実験、神経生物学、生物情報学、再生生物学、時間生物学、動物バイオテクノロジー
	【動物の保全と環境系科目】 環境科学、外来動物管理学、野生動物管理学、保全生物学、動物と社会、都市動物学、動物心理学、保全生物学実習、動物の採餌と飼料、野生動物と飼育動物の感染症学、動物園飼育管理学
	【展開領域】 動物学特別講義、動物学演習、動物学研究Ⅰ、動物学研究Ⅱ

将来の活躍分野

高等学校・中学校教諭や博物館等の職員など、教育・研究関係の職種が挙げられます。また動物学科で学んだスキルを生かし、環境調査やその他自然科学に関わる業種、医薬品、化学メーカー、出版関係などの企業、公務員などが想定されます。もちろん大学院へ進学して自身の卒業研究をさらに深めることもできます。

日本唯一!骨の博物館

湘南キャンパス内に設置されている「骨の博物館」は、「骨の多様性と進化」をテーマに据えた日本でも数少ない博物館。「骨」「骨格」をキーワードとして陸海空の動物を中心に資料収集・展示を行っています。授業や実習の場として利用されるのはもちろん、地域に対しても生涯学習の場と機会を提供しています。今後は広義の「骨」「骨格」に関する様々な資料収集・展示を展開していきます。



資格

(予定であり、変更となる場合があります。)

【取得できる免許・資格】

中学校教諭一種免許状(理科)※

高等学校教諭一種免許状(理科)※

※申請中。ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります。

【任用資格(卒業後の実務経験により取得できる資格)】

学芸員

動物生理分野

動物の生体内における機能やメカニズムを、分子・細胞レベルから個体の行動レベルまで俯瞰し、解明していきます。

動物細胞・免疫分野

動物の発生・再生および免疫の仕組みを細胞や遺伝子・タンパク質の動きから解明していきます。

動物自然史分野

動物がどのような環境の中で進化を遂げ、分布や形態、生活史をどのように獲得してきたのかを研究します。

動物生態・保全分野

動物を生態学的な観点から研究し、生態系の保全や動物と社会との関わり、外来種の問題などにも取り組みます。

山室 裕 | 神経・行動特性

動物の毛色はその性質を想像させます。斑色のオオカミは野生的で狂暴、淡い色のウサギは穏やかで飼い易いなど。しかし、ヒトを含め動物の性格は“脳”で決まります。実は、毛色を決定する遺伝子は脳でも働いています。その関係を明らかにしようとしています。

加野浩一郎 | 細胞の運命決定

動物の体は多種多様な動きをもつ細胞で構成されています。たった一つの受精卵から発生するそれぞれの細胞がどのようなしくみで特殊な動きをもち、組織をつくるのか、組織が損傷すると細胞にどのような変化が起こり、再生するののかについて研究を進めています。

高橋恭子 | 免疫と腸内細菌

腸管には生体最大の免疫システムが存在する一方で、攻撃対象となるはずの非自己である腸内細菌が大量に生息します。この共生関係が成立するしくみを分子・細胞レベルで解明し、アレルギーなど免疫が関わる疾患や炎症をコントロールすることをめざしています。

岩佐真宏 | 「種」とは何か?

ネズミ類やモグラ類という、身近だけどあまりよく知らない哺乳類を対象に、分布と地理・地史・環境の関係から進化のプロセスを推定し、併せて形態や生態、ゲノムを調べ、私たちが普段使っている「種」という単位がどのようなものなのかを追究しています。

西村知良 | 昆虫の生活史

昆虫は、厳しい自然の中でも生き残り子孫を増やそうとして、環境にうまく適応し行動しています。その行動のしくみや生態学的意義を明らかにするために、生理学、神経組織学、行動学、生態学などの方法で個体レベルの研究を行っています。

細谷忠嗣 | 昆虫の動物地理

生物地理の境界地域である琉球列島において、コガネムシ上科甲虫の生物多様性の把握、生物地理的なパターンや島の生物相の形成史の解明を目的として、野外での分布・生態調査や実験室での形態比較、DNAによる遺伝的解析を用いて研究を行っています。

島山吉則 | 害虫防除と益虫保護

昆虫も人間と同様にウイルスや細菌などに起因する感染症にかかります。ミツバチなどの益虫を保護するためにも病原微生物の研究は欠かせません。その一方で昆虫に感染する微生物を活用して農業害虫や外来性昆虫の駆除に活用する研究を行っています。

中島啓裕 | 大型哺乳類の生態

大型哺乳類の生態を研究しています。アジアやアフリカの熱帯雨林でフィールド調査を行い、オランウータンやゾウなどの大型動物と植物の関係について調べてきました。最近では、最先端の調査・解析手法を用いた動物の分布・個体数推定にも取り組んでいます。

園田 豊 | 情報伝達

動物の生体機能調節は、様々な組織からの情報によるコミュニケーションで成り立っています。特に内分泌系は成長や繁殖などの生理調節やその維持に重要な役割を果たすため、繁殖活動に伴う内分泌と行動との関係について追っています。

三谷奈保 | 野生動物との共存

野生動物と人が共存する未来を実現するには、外来種や農林業被害だけでなく、市街地への出没や感染症との関係といった新しい課題もあります。これらを解決するため、フィールドや実験室で野生動物の生態や対策に関する様々な研究を行っています。

中西祐輔 | 腫瘍免疫

がん細胞は自分にとって都合の良い環境(腫瘍微小環境)を構築し、免疫細胞に攻撃されないように様々な細工をしています。そのがん細胞の施す細工の正体を突き止め、再び免疫細胞ががんを攻撃するよう仕向ける方法を開発することをめざしています。

相澤 修 | エピジェネティクス

生後に獲得した能力や性質は基本的に子孫に伝わらないというのが生物学の定説でした。しかし、現在ではその考え方も覆りつつあります。マウスなどのモデル動物を用いて、個体を取り巻く環境要因が子供や孫など次世代に及ぼす影響について研究しています。

沖 嘉尚 | 生命現象と情報

生命科学の進展によって、動物の生命現象に関する大量の実験データが集められ、巨大なデータベースに日々蓄積されています。それらの膨大なデータをコンピュータで解析し、生命現象を「見える化」することによって、新たな生命現象の発見に挑戦しています。

中井静子 | 海岸生物の多様性

海岸生物の種組成や個体数を継続的に調査し、大災害が生物群集や絶滅危惧種に与える影響を明らかにしています。またアクアリウムに日々蓄積されています。それらの膨大なデータをコンピュータで解析し、生命現象を「見える化」することによって、新たな生命現象の発見に挑戦しています。

明主 光 | 小型哺乳類の進化

日本列島における小型哺乳類の進化史がテーマです。日本各地のフィールド調査で標本を収集し、遺伝子・染色体・形態の解析から多様性を理解すること、さらにこの多様性の背景にある進化のプロトタイプと国内や野外への侵入経路の推定を行っています。

金澤朋子 | 飼育動物の行動生態

飼育下の野生動物の観察研究は、出生仔の身心の成長・発達や母子関係の変化、育仔行動など未解明な部分が多い生態情報を知る一助となります。また、適切な飼育環境づくりに必要な、各動物種の生活リズムや外的要因による影響の研究も進めています。

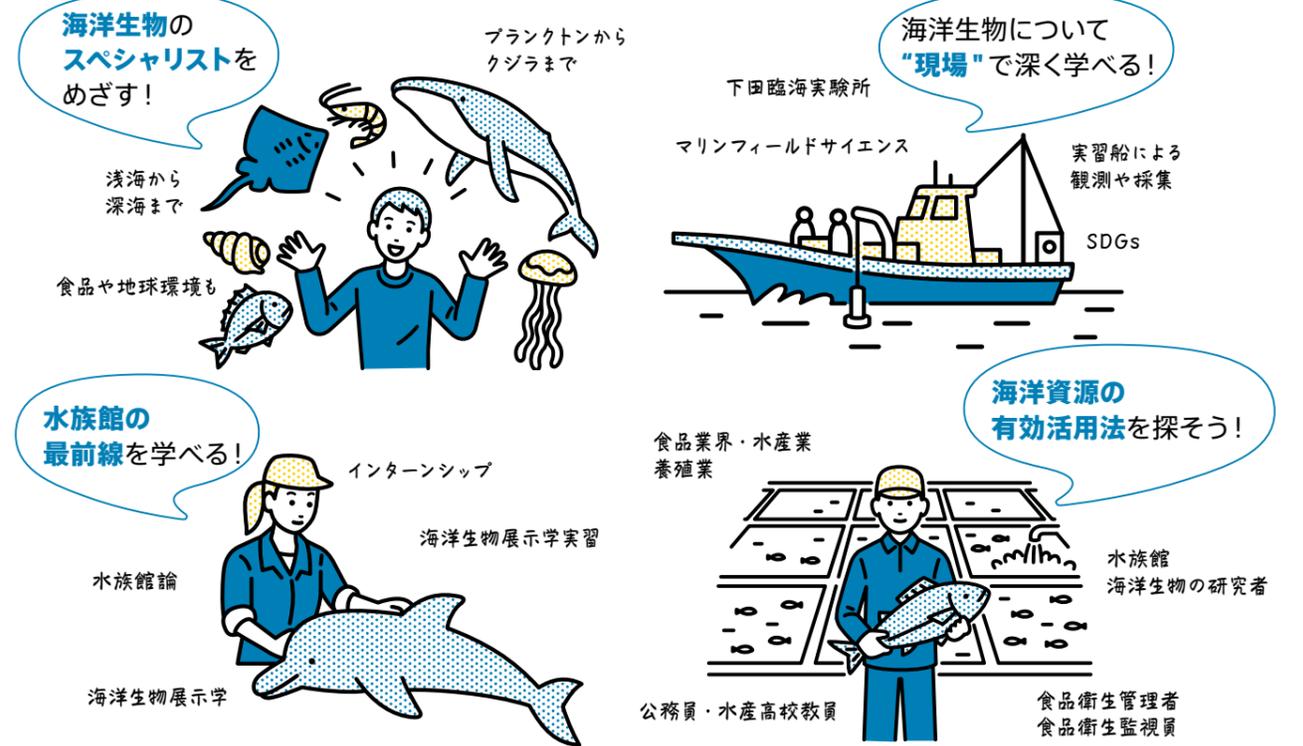
海洋生物学科



こう見えて、親譲りの猛毒ですぞ。

「たまにあたると命がない」ことから、大阪ではてっぽうとも呼ばれるフグ。フグ毒のテトロドトキシンは、青酸カリの千倍もの毒性を持つともいわれています。そもそもフグはなぜこれほどの猛毒を蓄えているのでしょうか。自衛のためだけだとしたら、ヘンなのです。フグ毒は肝臓などにあり、敵に食われてからしか効果を発揮しないのですから。この謎に挑むのは、海洋生物の相互関係について研究する糸井史朗教授。これまでの研究により、フグは磯に棲むヒラムシという生物を積極的に食べて毒を取り込んでいることがわかってきました。フグの親は卵巣にも毒を蓄積し、孵化したフグの赤ちゃんも生まれたときから強烈なフグ毒を持っています。しかも毒は頭部の表面やヒレなどに集中的に存在し、天敵は赤ちゃんをパクッと口にした瞬間、毒に気づいて吐き出してしまうのだそう。糸井教授はこうした事実をトラフグやクサフグを使った実験により明らかにしてきました。つまり毒は、母親から赤ちゃんに贈られた秘密の鎧だったのです。あのとげ顔のフグたちが、幼少期よりこんなしたたかな生存戦略をとっていたとは驚きですね。さらに糸井教授は、地球温暖化によるヒラムシの増加で、予期せぬフグ毒保有生物の発生も懸念しています。環境変化が海洋生物の生態をどう変えるのか。フグをめぐる研究は今後も目が離せません。

海洋生物学科って、どんなところ？



学科の特長

海洋生物学科には3つの学びの分野があります。学生は必修科目を除き、それぞれの興味や将来の進路に合わせ、各分野から授業や実習などを選択することができます。

海洋生物学科

水圏生命分野

資源生産・利用分野

海洋環境分野

海洋生物について幅広く学べる学科

海洋生物学科では、プランクトンや魚類、海獣類などを中心とした海洋生物について（水圏生命分野）、陸上動植物とは異なる海洋生物の食資源としての効率的かつ持続的な生産・利用（資源生産・利用分野）、さらに海洋生物を取り巻くマイクロからマクロまでの海洋環境（海洋環境分野）まで、幅広い領域を研究・教育対象としています。

飼育・展示や食品のプロを養成するカリキュラム

海洋生物に関する基礎的・応用的な講義・実験に加え、生物展示に関する科目（海洋生物展示学、水族館論など）や、水族館等でのインターンシップなどを通じ、海洋生物の特徴や魅力を人々に伝える際に求められる知識や技術、表現方法等を学ぶこともできます。また食品衛生コースでは、食品の安心・安全性の確保に資する食品衛生管理者と食品衛生監視員の任用資格も取得が可能です。

現場重視のマリンフィールドサイエンス

本学科では、実際に多様な海洋生物に触れつつ行うフィールド研究を重視しています。そのため静岡県下田市に「下田臨海実験所」を設置。生物採集船「すぎき2世(9.1トン)」を保有するほか、水中ドローン、水槽室、実験棟には顕微鏡の他、各種の実験装置を備え、多彩な実験・実習・研究に活用されています。また湘南キャンパスには、「海洋生物実験センター」があり、魚類の飼育をはじめ、遺伝子解析や化学成分分析なども行える設備を備えています。

海洋生物を軸にした幅広い進路の可能性

本学科の教員はそれぞれ異なる分野の専門家であるため、多様な研究領域をカバーしています。各教員が共同研究を実施している機関も様々で、同分野・異分野の大学研究室（海外を含む）の他に、水族館、国の研究機関や水産試験場、民間企業やその研究所など、多岐にわたります。研究室配属後は、実習や卒業研究などの活動の中で、このような共同研究先との取り組みを通して、自らの進路を見出していくこともできます。

学修の流れ

1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
海洋生物に関する基礎科目を幅広く学習し、さらにマリンフィールドサイエンスの基本的な知識・技術を身につけるため、下田臨海実験所で3泊4日の実習を実施。また、海洋生物展示学も受講できます。	すべての研究室で開講される学生実験を受講でき、多くの専門科目を学ぶことができます。これらを通して研究室を選択するための基礎知識を得ることができます。また、海洋生物展示学実習も受講することができます。	研究室に配属され、実習・演習を通してより専門的な学習を進めることとなります。同時に、企業や研究所、水族館などの学外機関・団体で実施する学外研修（インターンシップ）を受講することもできます。	所属する研究室で海洋生物学研究（卒業研究）に取り組み、得られた成果をもとに議論を重ねて結果を導く体験を通じ、専門分野を究めることができるカリキュラムが組まれています。

科目一覧



【共通系科目】

海洋生物学概論、海洋基礎実習Ⅰ、海洋基礎実習Ⅱ、水族館論、海洋生物展示学、海洋基礎生物、海洋基礎化学、海洋基礎物理、小型船舶操縦法実習、海洋生物展示学実習、海洋生物学演習Ⅰ、海洋生物学演習Ⅱ、海洋生物学実習Ⅰ、海洋生物学実習Ⅱ、海洋特別講義、水産経済学、バイオインフォマティクス論、水族統計学、学外研修、海洋生物学研究Ⅰ、海洋生物学研究Ⅱ

【生命科学系科目】

魚類学、無脊椎動物学、海生ほ乳類学、軟骨魚類学、生化学、生物機能化学実験、水族生理学、細胞組織学、生物機能化学、水族生理学実験、水族免疫学、栄養生理学

【生産科学系科目】

増養殖学、魚病学、水族発生学、漁業生産システム学実験、漁業生産システム学、魚病学実験、行動生態学、水産資源学、水族環境学、魚類繁殖行動学、魚群行動学、遺伝育種学

【利用科学系科目】

水産利用学、水産利用学実験、食品衛生学実験、水産食品化学、生物有機化学、海洋微生物学、食品微生物学、分析化学、食品加工学、ケミカルバイオロジー、食品衛生学

【環境科学系科目】

海洋環境学、プランクトン学、藻類学、海洋環境学実験、深海生物学、底生生物学、マリントキシン、水族生態学実験、水族生態学、海洋環境化学

将来の活躍分野

水族館や博物館、研究所、国家・地方公務員、環境アセスメント会社、製薬会社、建築会社、食品・飲料・乳製品などの製造・加工・流通に関わる会社など、海洋生物や海洋環境を対象とするパラエティーに富んだ分野・業界・職種で活躍できることを想定しています。海洋生物の飼育や展示、餌料についての多角的な学びは、養殖業や水族館産業への就職の懸け橋となることも期待されます。また、食品衛生管理者や食品衛生監視員、中学・高校の理科教員、高校の水産科教員といった進路もあります。中でも、水産高校や水産科の教諭になれる学科は、全国でもわずかしかありません。

充実した大学院教育との連携

海洋生物学の教員は、全員がそれぞれの分野の第一線で活躍する研究者です。文部科学省の科研費の高い採択率がそれを裏付けています。日本学術振興会の特別研究員に採択されて研究者をめざす博士後期課程の学生もいます。このような活発な研究への取り組みの下で大

資格

(予定であり、変更となる場合があります。)

【取得できる免許・資格】

中学校教諭一種免許状(理科)※、高等学校教諭一種免許状(理科・水産)※、食品衛生責任者、小型船舶操縦士免許(1級・2級)

※申請中。ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります。

【任用資格(卒業後の実務経験により取得できる資格)】

学芸員、飼料製造管理者、食品衛生管理者、食品衛生監視員、環境衛生監視員、家庭用品衛生監視員、環境衛生指導員

【受験資格】

化学分析技能士、バイオ技術者認定試験(中級・上級)

大学院教育が行われており、学部生は実習や学生実験の受講時、研究室への入室後の卒業研究等での関わりの中で大学院生から多くの刺激を受け、将来の研究者をめざすことができる環境が整っています。

水圏生命分野

魚類や海生ほ乳類など、水圏に棲息する生物に焦点を当て、その体の構造や機能、特性、免疫システムなどを研究します。

森 司 | 生理生化学

エゾアカガエル幼生はヒトでは難治性の病気の遺伝子を発現させ、自分の体を変えて捕食者から身を守り、捕食者が消えると元に戻ります。この機構を利用してヒトの病気の治療薬開発をめざします。

鈴木美和 | 生理学

哺乳類にとって決して棲みやすいとはいえない海という環境に、イルカやクジラがなぜ適応することができたのか?という疑問を、体や器官、細胞をつぶさに調べて解き明かすことをめざしています。

吉名 充 | 軟骨魚類の獲得免疫

獲得免疫は脊椎動物において出現しましたが、その基本部分を明らかにするため脊椎動物の中で最も原始的な生物でシンプルなシステムを有する軟骨魚類を用いて、主に細胞レベルでの研究をしています。

井上菜穂子 | 脂質生化学

質量分析イメージングという新しい分子局在可視化法を用いた脂質代謝物動態に関する研究を行っています。研究対象は無脊椎動物、魚類、両生類から哺乳類に至るまで幅広く取り扱っています。

柴崎康宏 | 魚類の免疫機構

魚類養殖では、ワクチンによる魚病予防が重要です。魚類のユニークな免疫機構(特に抗体の作られ方)を解明し、その成果を基に、より効果的なワクチンを開発するための研究に取り組んでいます。

資源生産・利用分野

海洋生物を人間が利用できる資源として捉え、食品や医薬品として有効活用することで、わが国の食料自給率の向上、ならびに人々の健康と福祉に貢献します。また漁業や養殖などを通じ、海洋資源を持続的に利用するためのSDGsに関する研究もしています。

小島隆人 | 魚の行動と漁業

魚の成長を促進、あるいは魚が不快に感じる音はどんな音かを、人が手を触れずに記録できる心電図から予想を試みています。また、口内の形状と良く釣れる釣針の形の関係についても調べています。

福島英登 | 水産食品化学

多種多様な水産物を有効に利用するため、冷凍・冷蔵貯蔵により鮮度・品質を保持する研究や筋肉タンパク質の特性を調べ、時代に応じた新たな水産加工食品の開発に取り組んでいます。

間野伸宏 | 魚病学

養殖産業や水族館、川や海などの自然水域で発生している魚病やその治療・予防研究に取り組んでいます。また、魚の免疫力を向上させる免疫強化剤に関する研究にも挑戦しています。

澤山英太郎 | 品種改良

連鎖解析やゲノムワイド関連解析を積極的に取り入れ、養殖魚(マダイやヒラメ)の成長や耐病性、奇形といった品質に関する遺伝子の特定を行い、養殖業界へ還元することをめざしています。

周防 玲 | 海洋天然物化学

海洋生物には、医薬品などになる可能性を秘めた化学成分が数多く含まれています。そのような利用価値の高い化学成分を、広く海洋生物から探し出し、分子構造を明らかにする研究を行っています。

海洋環境分野

多種多様な生物が生息している海の環境特性、それら生物と環境の関わり、ならびに生物同士の相互関係などについて研究します。

荒 功一 | 海洋環境

相模湾沿岸域での水温・塩分、潮流、海水に溶存・懸濁している化学物質、植物・動物・微生物プランクトン群集の食物網構造、生産性、摂餌量など海洋低次生態系の季節・短期変動を調べています。

高井則之 | 動物生態

アユ、ナマズ、カミツキガメ、カワウなど、川や湖に住む動物たちの生態と生息環境、水底の植物と動物たちの織りなす食物網、メジナやムツといった海底の大きな魚たちの生態などを調べています。

糸井史朗 | 海洋生物の毒

フグはどのようにしてフグ毒を蓄積するのか、この毒をフグは何に使っているのか調べています。また最近では、フグ毒をもたないと思われていた生物からもフグ毒が見つかり、その原因を調べています。

牧口祐也 | 繁殖行動生態

魚類の繁殖行動に興味を持ち、サケ科魚類を対象とした繁殖生態に関する研究を行っています。具体的には、サクラマス受精環境で起こる精子競争および配偶者選択に関する研究を行っています。

小糸智子 | 深海生物

深海熱水噴出域では熱水中に硫化物などの有毒物質が含まれるにも関わらず、無脊椎動物が数多く生息しています。なぜ、その環境で生きられるのか、適応に関わる遺伝子やアミノ酸を調べています。

TOPICS

理科の先生だけでなく、水産科の先生を目指せます。*

高校の水産科は全国に46校あり、漁業や増養殖、水産食品製造などに関する専門知識を教えています。海洋生物学は、この高校水産科の教員免許が取得できる全国でも数少ない学科。水産科教員は不足気味で募集も多く、大学の学びを直接生かして生徒を指導できるやりがいのある職場です。

※申請中。ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります。

食品衛生コースとは?

陸上生物とは異なる特徴を持つ海洋生物を食品として利用する際に必要な知識や技術を学び、食品衛生管理者と食品衛生監視員の任用資格が取得できるコースです。卒業後は食品を扱う会社(食品衛生管理者)や、食生活を守る国・地方の公務員(食品衛生監視員)として活躍することができます。



森林学科



私は木の子で、木の親です。

きのこ、キノコ、茸。木の子なんて書き方をする人もいます。確かに木の根元や切り株などからひょっこり生えてくる姿は、木の子供のようにかわいらしい。きのこはスーパーに並ぶ食材として身近ですが、枯葉や倒木などの有機物を分解して土に還す「森の掃除屋さん」とも呼ばれています。なるほど、それなら木が育てる子供といえなくもないでしょう。しかし、森に生きるきのこの役割はそれだけではありません。例えばこの鮮やかなきのこは、森林学科の松倉君予助教が野外調査の際に撮影したタマガタケ。彼らは土中の菌糸を通じて周囲の樹木とつながり、一種の共生関係を形作っています。樹木はきのこに炭水化物などの栄養分を与え、きのこは土壌中から集めたリンや窒素などを樹木へ供給する。きのこは、樹木を大きく元気に育てる木の親でもあるのです。「キャンパス内の小さな森の中ですら、色も形も驚くほど多様なきのこに出逢えます。虫に寄生する冬虫夏草の仲間も見つかりますよ。それらは皆、森の生態系を支える働きを担っているのです。」と、松倉助教はきのこという生き物の面白さと重要性を強調します。きのこは森に広く分布し、土壌だけでなく大気といった環境とも関わるため、森そのものを育てていると考えることもできるかもしれません。あなたも、きのこ研究の深い森に分け入ってみませんか。

森林学科って、どんなところ？



学科の特長

森林学科には3つの学びの分野があります。興味や将来の進路に合わせ、自然科学から社会科学にわたる幅広い内容の授業・実習を選択することができます。

森林学科

森林エコシステム分野

森林サービス分野

森林バイオマス分野

なぜ森林を学ぶことが大事なのか

森林は人類の生存にとって不可欠な緑豊かな環境だけでなく、暮らしになくてはならない生活用品や資源を提供してくれます。森林学科では、生物の生息の場である森林生態系の仕組みに加え、都市に住む私たちの暮らしを持続可能で豊かなものにするためのアイデアや実践について社会科学(文系)と自然科学(理系)の視点から多角的に学びます。森林資源の有効活用や自然環境の保全に関する課題と向き合う知識や技術を身につけることを目標としています。

どのように持続可能な社会を目指すのか

森林はそれ自身が循環生態系としてさまざまな価値を生み、持続可能な社会の実現に不可欠なものです。例えば森林バイオマスの利用によるクリーンエネルギーや脱炭素社会の実現、生物多様性や環境の保全、防災といった公益的機能、さらには環境教育やリクリエーション、人を癒すといったサービスにまで対応したカリキュラムを用意し、SDGsの達成のために課題を見つけ、対応・解決し、実践する方法を学びます。

本物の森林で学ぶと何がわかるのか

全国にある演習林は、実習や研究の主要な舞台となっています。北海道の八雲演習林、群馬県の水上演習林、キャンパスに隣接する藤沢演習林など、多様なタイプの森林での実習を通して、樹木の名前や特徴、生物と環境との相互作用や生態系の仕組みを理解します。実際に自分の手で森林から得た材料を使って測定や分析、実験を行い、データを解析することで、森林の特徴や機能をミクロからマクロまで科学的に知ることができます。

“森の恵み”で未来をつくる人になる

森林そのものを対象とする職業(ネイチャーガイド、ツーリズム、樹木医)、森林から得られる資源や材料を都市の中で活かす職業(住宅、建材、紙・パルプ、エネルギー)、森林のサービスを保全・活用する職業(公務員、教育、福祉)などに就くことができます。本学科で学んだ知識は森の恵みを生かしたいと考える森林以外の幅広い分野においても求められているため、森林を総合的に学んだ人材への社会的なニーズが高まっています。

学修の流れ

1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
「森林概論Ⅰ、Ⅱ」「森林基礎実習」により本学科で扱う分野の概要を学ぶとともに、専門分野に関する基礎に加えフィールド学修の醍醐味も実感します。	幅広い専門分野の講義と実習が本格的に始まります。「森林微生物学実習」「森林環境教育論」「森林資源成分学実験」など、専門的な学修内容が目白押しです。	これまでの学修をもとに森林エコシステム、森林サービス、森林バイオマスの3分野のいずれかを選択し、「森林特別演習Ⅰ、Ⅱ」により専門性を高めていきます。	集大成として「森林学研究Ⅰ、Ⅱ」に取り組みます。「森林特別演習Ⅲ、Ⅳ」で森林学を深化するための議論やデータ処理を学修し、最後に研究発表会で成果を発表します。

科目一覧



【共通科目】

森林概論Ⅰ、森林概論Ⅱ、実践森林学、森林基礎実習、森林フィールド実習、森林特別演習Ⅰ、森林特別演習Ⅱ、森林特別演習Ⅲ、森林特別演習Ⅳ、森林学研究Ⅰ、森林学研究Ⅱ、森林科学英語

【森林生物・機能関連科目】

森林植物学、森林生態学、森林微生物学、森林基礎環境学、森林育成学、森林気象学、森林環境修復学、森林基礎工学、森林土壌学、森林動物学、森林昆虫学、森林生態学実習、森林微生物学実習、森林病理学、森林生物多様性論、森林環境保全学、森林災害論、きのこ学、森林育成学実習、森林気象学演習、森林生物多様性実習、森林微生物学実験、森林環境保全学演習、樹木・木材保存学、樹木医概論



【森林共生関連科目】

森林管理学、森林政策学、森林計測学、森林環境教育論、森林バイオマス生産学、森林機械学、森林測量学、森林計測学実習、森林測量学実習、森林アメニティ論、森林ツーリズム論、森林ビジネス論、森林空間情報学、森林空間情報学実習



【バイオマス利用関連科目】

森林基礎材料学、森林基礎成分学、木造住宅論、森林資源材料学、森林資源成分学、バイオマス資源利用学、森林資源材料学実験、森林資源成分学実験、インテリアプランニング概論、木材構造利用学、バイオマス資源利用学実験、木材計測学実験

将来の活躍分野

国家公務員(林野庁)、地方公務員(林業職)、環境コンサルタント、住宅関係、建材関係、造園関係、緑化関係、パルプ・製紙関係、測量関係、バイオマス関連企業、エネルギー関連事業、きのこ関連企業、中学校・高等学校教員、農業高校教員など、幅広い進路が考えられます。とくに公務員志望の学生には、学科内で公務員対策講座を開講。森林系専門分野に関する試験問題の解説や試験対策を行うなど、受験に向けたバックアップも実施していきます。

資格

【取得できる免許・資格】

中学校教諭一種免許状(理科)※、高等学校教諭一種免許状(理科・農業)※、測量士補、樹木医補、森林情報士(2級)、自然再生士補
※申請中。ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります。

【任用資格(卒業後の実務経験により取得できる資格)】

環境衛生指導員、学芸員、林業架線作業主任者、造園施工管理技士

【受験資格】

造園技能士(2級)、林業普及指導員、バイオ技術者認定試験(中級・上級)、甲種危険物取扱者



学生が“先生”に?! ~小学生に樹木の魅力を伝えよう~

好きなモノや人の名前はずぐに覚え、より興味を持ちますよね。同じように樹木の特徴や名前を覚えて樹木に親しむことで森林への関心を持ってもらうのが「子ども樹木博士」です。小学校などで12種類くらいの樹木の名前を覚えてもらい、「子ども樹木博士」として認定します。

学科の学生も「子ども樹木博士」と同じことをして樹木の名前を覚え、その学生が今度は先生となって教えることで、子どもたちに樹木や森林の大事さを伝えるという社会貢献となります。教える立場になって新たな気づきや学びを得てみませんか。

森林エコシステム分野

森林の植物や微生物を観察し、種類・特徴や生き物の関係をミクロの視点で学びます。さらに、森林全体の物質循環や森林生態系の仕組みをマクロの視点から考えます。

太田祐子 | 森の健全性

人間や生き物が豊かに暮らすためには健全な森林があることが重要です。森林・樹木の健康は、病気、外来種、人為による環境変化によって脅かされています。サクラなどの身近な緑から特別保護地区の森まで、それぞれの健全性を学び研究します。

安部哲人 | 相互作用と多様性

地球上の生物は互いに関わり合いながら生きています。植物を中心とした生物間の相互作用を通じて生物多様性の意味を考えます。相互作用による適応度の変化を明らかにし、自然選択の過程を理解することで、森林の生物多様性保全の考え方を身につけます。

上村真由子 | 物質循環と生態

炭素や窒素循環の視点から生態系のバランスについて考えます。ヨーロッパの保護林やアラスカの山火事跡地、温暖化にさらされる日本のブナ林で、森の自立性について解き明かしています。美しい緑を支える落葉や倒木、土壌の大切さについて調べています。

松倉君子 | きのこの働き

きのこやカビなど、森には多様な微生物が存在します。有機物の分解や樹木との共生を通じて、森林の生物や機能の豊かさを支えています。個々の種や群集、動植物との相互作用に注目しながら、森の微生物のユニークな生態や働きと重要性を解き明かします。

森林サービス分野

森林が社会にもたらす恵みについて、水や気象との関係、持続可能な森の管理、森林環境教育の視点で学びます。森林と社会との関わりについて長期的かつ広域的な視点から考えます。

瀧澤英紀 | 山と森をめぐる水

気候変動下でアジア域の水や物質循環が大きく変化しています。雨や雪が多い日本では、山地斜面土壌や山体内部の水の移動、化学風化により山地災害が起こりやすくなる可能性があります。目に見えない山体内部の水の移動を理解します。

杉浦克明 | 森林と社会をつなぐ

森林と社会とをつなぐ方法を一緒に考えてみませんか?森林はもちろん公園や学校など都市部でも樹木と触れ合うことができます。また、商品にあるマークにも森林につながるものがあります。森林環境教育や私たちの暮らしの視点から森林をとらえてみませんか。

小坂 泉 | 森と気象の関わり

気候変動により森の息づかい(森のCO₂吸収/放出)はどうなるのでしょうか?温暖化のダメージを受けると懸念されているブナが優占する演習林で研究しています。森全体をみる視点で森の働き(例えば、炭素固定機能)を、実際の森林と一緒に調べてみましょう!

園原和夏 | 未来の森づくり

森林を調べ、現在や将来の姿を解析することが未来の森づくりにつながります。ドローン計測やフィールド調査の結果から経済性や環境に配慮した資源管理や森林保全の方法を考えます。様々な立場の人と情報を共有し連携して資源生産林や里山林の管理を進めます。

森林バイオマス分野

木材やタケなど再生産可能な森林資源を科学的に分析し、建築資材やエネルギー源として活用するための方法、機能性材料や新素材の開発などについて実践的に学んでいきます。

木口 実 | 森林バイオマスは∞

持続可能な社会を築くためには、利用する資源を再生産可能な資源に転換しなければなりません。森林バイオマスは豊かな森林が持続する限り、枯渇することのないカーボンニュートラルな資源です。森林バイオマスを社会の基盤資源とするための技術を学びます。

堀江 亨 | サステナブル住宅

森林の恵みと人の暮らしを持続的に保つために、住宅を中心とした木造建築の構造やデザインを研究します。気候風土に適した住まいや古民家の再生・活用について学び、循環型の資源利用に基づく持続可能な家づくりと、木を活かしたインテリアを考えます。

倉田洋平 | 木質文化財を調べる

日本には、森林の恵みである木を使った仏像などの貴重な文化財がたくさんあります。材料となる木の種類を特定することは、文化財の来歴を知る手がかりや保護・修復に役立ちます。文化財を傷つけることなく樹種の同定を行う技術の開発に取り組んでいます。

毛利 嘉一 | 森が生み出す新素材

森から生まれる新たな天然材料やバイオマスエネルギーが注目されています。生物学と化学の視点を組み合わせて樹木由来の有効成分を取り出すことで、樹木の構造や特性を活かした新たな資源を生み出し、森林バイオマスの有効利用をめざします。

TOPICS

【森林学科公式InstagramもCheck!】実習・実験やフィールドワークなどの様子を写真や動画で随時紹介しています。



環境学科



地球もピット、検温できたらいいのにね。

宇宙ステーションから青い地球をピットと検温し、「平熱ですね」と安心できたらどんなにいいでしょう。今や疑う余地はないとされる地球温暖化。しかし、何がどれくらい温暖化に影響しているのか。社会や暮らしにどのような影響を及ぼすのか。まだわからない問題も少なくありません。環境学科ではさまざまな切り口からこの難問に取り組んでいます。例えば串田圭司教授が危惧するのは、温暖化で増加する森林・原野火災。とくに高緯度の湿地帯には大量の泥炭があり、万一燃えると膨大なCO₂を放出。温暖化をさらに加速させかねません。串田教授は人工衛星画像などを使い、火災を監視する研究を行っています。中村篤博准教授は、黄砂や大気汚染物質など大気中に浮遊する小さな粒子に注目。これらは大気中では熱や光を反射・吸収し、海に落ちると植物プランクトンを増やす栄養塩になります。中村准教授はこうした粒子の振る舞いを観測し、生態系や気温変動に及ぼす影響を調査しています。宮坂加理助教の研究テーマは地球温暖化の影響を強く受ける乾燥地の土地劣化(砂漠化)。モンゴルでの現地調査では、商品作物のナタネが土中のわずかな水を吸い尽くし、伝統的な放牧や小麦栽培に悪影響を与えていることが明らかになりました。こうした専門家の知見が集まれば地球温暖化の謎も解け、危機を乗り越える道筋が必ず見つかるはずです。

環境学科って、どんなところ？

身近な自然が
学びのテーマ！



地球サイズで
研究できる！



都市の未来も
研究対象！



ニーズの高い
環境技術者！



学科の特長

環境学科には3つの学びの分野があります。学生は必修科目を除き、それぞれの興味や将来の進路に合わせ、各分野から授業や実習などを選択することができます。

環境学科

地球環境分野

自然環境分野

都市環境分野

環境問題を広い視点から追究する学科

環境学科では、現在の国際社会で大きな課題となっている環境問題について学びます。その内容は、生物を含む身近な自然環境を中心に、地球環境、食料生産、資源循環、都市・居住環境まで広範囲に及びます。広い視野とグローバルな視点も備えた、人と自然の共生環境を保全・修復・創造できる「確かな人材」を育成していきます。

安全で快適な都市環境や防災を考える

自然だけでなく、私たちが住む街や都市、社会基盤(インフラ)や、家族が暮らす住まいも人間にとって重要な環境です。本学科では、人間にとって安全で快適な都市・居住環境の創造・維持管理・保全に関する学びも行います。また、日本は地震や洪水などの自然災害が多発する災害大国です。人々の暮らす都市環境をどのようにして災害から守るか、命を守る都市をつくるか、防災という視点も本学科の大きなテーマとなっています。

地球環境の大きな変化を捉える

地球温暖化や森林破壊、砂漠化、海洋汚染など、地球環境問題は極めて深刻な課題であるにもかかわらず、そのスケールの大きさから、一人一人が身近なこととして考えにくいという難しさも抱えています。本学科では地球環境の変化を、人工衛星やドローンなどを使い、離れた場所から観測する「リモートセンシング」という技術を活用。地球サイズの現象を把握・分析し、将来のために役立てるといった学びも行っています。

あらゆる業界で必要とされる環境技術者

現在のあらゆる企業活動は、環境という視点を抜きにして進めることができません。廃棄物の削減やリサイクル、CO₂の削減や脱炭素、SDGsの達成など、環境問題は経営の根幹に関わるテーマです。そのような時代だからこそ、環境問題に精通した専門技術者・人材へのニーズは高く、あらゆる業界で必要とされています。民間では建設・造園会社、環境アセスメント会社、また都市計画や環境問題に関わる公務員なども進路として考えられます。

学修の流れ

1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
環境学の基礎となる内容や、地球環境、自然環境、都市環境の基本的な内容を学びます。また、環境を学ぶ上で必要な基礎的な実験操作やデータのとりまとめなどについて学びます。	より専門的な内容を学びます。大気・水・土、陸域や緑地、生態系など、私たちを取り巻く様々な環境について学ぶとともに、環境の測り方の原理や測定手法を学びます。	環境問題に対するより実践的な取り組み方を講義で学びます。また、専門的な実験・実習・演習を通して、専門知識の理解を深めるとともに、スキルを身につけます。	卒業研究に取り組み、社会で活躍するための知識や技術、プレゼンテーション能力や協調性を身につけます。また、環境の専門家としての倫理についても学びます。

科目一覧



【共通・基礎分野科目】

環境の法則、環境学概論、生態学、環境学基礎実験Ⅰ、環境学基礎実験Ⅱ、自然物質循環学、環境計測学、環境アセスメント、環境計測学実習、陸域環境学、環境修復学、環境学演習Ⅰ、環境学演習Ⅱ、環境統計学、環境のリスクマネジメント、専門英語、再生可能エネルギー学、環境学特別講義、環境学演習Ⅲ、環境学演習Ⅳ、環境学研究Ⅰ、環境学研究Ⅱ、環境技術者倫理

【地球環境系科目】

地球環境学、大気環境学、気象学、地球温暖化対策、地理情報リモートセンシング実習Ⅰ、地理情報リモートセンシング実習Ⅱ

【自然環境系科目】

植生学、生物圏水循環学、保全生物学、土壌科学分析、水質分析法、指標生物学、土の力学、水の流れの科学、陸域保全学、土壌循環学、地域再生学、水圏環境学、河川生態学、環境微生物学、湿地環境学、水圏環境工学、河川環境の防災、水圏生物学、水環境学実験Ⅰ、水環境学実験Ⅱ、土壌学実験Ⅰ、土壌学実験Ⅱ、指標生物学実習Ⅰ、指標生物学実習Ⅱ

【都市環境系科目】

都市環境学、緑地環境学、環境計画学、環境の材料と構造、ランドスケープデザイン、都市防災学、環境保全の施工と管理、環境の材料と構造実験Ⅰ、環境の材料と構造実験Ⅱ、緑地環境学実習Ⅰ、緑地環境学実習Ⅱ、環境アセスメント調査Ⅰ、環境アセスメント調査Ⅱ

将来の活躍分野

環境調査や分析に関わる仕事、環境に関わる公務員、建設・造園・まちづくり・防災に関わる仕事、環境計画コンサルタント、教員などでの活躍が期待できます。また、企業の環境配慮行動が必要とされる今、あらゆる業種で環境学科の教育内容を修得した人材が求められています。

資格

(予定であり、変更となる場合があります。)

【取得できる免許・資格】

中学校教諭一種免許状(理科)[※]、高等学校教諭一種免許状(理科)[※]、測量士補、自然再生士補、環境再生医(初級)

[※]申請中。ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります。

【任用資格(卒業後の実務経験により取得できる資格)】

学芸員

【受験資格】

造園施工管理技士、ピオトーブ管理士(2級)、登録ランドスケープアーキテクト



いま、環境ビジネスは成長産業！

右のグラフ[※]のように、環境分野の市場規模と雇用規模は年々増加しており、今後も拡大することが予想されます。環境に関わる仕事の分野は、環境問題の解決や環境保護・保全に直接的な関わりを持つ業種だけではなく、電力会社による湿地の保全活動や、ガス会社によるピオトーブ設置事業など、様々な企業で環境への取り組みが推進されています。環境への取り組みが企業にとって不可欠な業務となる中、環境学科で学ぶことで、将来の可能性を大きく広げることができます。

[※]環境省「環境経済情報ポータルサイト」から作成



地球環境分野

地球温暖化や地球レベルでの環境問題などについて、気象学やリモートセンシングなどを通じて学びます。

自然環境分野

環境学科のもっとも基礎的な分野で、身近な自然環境を構成する大気、水、土や、そこに棲む生物について学びます。

都市環境分野

自然と共生し、持続可能な都市環境の構築・保全、災害に強い都市環境、都市の景観デザイン、居住環境など幅広い分野について学びます。

串田圭司 | 地球環境

地球温暖化は、気温上昇、大雨、極端な乾燥を起こりやすくなります。自然災害、食料、生活環境に関わります。宇宙から地球を見るリモートセンシング、現地調査、データ解析によって、今起こっている問題を把握します。これからどういうことが起こるか予測します。そしてどうい対策が必要かを考えます。

中村篤博 | 大気環境

地球温暖化や大気汚染、酸性雨など地球環境問題に関連する大気中の微粒子や微量気体、降水を対象として、どのような物質がどれくらい含まれているか、どのように大気から除去されるかといった物質循環や、生態系にどういった影響を与えているのかを知るため、フィールド上での観測を中心に研究を行います。

宮坂加理 | 土壌環境

乾燥地はとても脆弱な環境のため、不適切な土地利用により容易に土壌が劣化します。土壌の劣化を起さないためには、地域ごとの環境に適した土地利用が必要となります。過去から現在における利用状況を把握し、将来予測を行うために、現地調査や衛星画像の解析、シミュレーション解析などを行います。

ロイキンシュック | 地域環境保全

国内外の各地域における土・水・植物系に関連した課題を研究し、持続的な方法で地域資源の活用と地域環境の修復保全を両立させ、地域のレジリエンスを向上させることをめざしています。基礎・調査研究を中心とした実験や分析を行っており、データ収集・解析には専用ツールを利用しています。

大澤啓志 | 緑地生態

両生類や昆虫類等の身近な生きもの、野草類や樹林等の植物群落の生態的特性とそれら自然への人の関りも含めた文化的景観を研究しています。里山・棚田、都市の公園緑地、庭園、建築物緑化等、人と緑と生きものの暮らし環境の管理・活用を通じて、豊かなランドスケープの保全と創造をめざしています。

長坂貞郎 | 水資源

水環境と人の活動とのかかわりについて研究しています。食料生産も含めて、人が暮らしていくためには水が不可欠です。必要なところに十分な水を供給する方法や、使った水が環境に与える影響、環境と調和した水資源の利用方法などについて、提案や評価をするための実験や調査をしています。

笹田勝寛 | 湿地環境保全

貴重な自然の一つである湿原、人工的な湿地である水田の保全と活用が研究テーマです。多くの湿原や水田は失われる危機にあります。その状況を土壌・水・生物の調査によって把握し、課題を明らかにし保全のための手法を検討します。また、環境教育活動などへの有効活用にも取り組んでいます。

對馬孝治 | 生元素循環

河川や地下水などの水質汚濁は、自然界の元素の循環の偏りや滞りが一つの原因だと見ることができ。野外での現地観測と、水や土などの試料採取、そしてそれらの試料を実験室で測定することによって、この循環の偏りを解析して自然環境を「診察」する研究をしています。

小林孝行 | 土壌化学

フィールド調査と室内実験を通じて土壌環境の保全をめざします。具体的には、発光バクテリアを用いた重金属汚染土壌のスクリーニング法の開発を行っています。また、大気中の二酸化炭素濃度抑制の鍵となる土壌有機物の動態評価および酸性雨が土壌の諸性質に及ぼす影響の解明にも取り組んでいます。

炭山大輔 | 野生動物の保全

生物の保全は、生き物と人間の生活そして自然環境、これら全ての健康を考慮する必要があります。具体的には、生き物とその生息環境(土壌や水)に存在する病原微生物や薬剤耐性菌の研究、細菌叢の解析、遺伝的系統解析など、生物の保全を科学的な視点で捉えた研究を行っています。

山寄高洋 | 水環境

様々な生き物の生活に欠かすことのできない水と向き合うことを基本として、環境問題に関する研究を行っています。主に山間部に湧出する湧き水や沢水を対象に、年間を通じた調査を実施しています。実験室にて水質分析を行い、清らかな水環境の維持形成や保全方法について考えています。

小島仁志 | 緑地環境保全

生き物・人・社会が調和し持続可能な自然環境の保全を実現する実践研究が求められています。その中で私は、都市・里山の生物多様性保全をテーマに、野生植物の生育分布(植生)から環境を捉える生態調査や野生植物の資源利用方法、また自然環境保全に関わる地域活動を教育研究分野としています。

松本礼史 | 環境経済

持続可能な地域や社会を実現するためには、私たちの暮らしの中にも、どのような制度やしくみが必要なのか。企業や消費者は、どんな条件下で、環境を守ろうと考えた行動するのか。経済学の視点から、廃棄物問題やエネルギー問題等を事例に、環境規制や環境政策についての研究を行っています。

斉藤丈士 | 環境創造材料

環境創造と環境創造に寄与する建設系材料に関して研究をおこなっています。具体的な研究テーマは、建設系材料のリデュース・リユース(リロケート)・リサイクル、各種副産物の建設系材料へのリユース・リサイクル、材料特性に関する評価試験方法の開発、環境創造・保全における省リソース化などです。

内ヶ崎万蔵 | 環境エネルギー

異常気象、生物多様性危機の今、地球環境との持続的共生、環境を活用した再生可能エネルギー開発と社会的実装が急務です。バイオ資源活用による①微生物燃料電池、②バイオエタノール、③メタン発酵、④バイオディーゼル研究の他、⑤ミツバチを活用した環境診断の研究を行っています。

藤沢直樹 | 都市・地域計画

過剰な経済活動の集積により資源やエネルギーを大量消費し、環境に大きな負荷を与え、災害にも脆弱な都市。そのような都市を、地域固有の自然や文化・歴史を活かしたエコロジカルで安全なものにつくりかえるため、環境の担い手である住民が都市デザインに参加し、協力するしくみを研究しています。

アグリサイエンス学科



品質のよさでは、いちご狩りにも負けません。

採ってその場でパクッと食べる。究極の鮮度のよさ、嘘のない品質こそがいちご狩りの魅力です。売れる農産物の方向性は品質だ!と、アグリサイエンス学科は考えました。例えば梅田大樹准教授が研究しているのは、AI(人工知能)やIoT(モノのインターネット)を活用したスマート農業の実現。農作物の状態を見る化する事で、成長速度や出荷時期をより緻密にコントロールし、新鮮で高品質な農作物を消費者に届けることを目標にしています。また川越義則准教授は、農産物の品質をセンサーなどの工学的手法により調べる技術について研究しています。この技術が向上すれば、勘に頼らずとも果物などの熟期(いちばんおいしい時期)が簡単に判明。食べ頃のタイミングで出荷できることで、消費者に喜ばれるだけでなく、食品ロスの削減にも役立つと期待されています。一方、食べ物以上に鮮度にシビアなのがフラワースト。プライダル用として人気の高いダリアも、日持ちの悪さで家庭での人気は今ひとつ。東未来助教は植物ホルモンや遺伝子の働きを調べることで花の老化のしくみを解明し、ダリアの日持ちを伸ばす技術開発に挑戦しています。アグリサイエンス学科は、農学・生物学的な分野に加え、ITや工学分野などにも視点を広げ、将来のアグリビジネスに貢献できる研究を意欲的に進めています。

アグリサイエンス学科って、どんなところ?

実験と実習が
バランスよく学べる

生産技術開発

生産物の流通・利用

あれもこれも、
よくばりな人におすすめ

アグリバイオを
駆使した品種改良

品質、機能性、
日持ち性 etc.
UP!

色を変える、香りを
変える、味を変える

ゲノム編集、
遺伝子組み換え技術

IT・AIを利用した農業

スマート農業を
実践する

地球にやさしい
栽培技術

寝ている間に作業終了!
…も夢ではない?

選べる就職先、
多彩なアグリビジネス!

種苗会社
(品種改良)

肥料・農薬メーカー

食品製造・
流通業界

農業法人、JA・市場

農林水産省、
地方公務員(研究職)

フラワーコーディネーター

学 科 の 特 長

アグリサイエンス学科では、1年次で基礎科目を学んだ後、2年次から3年次にかけて、3つの専門分野の内容を学びます。「生物」や「化学」の知識を応用・発展させ、「農学」分野で利用することをめざします。消費者から求められる農産物の生産に必要な科学的知識と技術を修得できる、類を見ない学科です。

アグリサイエンス学科

フラワーサイエンス分野

植物性食資源分野

動物性食資源分野

フィールドからアグリバイオまでを学ぶ

フラワースイエン、植物性食資源、動物性食資源の3つの分野を体系的に学びます。高品質農産物の生産技術をフィールド(農場)で学ぶ一方、実験室ではバイオサイエンスを駆使して植物や産業動物の生命現象を解き明かします。フィールド技術とバイオサイエンス技術の"二刀流"でこそ、現代農業の革新が可能になります。本学科では、実習を着てフィールドで学び、白衣を着てラボで学び、次世代農学の先駆者を育成します。

農産物高付加価値への科学的アプローチ

現代の農産物は、単に収穫量が多だけでなく、消費者から高い品質が求められます。機能性成分が豊富、食味が優れる、色合いや日持ちが良いといった農産物の開発を計画的に進めることが必須となります。そのためには、機能性成分、香り成分や色素成分が動植物の中でどのように作られるのか、分子レベルの知見が必要になります。4年次のアグリサイエンス研究では、高品質農産物の作出に関わるさまざまな生命現象を科学的アプローチから解明し、新たな品種開発をめざします。

未来を変えるスマート農業

ロボットやAIがいろいろな分野で活用される時代になり、農業現場でも導入が進められています。本学科では、スマート農業の専門的で実践的な研究を行い、野菜やフルーツの機能性成分を増やしたり、色鮮やかで日持ちが長く商業的に高付加価値な花を咲かせたりする試みをしています。さらに、先端施設や装置を使ってスマート農業を学びます。こうした学びや研究が、日本農業の未来をつくり、ひいては世界の食料生産に貢献できます。

多彩な就職先、アグリビジネス

動植物のブリーダー、肥料、農薬、農業機械のような「農」に強く関連する企業のみならず、食品メーカーや流通業界などアグリビジネスの企業で広く活躍できる多彩な人材を育成します。また、科学的な知見を持ち合わせたフラワーコーディネーターや、野菜ソムリエとしての活躍も期待されます。植物と動物を同時に学ぶカリキュラムは、農学系公務員の試験範囲を網羅し、農水省や地方公務員(研究職)をめざす学生にも最適です。もちろん、大学院への進学もサポートしています。

学修の流れ

1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
学部共通の教養教育科目で一般教養を身につけます。アグリサイエンス学科を構成するフラワーサイエンス・植物性食資源・動物性食資源の3つの学問領域への導入科目や、基礎となる専門共通科目を学修します。	専門共通科目に加え、3分野の専門的な科目を学修します。分野共通の基礎実験、植物と動物の各基礎実験の履修を通して、実験技術とレポート作成のスキルを身につけます。3分野を広く学ぶことも、1つの分野に集中して学ぶこともできます。	キャンパス内の広大なフィールドや先端設備を有する施設を使った実習、そして3分野に特化したいずれかの応用実験を履修します。さらに、ここまでの履修内容を基盤として、専門的な少人数制アグリサイエンス演習に取り組みます。	専門分野に分かれてアグリサイエンス研究を実施します。そこで行われる研究発表や演習を通じて、アグリサイエンス関連はもちろん、社会人として必要な思考力、表現力、行動力を修得します。

科目一覧



【専門共通科目】

アグリサイエンス概論、ブランド創生学、ブランド創生フィールドワーク、アグリビジネス・マーケティング論、アグリブランド生産学、地域・ブランド農畜産物論、細胞・発生学、生化学、分子生物学、遺伝学入門、生命と技術の倫理、生物統計学入門、アグリサイエンステクノロジー、植物形態学、植物生態学、植物生理学、産業動物品種論、動物形態学、動物生理学、農業のすがた、農業と環境、持続型農業論、施設園芸学、スマート農業論、ポストハーベストテクノロジー、作物栽培学、作物分子生理学、園芸分子生理学、フラワー分子生理学、花文化論、草地と放牧、飼料作物学、アグリサイエンス特別講義、アグリサイエンス基礎実験、植物科学基礎実験、動物科学基礎実験、アグリサイエンス実習Ⅰ、アグリサイエンス実習Ⅱ、アグリサイエンス演習Ⅰ、アグリサイエンス演習Ⅱ、アグリサイエンス研究Ⅰ、アグリサイエンス研究Ⅱ、アグリサイエンス演習Ⅲ、アグリサイエンス演習Ⅳ

【フラワーサイエンス系科目】

フラワー園芸学Ⅰ、フラワー園芸学Ⅱ、色彩造形学、フラワー装飾学、花壇庭園装飾学、フラワーサイエンス実験Ⅰ、フラワーサイエンス実験Ⅱ

【植物性食資源系科目】

作物学Ⅰ、作物学Ⅱ、野菜園芸学、果樹園芸学、植物遺伝育種学、土壌・植物栄養学、植物病理学、応用昆虫学、植物科学応用実験Ⅰ、植物科学応用実験Ⅱ

【動物性食資源系科目】

産業動物管理学、動物遺伝育種学、動物繁殖学、栄養・飼養学、動物バイオテクノロジー、産業動物飼育計画論、動物科学応用実験Ⅰ、動物科学応用実験Ⅱ

将来の活躍分野

品種改良を行う種苗会社、動植物のブリーダー、肥料・農業メーカー、スマート農業に貢献する農業機械やIT関連企業、農業法人、農協(JA)、自然素材を扱う香料・化粧品メーカー、農産物の輸出入に携わる商社、食品の製造や加工・流通に関わる企業、農水省や地方公務員(研究職、農業普及員)での活動や、フラワーコーディネーターや農産物の販売促進に関わる部署などでの活躍が期待できます。本学科の教職課程を修了すれば、中学校および農業高校を含む高等学校の教員になることも可能です。大学院進学も歓迎します。

ようするに「アグリサイエンス学科」はこんな学科

私たちが生きていくうえで絶対に必要な食料。生活を豊かにしてくれるフラワー。その源が農産物です。私たちは消費者と生産者の双方に寄り添い、「高品質な農産物」を「効率的に生産」し、消費者が最良の農産物を最適な状態で手に取れるような教育と研究を実践しています。対象にす

資格

【取得できる免許・資格】

中学校教諭一種免許状(理科)※、高等学校教諭一種免許状(理科・農業)※、学芸員、自然再生士補、樹木医補、家畜人工授精師

※申請中。ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります。

【任用資格(卒業後の実務経験により取得できる資格)】

造園施工管理技士(2級)

【受験資格】

日本農業技術検定、生物分類技能検定、造園技能士(2級・3級)、園芸装飾技能士(2級・3級)、フラワー装飾技能士(2級・3級)

る農産物は全て。作物も、野菜も、果実も、フラワーも、家畜も、……。こんなものが食べたい、あんなものがほしい、みんなの役に立ちたい。そんな希望をかなえたい人、是非アグリサイエンス学科の門をたたいてみてください。

アグリサイエンス学科
インスタグラム



フラワーサイエンス分野

花に関するバイオテクノロジー、品種改良、生産、品質保持、色素と香り、文化、装飾とコーディネートなど、基礎から利用までを総合的に学びます。フラワービジネスに役立つ人材を育成します。

植物性食資源分野

作物や果樹・野菜などについて、栽培技術から生命科学の知識まで幅広く学びます。より付加価値の高い農産物の開発をめざし、品種改良や生産の自動化、ITの活用などにも取り組みます。

動物性食資源分野

牛や豚などを利用した食料生産について学びます。新技術やITを活用して、輸入商品に負けない良質な畜産物の効率的かつ安定的な生産に取り組みます。

窪田 聡 | 花き園芸

植物の根の温度を制御できる装置(N.RECS)を開発し、特許を取得しました。花き植物を中心にして根域温度が生育と開花に及ぼす影響について研究し、これらの研究成果が花きのアグリビジネスの発展に寄与することをめざしています。

百瀬博文 | 施設園芸

温度・日長などの環境要因を制御して園芸作物を狙った時期に収穫する技術、LED光を利用した植物の栽培技術、携帯端末で取得した画像を基にした植物栄養診断法の開発など、新しい栽培技術の開発に取り組んでいます。

水田大輝 | 花の分子育種

サクラソウなど花の形質の多様化の研究を行っています。様々な花色や模様形成、八重咲きなどに関わる遺伝子を探索・解析しています。そして、得られた有用形質に関わる分子情報を活用して観賞価値の高い新しい花の作出をめざしています。

東 未来 | 花の分子生理

私たちの生活を彩る花は、どのようなメカニズムで開花し、萎れていくのか?そのメカニズムを植物ホルモン分析や、遺伝子組換え技術等のバイオテクノロジーを用いて解明し、綺麗で日持ちの良い花を作ることをめざしています。

野口 章 | 土壌肥料植物栄養

農産物の品質確保を目的として、環境適応植物の特性把握、迷惑雑草の生育制御と有効利用、マメ科植物の緑肥能の再評価などを手掛けています。究極的には、世界中の誰もが安全な食料を十分に食べられるようにすることをめざしています。

磯部勝孝 | 作物生産

豆腐や味噌、納豆など大豆を使った食品の味は原料である大豆の出来栄で大きく異なります。どうしたらもっと高品質な大豆を生産できるか?また、機能性成分を多く含む穀物のキノアの生理・生態的特性を研究しています。

倉内伸幸 | 熱帯有用作物

途上国の作物には、日本で関心が薄い雑穀類や全く知られていない作物種がたくさんあります。これらの作物の有用形質を明らかにし、現地のニーズに合った品種改良や農業技術の改良について研究しています。

立石 亮 | 果樹・野菜園芸

野菜や果物の高品質化について生理学的な研究をしています。果汁があふれるジュシーさなど果実の食感形成メカニズムを解析するため、多糖類の成分を調べたり、遺伝子組換えを行ったりしています。美味しいフルーツの開発に役立てます。

川越義則 | 農産物収穫後処理技術

収穫後の農産物が食卓に届くまでの選別、貯蔵、加工、包装、輸送等の過程における様々な操作に関連したポストハーベストテクノロジーを教育・研究の対象としており、特に青果物の非破壊内部品質評価に関する研究に取り組んでいます。

穴戸理恵子 | 作物遺伝解析

稲品種の改良に役立てることをめざして、種子休眠性や葉の老化に関わる形質の遺伝解析を行っています。また、交配により有用遺伝子の導入が可能な祖先野生種を対象に、自生集団における遺伝的多様性の維持機構の解明に取り組んでいます。

加藤 太 | 熱帯農業

日本国内および東アフリカの農村や農家がかかえる問題を解決するため農業や地域研究の手法を用いて農業技術の改善をめざしています。特に作物の環境負荷の少ない栽培方法の模索、伝統農法の解明や農村の振興に取り組んでいます。

梅田大樹 | 植物フェノタイピング

最適な栽培環境を実現するための光学的手法を用いた作物状態の"見える化"技術の開発、そしてピールの主要な原料であるセイヨウカラハナソウ(ホップ)に含まれる機能性成分と栽培環境との関係性について研究しています。

水野真二 | 野菜分子生理

ウリ類、アブラナ類、イチゴなどの野菜を対象に、新しい生産技術と有用遺伝子に関する研究を行っています。これまでにイチゴの開花促進技術の開発や、メロンの省力栽培性に係る巻きひげ形成遺伝子の発見に成功しています。

上吉原裕亮 | 果実分子生理

果物や野菜の「食味」には、甘さや酸っぱさだけでなく、香りが大きく影響します。園芸作物に含まれる重要な香り成分の合成メカニズムを遺伝子レベルで明らかにし、香り豊かな果物・野菜の開発に役立てられるような研究をしています。

肥後昌男 | 作物分子生理

土の微生物を活用することで植物の栄養状態を改善できれば、植物の栄養素となる肥料を少なくし、放射性物質などで汚染された畑を浄化できる可能性があります。環境浄化や植物の病気を改善できる有用な微生物を探索する研究をしています。

佐々木 大 | 作物生産技術

農業は慢性的な人手不足が深刻化しており、高品質な農作物を省力的に生産する技術の開発が求められています。農業機械の効率的な利用方法や農作物のおいしさを引き出す栽培方法を研究し、魅力的で持続的な農業の実現をめざしています。

山本裕一 | 病害虫総合防除

昨今、農業現場においては、残留農薬や周辺環境への悪影響などから化学農薬に依存しない農法が求められています。そこで、私は自然環境から発見された微生物を用いることで、植物病害や害虫から農作物を守る研究をしています。

梶川 博 | 反芻家畜栄養

反芻家畜の第一胃内微生物を用いて、飼料の消化・発酵特性、特にメタン産生に及ぼす要因に関して研究しています。さらに家畜の特異性を明確にするため、他の草食動物(主に動物園動物)との比較も行っています。

三角浩司 | 家畜繁殖

ブタにおける繁殖技術全般について研究を行っています。特に、効率的に体外受精卵を作出するため、精子の受精能力を評価する方法について研究しています。また、遺伝子保存のために生殖細胞の長期保存に関する研究にも取り組んでいます。

浅野早苗 | 乳用家畜の栄養

ウシを中心とした反芻動物の栄養管理について研究を行っています。何を、どれくらい、いつ給与すればよいのか、時間栄養学の観点からより効率的な乳生産をめざします。また、製造副産物など低・未利用資源の飼料化にも取り組んでいます。

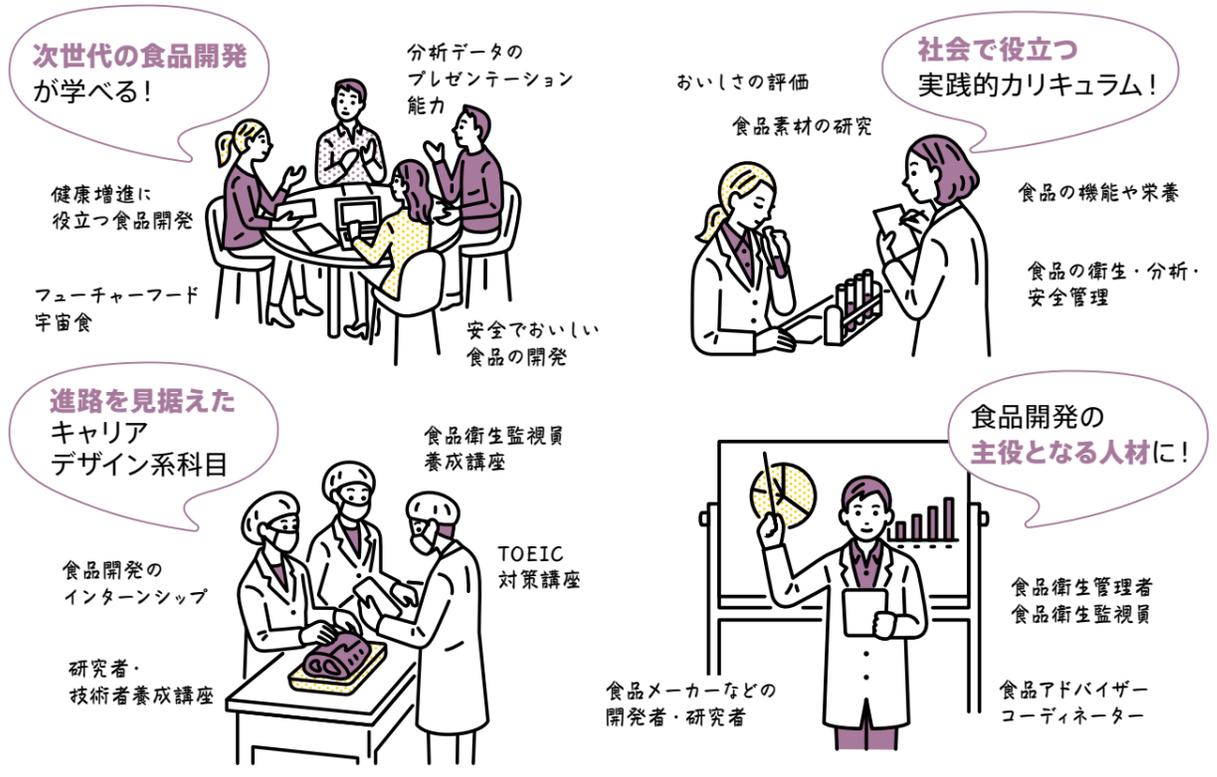
食品開発学科



あったかごはんをいただきたい、虫菌対策です。

発酵食品とは微生物の働きにより、人間にとって有益な変化を遂げた食べ物のこと。日本にも醤油、味噌、酒、漬物などたくさんあります。中でも匂いや味などで賛否両論分かれるのが納豆。朝食には欠かせないという人もいれば、腐っていると怒り出す人まで…。しかし、最近では整腸作用や血栓予防など多くの効果が知られるようになり、健康食品としての評価もグンと高まってきました。じつは虫菌の予防にも期待されている、と聞いたら驚かれるでしょうか。虫菌菌のエキスパートである成澤直規准教授は、以前から虫菌菌を発酵食品でコントロールする研究に取り組んでいました。実験を続ける中、手違いから純粋培養の虫菌菌に納豆菌を混入させてしまい、虫菌菌に対する抑制効果を発見。抑制物質が納豆菌の酵素「ナットウキナーゼ」であること、虫菌の原因となるバイオフィーム（菌垢）形成を抑えることなども突き止めたのです。この発見は「バイオフィーム抑制剤」としてすでに特許出願済み。今後は、予防効果の高い納豆の開発や有益な納豆菌の探索、人による臨床試験なども予定されています。将来は、虫菌に効果のあるトクホの納豆も商品化したいという成澤准教授。基礎研究が応用に直結し、人の健康に役立つものが自分の手でつくれる。食品開発学科の研究の魅力は、こんなところにあります。

食品開発学科って、どんなところ？



学科の特長

食品開発学科には食品基盤科目に立脚した3つの学びの分野があります。学生は必修科目を除き、各分野から授業や実習などを選択することができます。



食品開発の未来を見据えた学科

食品開発学科は、食品開発の基盤となる基礎理論、食品の機能や栄養に基づく人の健康、および衛生・分析技術に基づく安全管理といった食品創りに関する科学的知識と技術を修得し、安全かつ健康に役立つ食品の創造開発を通じて、持続可能な社会の実現に貢献することを目的としています。本学科では、「宇宙食開発学」「フューチャーフードサイエンス」など、先端的な講義も多数設定し、食の未来も見据えた学びを用意しています。

社会で役立つ実践的な学びを充実

本学科では、学生に社会との関わりを忘れず、つねに目的意識を持って学修してほしいとの思いから、まず初年度教育の充実を図りました。1年次の「食品開発概論」と「キャリアデザイン」では、自ら課題に取り組み、プレゼンテーションの場を設けるなど、授業内容を工夫しています。2年次以降もキャリア演習などの科目を多数開講。時には現役の外部講師をオブザーバーとしてお招きするなど、より実践的な学びをめざしています。

進路別のキャリアデザイン教育

学生自身の将来的なキャリアデザインを意識させるため、1年次から3年次まで「キャリアデザイン系科目」を設置しています。とくに3年次は卒業後の進路を強く意識したコース制も採用。「食品開発インターンシップ」、「研究者・技術者養成講座」、「食品衛生監視員養成講座」、「TOEIC対策講座」のいずれかの受講を必須とするなど、社会とのつながりや就活を前提としたカリキュラムとサポート体制を採用しています。

学びと社会とのつながりを重視

本学科の教育は食品開発に特化したものです。最先端の食品加工技術に加え、食品の栄養・機能・おいしさ・安全などに関する実践的な教育について、社会現場でのインターンシップなどを通じ、豊富な知識と技術を修得することができます。卒業後は食品・飲料・菓子などの製造業や、流通・小売など幅広い食品産業での活躍が期待できます。3年次から始まるコースにより、食品衛生や食品研究のプロフェッショナルをめざすことも可能です。

学修の流れ

1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
講義、実験・実習を通じ、食品に関する基礎的な科目を履修します。また、キャリアデザインⅠ、Ⅱでは実践的な経験を積むため、企業の食品開発者によるディスカッション形式の講義を複数回で実施します。	食品開発に必要な知識、技術の習得に関する科目が増えていきます。食品の創造開発系科目、食品と健康系科目、食品と安全管理系科目に設定されている各選択科目については、将来の進路に応じて履修してください。	専門的で実践的な科目が増えてきます。食品の開発基盤系科目のキャリアデザイン系科目群には4つの講座を開設しており、いずれか1つを選択します。また、食品開発実習では、実際に企画食品の開発に挑戦します。	食品の開発に関わる研究として、いずれかの研究室に所属し、卒論研究（食品開発研究Ⅰ、Ⅱ）を行うこととなります。3年次までに得られた知識・技術を十分に活用し、総仕上げとなる研究活動に取り組んでください。

科目一覧



【食品の開発基盤系科目】

食品開発概論、食品開発基礎理論Ⅰ、食品開発基礎理論Ⅱ、食品開発基礎実験、食品科学、食品開発の歴史、キャリアデザインⅠ、食品開発演習Ⅰ、キャリアデザインⅡ、食品開発演習Ⅱ、食品開発実習Ⅰ、食品開発実習Ⅱ、食品開発インターンシップ、食品衛生監視員養成講座、研究者・技術者養成講座、TOEIC対策講座、フューチャーフードサイエンス、食品行政、実験統計学、バイオインフォマティクス、食品開発研究Ⅰ、食品開発研究Ⅱ



【食品の創造開発系科目】

食品素材科学、食品資源利用学、食品資源利用学実験、食品加工学、食品加工学実験、乳製品科学、発酵食品学、冷凍食品学、食品テクスチャー理論、おいしさの科学、食品製造プロセス学、調理科学、宇宙食開発学、ブレッド&スイーツサイエンス、においの科学、食品界面科学、食品品質管理論、食肉の科学、食とバイオテクノロジー



【食品と健康系科目】

食品機能化学、食品機能化学実験、食品栄養学、食品栄養学実験、ライフステージと食、スポーツ食品科学、新食素材開発論、食とアレルギー、サプリメントの科学、食品成分化学、食と脳科学



【食品と安全管理系科目】

食品衛生学、食品衛生学実験、食品分析学、食品分析学実験、食と公衆衛生、食品安全学総論、食品添加物論、分析機器概論、食品微生物学、食品パッケージの科学、食保存の科学

将来の活躍分野

食品、香料、化学、医薬品などの製造業や、食品研究機関における開発者・研究者、食品卸や小売業など、広く食品業界での活躍が期待できます。そのほかにも食品衛生や食品分析関係の公的機関・公務員、中学・高等学校の教員、食品アドバイザー・コーディネーターなどが有力な進路となります。

授業
ピックアップ

進路で選ぶ「キャリアデザイン系科目」とは？

3年次の必修「キャリアデザイン系科目」では、以下の4講座から1つを選択します。これは社会とのつながりを意識した学びで、今後の就活などを考える上で重要な位置づけとなるものです。

資 格

(予定であり、変更となる場合があります。)

【取得できる免許・資格】

中学校教諭一種免許状(理科)※、高等学校教諭一種免許状(理科)※、食品衛生責任者

※申請中。ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります。

【任用資格 (卒業後の実務経験により取得できる資格)】

食品衛生監視員、環境衛生監視員、家庭用品衛生監視員、食品衛生管理者

【受験資格】

化学分析技能士(2級)、甲種危険物取扱者、バイオ技術者認定試験(中級・上級)、食生活アドバイザー

- 食品開発インターンシップ:食品メーカーの開発部門などをめざす人向け。
- 研究者・技術者養成講座:大学・研究機関・企業の研究所などをめざす人向け。
- 食品衛生監視員養成講座:「食品衛生監視員」の資格を取得し、公務員をめざす人向け。
- TOEIC対策講座:高い英語力を身につけ、国際的に食品関係で活躍をめざす人向け。

食品創生分野

原料から製品までの食品製造プロセスと、味・色・香り・食感などのおいしさに関係する領域を学び、高付加価値で高い嗜好性を持った持続可能な食品の開発をめざします。

竹永章生 | 脂質の特性と有用性

脂質は生体内においてエネルギー源としての役割のほか、脂溶性ビタミンの吸収など様々な役割を担う成分です。未利用資源の有効活用の観点から、種子などに含まれる脂質の特徴や有用性について評価しています。

都 甲洙 | 食品冷凍・食品機械

食品冷凍は、食品の腐敗、色・味・食感の変化、品質低下を防ぎます。食品冷凍に伴う冷凍保存、乾燥、品質評価、コールドチェーン、氷結晶計測、食品内部構造の3次元計測、また、食品機械の研究を行っています。

川井 泰 | 発酵乳と乳酸菌の科学

乳と乳成分、ヨーグルト・チーズ、またガゼリ菌などの乳酸菌とその生産される抗菌物質を含む代謝産物の特性に関する基礎的な研究から、遺伝子組換え、機能性食品への応用、食品保存剤の開発までを行っています。

陶 慧 | 未利用資源の有効利用

食品工業で重要となる「安全・環境適応・高効率」のキーワードを考慮し、加工・改質・保存について研究をしています。SDGsを目標とした未利用資源の有効利用、環境負荷の少ない生産プロセス開発が主な内容です。

鳥居恭好 | 食品資源の高次活用

食品化学・生化学を基盤に、発酵食品・茶・キノコ・海産物などの食品資源の高付加価値化や高次の活用を目指した研究を行っています。海外機関との共同研究、地域連携・産学連携にも積極的に取り組んでいます。

阿部 申 | 食品の圧力処理

食品の非加熱加工手段である圧力処理に着目して、食品製造工程への圧力処理の応用を検討します。加熱処理とは異なる現象や作用機序を明らかにし、新しい食品加工技術の構築をめざします。

成澤直規 | 新規納豆の開発

発酵食品について、微生物学や食品化学の観点から研究を行っています。う蝕予防効果を有する新規納豆の開発、乳酸菌を利用した発酵飲料の開発、木桶を利用して製造された醤油の特徴について研究をしています。

食品機能分野

食品の健康維持・増進との関わりを学び、多様化する食品に対する社会ニーズに対応する機能性と嗜好性を兼ね備えた新たな食品および食品素材の開発をめざします。

熊谷日登美 | 嗜好性・機能性食品

「おいしく食べて健康に」をテーマに、泡立ち性やゲル化性の高い蛋白質による糖尿病やアレルギーの予防、こく味成分による癌、血栓症、痛風の予防など、嗜好性と機能性が高い食品素材の創製や評価を行っています。

長田和実 | 匂いと嗅覚の栄養学

本研究室は匂いと嗅覚の栄養学について研究しています。食品成分による減塩作用に関する研究、匂いによる神経ペプチド受容体の発現調節に関する研究、3) 栄養欠乏に伴う嗅覚認知障害に関する研究を行っています。

細野 朗 | 腸管免疫系と腸内細菌

消化管の生理機能のうち、体内に入った病原菌やウイルスに対する感染防御、アレルギーや炎症反応などを抑えるはたらきなど、いわゆる腸管免疫系のしくみと腸内細菌や食品に注目した研究を行っています。

山下正道 | 炎症の病態生理解明

食品成分や喘息・関節リウマチの治療薬などの、炎症の脂質メディエーター代謝および核内受容体に対する影響を、マスト細胞やマクロファージの培養細胞を用いて解析し、炎症の病態生理を解明する研究をしています。

大畑素子 | 食品の香り成分

食品の品質やおいしさを決める因子の一つに香りがあります。食品の香り成分について化学的な解析を行うとともに、香り成分を嗅ぐことでもたらされる様々な生体機能について栄養学的視点から研究をしています。

津田真人 | 感染症・アレルギー予防

免疫系を調節する食品の機能性について研究しています。食品成分や腸内細菌が免疫系の細胞の分化やはたらきを調節する仕組みを解明し、感染症やアレルギーの予防に役立つ機能性食品の開発をめざしています。

山口勇将 | 食品の未知機能探索

食品には人々の健康を支える機能がありますが、どの成分がどの様に効果を発揮するのかわかっていないのはごく一部です。私の研究では、嗜好性や利用率も考慮に入れながら、食品の未知なる機能を探索しています。

食品安全分野

食品の原料・製造から摂取されるまでの過程で発生する危害と対策を学び、食品の危害因子の新たな制御方法や、より迅速・正確に把握する方法の開発をめざします。

鈴木チセ | 乳酸菌と酵母の相互作用

悪玉菌をやっつける微生物制御について、乳酸菌と酵母が作る攻撃物質や防御機構および相互作用の解明を通して取り組みます。乳酸菌を用いた宿主の腸管の変化を検出する微生物プローブの開発にも挑戦します。

松藤 寛 | 食品の有用性と有害性

天然物や未利用資源を対象として、様々な分析機器や分析化学的手法を用いて含まれる有用成分や有害成分を明らかにし、有効利用あるいは安全性を明確にした高品質な食品を提供・提案する研究を行っています。

大槻 崇 | 食品の安全性と品質保証

食品関連成分を対象とした測定対象の標準品を使わない新たな分析法の開発や食品添加物の公定分析法の性能評価など、「食品の安全性の一層の確保」、「食品の品質保証の更なる向上」へ向けた研究を行っています。

河原井武人 | 非加熱殺菌法の実用化

現在主流の食品の加熱殺菌は食品劣化や環境負荷などに課題があります。これを解消する代替手法として、食品中の殺菌性成分や、光や圧力を利用した非加熱殺菌法の実用化をめざした研究を行っています。

京井大輔 | 食中毒低減・食品腐敗防止

主に微生物を対象とした食品衛生を専門として研究しています。具体的には、微生物の特徴や挙動を調べて、食中毒のリスクを減らすことや食品の腐敗を防止することを目標に研究を行っています。

食品ビジネス学科



おいしさを、多数決では決めないで。

クッキーを手作りの経験はありますか。基本の材料は薄力粉、バター、砂糖、卵の4種類。量産品の場合は、バターに代えて安価なショートニング(油脂)を使う場合もあります。もちろんおいしいのはコクのあるバター入りのクッキー、と思うでしょう?じつは以前、食品ビジネス学科では、ある実証実験で両者の試食を行ったことがありました。結果は大方の予想を裏切り、8割がショートニング入りの方をおいしいと評価したのです。食べ慣れているせいか理由はわかりませんが、「この結果にはショックを受けた」と苦笑するのは、食品産業を研究する大石敦志教授。「こうした状況では、食品企業が品質を追求し、ショートニング不使用のいいクッキーを作っても、消費者に支持されるとは限りません。何しろ多くの方は、安くて口どけがいいショートニング入りを望んでいるのですから」。大石教授は食品市場のあちこちに、生産・消費の不合理なミスマッチが潜んでいるといいます。例えば、過剰生産の牛乳を廃棄すると、消費者からもったいないと叱られる。とはいえバターに加工しても酪農家は採算が取れないし、必要以上のバターを生産すれば値崩れし、メーカーが損をします。消費者ニーズや顧客の声に従うことは重要ですが、それだけでの判断はリスクを伴います。食品ビジネス学科で学ぶ幅広い知識は、そのためにもあるのです。

食品ビジネス学科って、どんなところ?



学科の特長

食品ビジネス学科には3つの学びの分野があります。学生は必修科目に加えて、それぞれの興味や将来の進路に合わせ、各分野から授業や実習などを自由に選択することができます。1年次から少人数によるゼミナールを開講している点も特長です。

食品ビジネス学科

食料資源・環境分野

食品産業分野

食品・食文化分野

農場から食卓まで食の流れを多角的に学ぶ

食品ビジネス学科は、農場から食卓までの食の流れ=フードシステムを学び、実践的に食を創造し、新しい食の未来を追求する学科です。「食料資源・環境」、「食品産業」、「食品・食文化」の3分野を柱に、経済学・経営学・社会学・栄養学・調理学など多彩な視点を取り入れ、日常的な食にかかわる問題から地球規模での食料・農業問題まで、さまざまな課題を幅広く、深く掘り下げていきます。

実習やフィールドでの学びを重視

食品ビジネス学科では、現場重視の学びを徹底しています。そのため、フィールドリサーチ、海外フードシステム現地研修などのフィールド教育を始め、文系学科としては珍しい調理学実習やフードコーディネーター実習、食農教育実習など、きめ細かく、特色ある実践的な実習・実習科目を配置。座学で学んできた理論を実践の場で再確認することで、食の創造に必要な知識と経験を身につけていきます。

フードビジネスの即戦力を育成

食をめぐる世界はより複雑化し、変化のスピードは速くなっています。食品ビジネス学科は、そのような新しいニーズを予測しつつ、それに迅速に対応していくことのできる食の専門家を、多様なカリキュラムによって育成します。専門科目や演習において、ビジネスコミュニケーション力や情報処理能力の向上をサポートします。また、食に関する資格「フードスペシャリスト」、「フードコーディネーター」などの取得に必要な科目も開講しています。

食品関連産業に活躍のフィールドが!

食品ビジネス学科では、食の世界を生産から消費までのフードシステムとして、幅広く深く学ぶことができます。それにより、これから社会で活躍できる、未来を担う食の専門家(プロデューサー)を育成します。これまでの卒業生は、その多く(50~60%)が製造・卸・小売業など食品関連産業に就職。企業経営を担う人材や、企業を継承する人材なども数多く輩出しています。

学修の流れ

1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
食品ビジネス学の基礎を学びます。食品ビジネス基礎演習Ⅰ・Ⅱと食品ビジネス学入門、調査論などの必修科目に加え、食の経済学、食生活論、調理学そしてマクロ経済学など社会科学の基礎理論、メディアリテラシーなどを学びます。	食品ビジネス学の学びが本格化します。食品産業論、食品企業経営学、現代農業論、資源と環境の経済学などの専門科目の学びに加えて、現地で学ぶフィールドリサーチや調理学実習などの演習・実習を通じて、具体的な体験から学びを深めます。	専門教育の要となる食品ビジネス演習(ゼミ)がスタートし、食品マーケティング論、食品の企画と開発、食品デザイン論、フードサービス論などの専門科目に加えて、食品ビジネス特別講義、フードコーディネート実習、食物学実験など幅広い分野をより深く学びます。	これまでの専門分野の学びをもとに、各自が選んだテーマで論文を作成する卒業研究を行います。自身の研究テーマを深く追究することで、食品ビジネス学の学びを深め、社会に貢献する専門性を身に付けます。

科目一覧



【専門共通系科目】

食品ビジネス基礎演習Ⅰ、食品ビジネス基礎演習Ⅱ、食品ビジネス学入門、調査論、マクロ経済学、食と農の経済史、ミクロ経済学、メディアリテラシー、フィールドリサーチⅠ、フィールドリサーチⅡ、食品経済統計学、海外フードシステム現地研修、食農教育実習、産業組織論、簿記概論、食品ビジネス演習Ⅰ、食品ビジネス演習Ⅱ、計量経済学、金融論、食品ビジネス演習Ⅲ、食品ビジネス演習Ⅳ、食品ビジネス研究Ⅰ、食品ビジネス研究Ⅱ



【食料資源・環境系科目】

食の経済学、現代農業論、資源と環境の経済学、食料貿易論、農村資源の保全と活用、食料政策、世界のフードシステム、アグリビジネス論、地域経済論、地域食品資源論

【食品産業系科目】

食品企業経営学、食品産業論、流通経済論、食品ビジネス戦略論、地域マネジメント論、食品マーケティング論、組織マネジメント論、経営分析論、食品関係法、食品ビジネス特別講義、フードサービス論、地域食品企業論、食品企業と社会的責任、食品デザイン論



【食文化・食品科学系科目】

食生活論、食品栄養学、調理学、食と素材、スローフード論、食品加工論、フードコーディネート論、食品の官能評価・鑑別論、調理学実習、食と農の社会学、日本と世界の食文化、フードツーリズム論、食物学実験、フードコーディネート実習、フードスペシャリスト論、食品衛生管理学、食品安全論、食品の企画と開発

将来の活躍分野

食品・飲料・菓子などの製造業、小売・卸売業、外食産業などの食品関連産業や金融・情報産業への就職が期待できます。食や農の領域に関わる人材育成を通して、農関連産業への就職、公務員、協同組合関連への就職をサポートします。また、食品製造加工会社などの食品ビジネスの後継者や起業家としての活躍が期待できます。

資格

(予定であり、変更となる場合があります。)

【取得できる免許・資格】

中学校教諭一種免許状(社会)※、高等学校教諭一種免許状(公民・農業)※、社会調査士、フードコーディネーター(3級)、食の6次産業化プロデューサー(レベル1、レベル2、レベル3)
※申請中。ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります。

【任用資格(卒業後の実務経験により取得できる資格)】

学芸員

【受験資格】

フードスペシャリスト・専門フードスペシャリスト、フードコーディネーター(2級)

食料資源・環境分野

地球規模での食と資源・環境の未来を考える分野です。農林漁業の生産現場である農山漁村の環境資源や食料自給率、食品ロス、食の安全性、さらに地球規模での食料・農業問題やさまざまな環境問題を学びます。

食品産業分野

躍動する食品産業の実態を探り、食の安定供給を考える分野です。食品メーカーや流通など食を支えるビジネスの主体について食品産業論や食品マーケティング論、食品ビジネス特別講義などの科目で学びます。

食品・食文化分野

食文化を見つめ、明日の「食」を創造・開発する分野です。スローフードやフードツーリズムなどを理解し、新商品や新メニューの企画・開発を含めた新しい食文化の創造、海外への食文化の発信などについて学びます。

清水みゆき | 地域環境経済

地域に根差した風土、環境によって育まれてきた私たち人類は、より豊かに生きるために社会を変革してきました。そこでの「豊かさ」と、私たちを育んできた環境との望ましいあり方とは何かを考えながら、食と環境の問題の解決方法を研究しています。

高橋 巖 | 地域経済

私たちの身近な問題である“農と食”の問題を中心にしながら、その背景にある少子高齢化や資源環境など社会構造問題、協同組合・非営利協同組織問題などの分析を通じて、さまざまな地域経済・地域社会の問題を考えていきます。

宮部和幸 | 農村資源開発

農村地域に存在する豊かな自然、伝統野菜、郷土料理などの宝物を、探索や聞き取り調査活動等を通じて見つけ出し、その宝物に磨きをかけながら、どのように活用すべきかについて実践的な取り組みを進めています。

小野 洋 | 資源経済

環境問題は私たちの食を含む生活全般に大きな影響を及ぼしています。どのような農産物の栽培方法が環境負荷を小さくするかは、一般的なイメージと異なることが少なくありません。経済学のツールを用いて、環境問題を多面的に捉える洞察力を養います。

阿久根優子 | 国際フードシステム

貿易自由化や気候変動といった政策や環境の変化は、フードシステムを通じて特定の地域だけでなく国内外の経済・社会に影響をもたらします。それらの原因やメカニズムについて、定量分析の手法を用いて地域経済学や新経済地理学の視点から探究します。

大石敦志 | 産業組織

食品産業(食品工業、食品流通、外食産業)を対象に、統計的手法やマーケティングリサーチの技法を使って、その組織構造や参加者(企業や消費者)の行動を分析・評価し、豊かな食への理論的・実証的な基礎を与えることをめざしています。

友田滋夫 | 地域食品企業

地域で活躍する食品関連中小企業の役割や抱える課題について、原料となる農水産物の生産者との関係、加工技術の開発や習得上の課題、地域住民の働く場としての機能の発揮、消費者との結びつき、地域活性化との関係など、多様な視点から考えていきます。

菊地 香 | 食品資源管理

日本の家庭での食事をみると、身近なところにある食材をつかった食事から、調理が簡単で油脂の多い洋風の食事となっています。食の地域性がなくなりつつあります。そうした地域性のある食事とはどのようなものなのかを調査、研究をしています。

佐藤奨平 | 食品企業組織

私たちの食生活を支え、新たな食文化を創造する食品企業のイノベーションの源泉を探ります。とくに企業家の経営構想力に基づく戦略的意思決定・行動に注目し、経営史・組織論的視点から、調査・研究を進めています。

川手督也 | 産業社会

とくに「食卓の向こう側」である農林漁業・農山漁村の現場に着目しつつ、社会的に大きく乖離してしまっている食と農、都市と農村の関係を今後いかにつくり直していったらよいかなどの問題について、暮らしの視点に立って研究を進めています。

若林素子 | 食品開発

次々に発売される食品の新製品は、どのように開発されているか知っていますか?ヒット商品を生み出すためには、消費者のニーズをつかむことと、食品製造のしくみを知ることが大切です。文系・理系の学びを融合させ、新しい食品の開発提案に取り組みます。

久保田裕美 | 食コミュニティ

食生活の変化は、その時代の背景を映し出します。食生活や食文化についての知識を学ぶと共に、「食」とは何かとの視点に立って、多様化する現代のライフスタイルや地域社会における食の豊かさについて考えていきます。

谷米温子 | フードコーディネート

ライフスタイルの変化や高齢社会に対して、食について改めて考える必要があります。「おいしい笑顔」をテーマに、望ましい食生活の実現に向けて、食卓から人々の食生活をより豊かにする方法について考えていきます。

片上敏喜 | フードツーリズム

日本各地には、その地域ならではの豊かな「食文化」が存在しています。そうした食文化と私たちを「ツーリズム」でつなぐことを通じて、「自らの生活に活かすことができる観光」、「生産者と消費者をつなぐことができる観光」等について研究を行い、実践的に学んでいきます。

清水友里 | 食品調理

私たちは調理操作によって食品の嗜好性を向上させています。嗜好性の高い、おいしい食品とはどんな物でしょう。調理過程における食品の化学的・物理的变化などの諸現象を科学的に分析する機器測定や、人間の感覚を用いる官能評価を用いておいしさの秘密を探ります。



授業ピックアップ 教室を出て学ぼう! 実践的な実習科目

2年次の必修科目である「フィールドリサーチ」は、全学生が少人数の班に分かれ、日本各地の農山漁村や食品メーカー、外食産業などの現場に出かけて実態を調査する、学科の中核的な授業です。また、「調理学実習」では、学内の調理実習室で実際に各国の料理をつくり、食への知識を広げるとともに、有名ホテルでのマナー講習などを通じ、実践的な学びを深めます。



国際共生学科



給食に有機農産物、ゼイタクだと思いませんか？

地理的に近い国なのに、食文化では違いも多い日本と韓国。皆さんが慣れ親しんでる学校給食も例外ではありません。例えば、日本の学校になくて韓国にあるのが、給食の食堂スペース。配食の利便性と安全性を理由に韓国では、日本のように教室で給食をとることはないのだそうです。そしてもう一つ、韓国の給食に顕著な傾向が、有機農産物を使ったメニューの多さ。日本人から見ると少々贅沢にも思えますよね。しかしこれには日韓の有機農産物事情が絡んでいて、食料マネジメントについて研究する李裕敬専任講師は考えています。「韓国では食の信頼を揺るがす事件が多発した時期がありました。そのため安全な有機農産物へのニーズが高まり、小売店でも戦略的に販売。消費者が接する機会も増え、給食にも優先的に使われるようになりました。一方日本では、比較的高価な有機農産物を販売するため、意識の高いユーザーを会員として囲い込む販売方式が広まりました。結果的に有機農産物はブランド化していったのです」。なるほど、それなら韓国の給食で有機農産物が広がり、私たちに贅沢に見えるのもうなずけます。給食という身近なモノでも、国際的に比較することで、販売戦略や消費者の意識など多くの違いが浮き彫りになる。多様な視点でフードシステムを考察する面白さにぜひ気づいてほしいと、李専任講師は願っています。

国際共生学科って、どんなところ？



学科の特長

国際共生学科には3つの学びの分野があります。学生は必修科目を除き、それぞれの興味や将来の進路に合わせ、各分野から授業や実習などを選択することができます。



生物資源を取り巻く ビジネス、文化・社会について学ぶ文系の学科

国際共生学科では、動物、植物、微生物などの生物資源とそれらを取り巻く経済・ビジネス、文化・社会、環境に関する教育・研究を行います。この教育・研究活動を通じ、生物資源と人との共生、生物資源の生産国・利用国との共生を図り、生物資源を国際的にマネジメントできる人材、国際交流や国際平和に尽力できる実践力を備えた人材を養成します。

実践的な能力を育む国内外での体験的な学び

国際共生学科では実践的な能力の育成に力を入れ、「国際共生フィールド系科目」など、フィールドにおける十分な実体験を可能にするカリキュラムを提供しています。また、アフター/ポストコロナ時代を見据え、海外フィールドはもちろん、国内にある異文化の理解や国内から世界への情報発信といった視点での体験型教育も重視し、国内外を問わずグローバルに活躍できる人材を育成します。

コミュニケーションと情報処理スキルを重視

国際共生学科では、多岐にわたる生物資源に関する知識を学修するだけでなく、基礎的な能力として母語以外の言語による高いコミュニケーション能力を身につけます。また、情報通信技術 (ICT) やデータサイエンスなど、実践力となる基礎知識とスキルも修得します。

国内外でグローバルに活躍できる人材を育成

国際共生学科では、生物資源を扱う商社などのグローバルビジネスをはじめ、国内外の多方面にわたる業界で活躍が期待される人材、国際交流や国際協力で尽力できる実践力を備えた人材を育成します。また、途上国への開発援助など一方的な貢献という視点ではなく、国内外の関係者や関係各国と WIN-WIN の関係を共生により構築し、持続可能な国際社会を実現するための教育・研究を展開します。

学修の流れ

1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
<p>教養教育科目を中心に外国語および重視したい分野に関連する科目を履修し、基礎的な知識やスキルを学びます。それとともに国際共生学の基礎的な科目も学修します。</p>	<p>専門的な外国語と情報学を学修し、本学科の基盤領域における知識とスキルを高めます。また、専門教育科目の履修を通じ分析力も高めます。国内外におけるフィールドワークを通じ、実践的な活動に携わることを推奨します。</p>	<p>より専門的な外国語とデータサイエンスに関する科目に加え、各自が重視する分野の専門教育科目を中心に履修し、応用力と専門性を高めます。また、フィールドワークや課題解決型プロジェクトへの参加により実践的に学びます。</p>	<p>フィールドワークや課題解決型プロジェクトに主導的な立場で参加します。また、これまでの集大成として国際共生学研究(卒業研究)を中心に学修。卒業後の進路も見据え、社会への飛躍に備えます。</p>

科目一覧



【国際共生学系科目】

国際共生学入門、国際共生特別講義、グローバルスタディーズⅠ、グローバルスタディーズⅡ、グローバルスタディーズⅢ、グローバルスタディーズⅣ、グローバルスタディーズⅤ、グローバルスタディーズⅥ

【国際共生コミュニケーション系科目】

共生の英語Ⅰ、共生の英語Ⅱ、Hospitality English、Advanced English Reading、TOEIC EnglishⅠ、TOEIC EnglishⅡ、中国語講読、中国語会話、中国語コミュニケーション、中国語作文、スペイン語講読、スペイン語会話、スペイン語コミュニケーション、スペイン語作文、Business English Communication、Advanced English Writing、Advanced English Presentation



【国際共生データ分析系科目】

国際共生情報学、国際共生情報学演習、生物資源データサイエンス、生物資源データサイエンス演習

【生物資源学系科目】

国際植物資源論、国際動物資源論、国際バイオ資源論、国際環境資源論、国際生物資源法規

【国際共生文化・社会系科目】

世界の飲食文化、世界の居住文化、歴史と国際共生、文化地理学、多文化共生論、宗教と国際共生、産業地理学、共生の文化人類学、共生の社会学



【国際共生環境系科目】

国際関係論、国際政治論、環境生態学、国際協力論、自然環境保全論、地球温暖化対策、NGO・NPO論、環境計画学、地球環境と持続可能な開発、国際地域共生デザイン論

【国際共生経済・ビジネス系科目】

ビジネスコミュニケーション論、生物資源マーケティング論、国際貿易論、国際経営戦略論、生物資源ビジネス論、生物資源流通論、国際人材マネジメント論、起業と共生、国際地域ブランド戦略論、国際ツーリズム論

【国際共生フィールドワーク系科目】

国際共生フィールドワーク入門、国際共生社会調査論、国内フィールドワークⅠ、国内フィールドワークⅡ、海外フィールドワークⅠ、海外フィールドワークⅡ



【国際共生課題研究・卒業研究系科目】

国際共生学ゼミナールⅠ、国際共生学ゼミナールⅡ、国際共生学研究Ⅰ、国際共生学研究Ⅱ

将来の活躍分野

一般企業(貿易・流通、食品、商社、金融・保険、不動産、建設、観光、情報・通信、各種コンサルタント等)、公務員(国家公務員、地方公務員)、教員(中学校教諭、高等学校教諭等)、各種団体(国際関連機関、NPO、NGO等)、大学院進学など、幅広い進路が考えられます。

資格

【取得できる免許・資格】
 中学校教諭一種免許状(社会)※、高等学校教諭一種免許状(地理歴史・公民)※
※申請中。ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります。
 【任用資格(卒業後の実務経験により取得できる資格)】
 学芸員

グローバルビジネス分野

主に生物資源を扱う貿易や国内外でのビジネスを展開できる素養を身につけるため、国際経済、マーケティング、国際流通などの分野での知識を深め、実社会と照らし合わせながら、実践的な取り組みができる能力を養います。

石田正美 | 国際経済

アジアを始めとするグローバルなビジネスに求められる社会科学の知識と方法論をベースに国際共生に求められる課題に対処します。具体的には経済学、経営学、さらには政治学などの方法論をベースに国際貿易・投資・金融と日本国内の課題に取り組みます。

小谷幸司 | 地域マネジメント

地域資源の有効活用による社会や産業の持続可能な発展をめざした教育研究を展開します。具体的には社会で生じている課題を取り上げ、マーケティングの理論・手法などを通じて解決策を検討。課題解決に必要な知識やスキル、論理的な思考の修得をめざします。

菅沼桂子 | 国際経営戦略

日系企業を中心とした企業の海外戦略に関する教育・研究を行います。具体的には、経済学・経営学・政治学的視点から、個別企業が展開するグローバルビジネス戦略を探究。そうした活動を通じて視野を広げるとともに、思考力や発想力を高めていきます。

李 裕敬 | 食料マネジメント

グローバル化が進む食料市場において、持続可能な食料供給に求められるフードシステムの研究を行います。教育では市場調査の手法・会計・経営管理など経営学理論の学習などを通じ、食料市場に関する課題の発見と解決策を模索できる人材の養成をめざします。

文化・社会環境分野

国際的な視点で人と人、人と自然との共生を具現化するため、文化、地理、社会、生物資源、さらには環境に関する知識を深め、その問題点を発見し、解決方法を追究する能力を養います。

飛田 哲 | 資源管理

地球環境における生物資源と自然資源の現状について解説し、それらの有効活用と適正な管理方法についての広い学びと深い研究を指導することにより、健全で持続的な国際共生社会の実現に貢献できる人材を育成します。

栗原伸治 | 空間文化

人類文化・社会と居住空間や地域空間をはじめとする空間との関係について探究します。多様な人類文化・社会と共生した空間の計画・デザインを視野に入れ、これらを解明します。同時に、そのプロセスを通じた思考や実践的な感覚の身体化もめざします。

山下哲平 | 国際社会

国際社会を舞台に、人類共通の価値(SDGs、幸福、安定した生活、平和など)を追究・実現していく上で必要な考え方と実行力の修得を目的とします。具体的には社会学、経済学、政治学を学問基盤とし、生活向上のための諸課題にアプローチしていきます。

園江 満 | 文化共生

現代社会における分断や不寛容に対して、平等と公正を実現するために私たちはどう生きるべきなのかを考えます。特に東南アジア大陸部でのフィールドワークに基づく地域研究をもとに、文化的・生態的多様性に係る知見を深め、多文化共生に関する理解を深めます。

佐々木綾子 | 自然共生

環境に関する諸課題を理解し、生態系の機能を活かした持続可能な社会のあり方を探究します。具体的には、生態学、森林科学、地域研究等の手法により、伝統的生業や自然生態系管理の構造を解明。環境問題が発生するメカニズムや地域性を定量的に評価します。

福田聖子 | 国際協力

国際協力の現場の視点から開発途上国の課題について考え、国際協力による支援がどのように現地の人々に届くのか、彼らの生活にどのような影響があるのか、幅広い分野の中でも、農業・農村開発を中心に具体的な事例分析に取り組みます。

情報・コミュニケーション分野

多様な情報の処理能力、および外国語でのコミュニケーションスキルを身につけます。また、様々な表現形式を解釈し、自ら発信できる表現力、データを現実的・創造的に活用できる能力を養います。

須永 豊 | コミュニケーション

多様性を尊重するグローバル社会の一員としてのコミュニケーション能力を身につけます。言語のみならず音楽・映像・芸術などを広く研究対象とし、自ら表現・発信する学びを通じて、様々な相違や問題を乗り越え、共生社会の実現に貢献できる人材を育成します。

新規教員 | データサイエンス

教育面では、すべての学問分野で必要となるデータサイエンスの基礎手法を、表計算ソフトやR言語などを利用して指導していきます。また研究面では、生物資源分野から得られる様々なデータの特徴抽出について、独自の手法により挑戦していきます。

TOPICS

課題解決型プロジェクトって?

「国際共生学ゼミナールⅠ・Ⅱ」の一環として、グローバル化・多様化する社会で生じている生物資源に関連する諸課題の解決に学生チームで取り組みます。対象とするテーマは、産業、文化、自然資源など様々で、修得した社会調査や分析手法を駆使し、フィールドワークも取り入れながら、企業や行政とも連携して行う実践的な活動です。

【課題解決型プロジェクトの実施イメージ】



01 フィールドワーク
現地を知り課題を明確化



02 リサーチ
国内外の市場ニーズを知る



03 グループワーク
チームの最適解を見出す



04 プレゼンテーション
企業等への解決案の提示と議論



05 解決策の提案
販売戦略、商品開発など



06 提案の検証
消費者の声から新たな課題を発見

獣医保健看護学科



自分の手術よりつらい、と、飼い主はつぶやいた。

今やペットの域を超え、家族の一員として愛されることの多くなった犬や猫たち。長寿化も進み、人間の高齢者と同じく、死因トップは腫瘍疾患（がん）といわれています。腫瘍の効果的な治療方法といえば外科手術。とはいえ長く連れ添った飼い主ほど、愛するペットにメスを入れ、痛みを与えることを嫌がるのも当然といえるでしょう。そこで最近の獣医療では放射線を腫瘍に照射し、切らずに腫瘍を縮小・死滅させる放射線治療のニーズが高まっています。この治療には痛みも苦痛もありませんが、本来は有害な放射線。できるだけ少量で効果を上げるため、放射線増感剤という薬剤が使われます。日本大学動物病院で放射線治療を担当する中山智宏教授は、従来のものとは違って毒性の少ないSQAPという放射線増感剤を犬や猫の症例に使用。大きな副作用なしに、治療効果を高めることに成功しました。中山教授は、「飼い主の希望に応える放射線治療は、今後ますます重要な選択肢になる」と、SQAPの研究に手応えを感じています。なお、今のところ愛玩動物看護師は、放射線による検査や治療に直接携わることはできません。しかし、こうした高度医療を身近で学び理解することで、不安に思う飼い主に寄り添い、獣医療全体の質を高める力になれるはず。中山教授はじめ新学科の教員はそう確信しています。

獣医保健看護学科って、どんなところ？

即戦力の愛玩動物
看護師になれる！

犬や猫の疾病予防・
リハビリテーション



公衆衛生

動物の診療補助
や適正な飼養

キャンパス内での
実習・研究も豊富！

最先端の
付属動物病院



動物医科学
研究センター

都市近郊で
牧場も併設

診療現場での臨床教育



獣医学科との
連携が心強い！

獣医保健看護学と
獣医学の
スペシャリストによる教育

各業界が注目の
新国家資格！

公務員

動物病院

教員
(中学・高校)



動物関連サービス・
ペットフードメーカー

動物臨床検査・
医療機器メーカー

獣医学科編入・
大学院進学

学科の特長

獣医保健看護学科では、すべての学生が必修となる基礎・応用・臨床科目を学び、国家試験の受験資格をめざします。それぞれの興味に応じて履修する応用的な科目もあります。

獣医保健看護学科

基礎
動物看護学
分野

応用
動物看護学
分野

臨床
動物看護学
分野

国際水準に相当する愛玩動物看護師の養成

獣医保健看護学科では、卒業後に即戦力として活躍できる、国際水準の専門知識と技能を持った愛玩動物看護師の養成をめざしています。そのため、動物の診療補助や適正な飼養、疾病の予防、リハビリテーション、公衆衛生学、飼い主やスタッフとのコミュニケーションなど、動物看護のプロに必要な幅広いカリキュラムを用意。実習では同じ項目を繰り返して学ぶ機会も提供し、必要な知識や技術を確実に身につけられるよう配慮されています。

獣医学科を有する学部が設置する新学科

愛玩動物看護師の教育に獣医学は欠かせません。本学部には100年以上の歴史を誇る獣医学科が存在し、高い教育スキルと専門性を有する獣医学科教員も多数在籍。充実した愛玩動物看護教育の実現が可能になっています。また、臨床教育においては獣医学科との連携を十分に考慮。在学時より、実際の動物病院に近い診療や看護を経験し、将来に備えることができます。

動物病院などキャンパス内に充実した実習施設を完備

本学部キャンパスには、学生が実習や教材学習を行う上で必要な施設がすでに存在し、有効に運用されています（動物病院、動物医科学研究センター、実験動物センター、博物館、付属農場など）。とくに動物病院（ANMEC）は、愛玩動物看護師の臨床教育においてメインとなる実習の機会を提供する貴重な場。基本的な動物（犬と猫）の取り扱い、飼い主とのコミュニケーション、施設の衛生管理などを学ぶことができます。

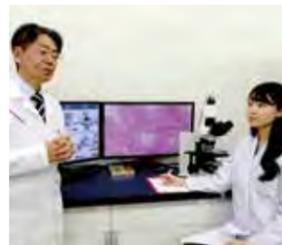
動物病院を始めとする幅広い進路

獣医保健看護学科では、人獣共通感染症、公衆衛生学教育も充実。人と動物がともに健康的に暮らす環境作りについて深く理解することができます。また、愛玩動物看護師として、飼い主やブリーダーに対して、適正な動物の飼養方法を指導する知識・能力も身につけることが可能です。そのため動物病院をはじめ、愛玩動物に関する幅広い業界に活躍の場を得ることができます。

学修の流れ

1 年次	2 年次	3 年次	4 年次
愛玩動物看護師の養成に必要な基礎科目として、動物福祉、愛玩動物学、動物形態機能学などを学び、動物内科看護学の基礎も学修します。並行して動物看護の基礎となる実習もスタートします。	1年次に引き続き、愛玩動物看護師の養成に必要な基礎科目として、動物の免疫学、繁殖学、栄養学、行動学、薬理学、病理学などを学び、動物内科・外科看護学と実習に加え、臨床検査学、臨床栄養学など専門的科目を学修します。	人獣共通感染症学や実験動物学、動物医療コミュニケーションや動物飼養など、社会における人と動物の関わりについて広く学修します。また、高度で専門的な臨床動物看護学分野の各論と実習に加え、実践的な動物病院における臨床実習がスタートします。	社会人に向けた獣医法規とペット関連産業について学び、愛玩動物看護師国家試験に向けた演習により基礎、応用、臨床の動物看護学を総括します。さらに平行して、これまでの学びの集大成として卒業研究（獣医保健看護学研究Ⅰ、Ⅱ）に取り組みます。

科目一覧



【基礎動物学】

分子生物学、獣医倫理・動物福祉論、動物形態機能学Ⅰ、動物形態機能学Ⅱ、動物生理化学、動物免疫学、動物繁殖学、動物品種論、動物栄養学、動物行動学、実験動物学、獣医法規

【基礎動物看護学】

獣医保健看護学概論、動物微生物学、動物薬理学、動物病理学、動物寄生虫病学、公衆衛生学、人獣共通感染症学



【愛護・適正飼養学】

愛玩動物学、動物生活環境学、人と動物の関係学、動物医療コミュニケーション論、適正飼養指導論Ⅰ、適正飼養指導論Ⅱ、ペット関連産業概論

【臨床動物看護学】

動物内科看護学Ⅰ、動物内科看護学Ⅱ、動物臨床検査学、動物臨床栄養学、動物外科看護学Ⅰ、動物内科看護学Ⅲ、動物臨床薬理学、動物臨床看護学総論、動物臨床看護学各論Ⅰ、動物臨床看護学各論Ⅱ、動物臨床看護学各論Ⅲ、動物外科看護学Ⅱ、動物臨床看護学各論Ⅳ



【実習】

動物形態機能学実習、動物内科看護学実習Ⅰ、動物内科看護学実習Ⅱ、動物内科看護学実習Ⅲ、動物外科看護学実習Ⅰ、動物愛護・適正飼養実習、動物臨床検査学実習、動物外科看護学実習Ⅱ、動物看護学総合実習Ⅰ、動物看護学総合実習Ⅱ

【展開領域】

動物保健看護学演習Ⅰ、動物保健看護学演習Ⅱ、動物保健看護学演習Ⅲ、獣医保健看護学研究Ⅰ、獣医保健看護学研究Ⅱ

【応用領域】

外来動物管理学、動物生態学、野生動物管理学、保全生物学、再生生物学、都市動物学、動物心理学、動物地理学、動物園飼育管理学

将来の活躍分野

大学付属を含む動物病院の愛玩動物看護師を始め、ペットフード・ペットショップなどペット関連産業、衛生管理会社、メーカー（食品化学・医薬品など）、実験動物を扱う企業や組織、官公庁（動物愛護センターなど）、団体などがあります。そのほか、獣医学科編入や大学院進学、研究補佐職なども視野に入ります。

資格

（予定であり、変更となる場合があります。）

【受験資格】

愛玩動物看護師国家試験

【取得できる免許・資格】

中学校教諭一種免許状（理科）※、高等学校教諭一種免許状（理科）※
※申請中。ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります。

【任用資格（卒業後の実務経験により取得できる資格）】

学芸員

基礎動物看護学分野

動物の福祉や愛玩動物、そして形態機能学、生理生化学、栄養学、薬理学、繁殖学、免疫学など動物看護の基本となる科目を学ぶ分野です。

応用動物看護学分野

公衆衛生学・人獣共通感染症学や実験動物学、動物飼養指導やコミュニケーション論など、社会における人と動物に関わる科目を学ぶ分野です。

臨床動物看護学分野

動物病院の診療補助・疾病予防に欠かせない検査や動物看護学（内科学、外科学など）の知識を学び、実践的に技術や技能を活かす分野です。

恒川直樹 | 動物形態機能

私たちの体は生殖細胞と体細胞に大別され、このうち生殖細胞は精子や卵子に分化して、次の世代の新たな生命を生み出します。精子や卵子には、動物種特有の「かたち」があり、意味があります。これを形態機能学的に解明し、新たな生殖技術の開発につなげます。

福澤めぐみ | 応用動物行動

犬の行動学、アニマルウェルフェア、愛護を主な研究対象としています。人と共に生活する家庭動物の適正飼養および問題行動の改善法やしつけだけでなく、使役犬に関する研究、飼育放棄された動物に関する研究を行っています。

中山智宏 | 画像診断

動物の健康と病気を知るためには、レントゲン、超音波、CT、MRI検査などの画像診断が重要です。また、がんの放射線治療について研究もしています。放射線治療は、がんによる動物の苦痛を和らげる効果が大きく、愛玩動物看護師が活躍する場でもあります。

坂井 学 | 消化器内科

犬と猫の病気で一般的な腸や肝臓などの消化器疾患を、内視鏡や腹腔鏡などの痛みの少ない装置を用いて診断し、治療法について研究しています。特に治療法がない肝疾患（肝硬変）などは、栄養療法と細胞療法を組み合わせた新規治療について研究を進めています。

伊藤大介 | 神経病

犬や猫にも脳や脊髄などの病気があり、薬による内科治療や手術による外科治療を行っています。しかし、これら従来の治療法では十分に治らない動物がいるため、再生医療やリハビリテーション（理学療法）を組み合わせた治療効果の向上について研究をしています。

住吉俊亮 | 臨床繁殖

動物の新しい繁殖技術の開発し、繁殖障害を防ぐための研究を行っています。具体的には、人工授精、採卵（卵子をとること）、体外受精、胚移植といった繁殖技術の開発と改良です。これらの成果により動物の繁殖性を向上させています。

丸山治彦 | 臨床検査

犬と猫における血液疾患、特に止血異常症の研究を行っています。血友病などの先天性疾患の遺伝子解析を行い、新たな遺伝子異常を追究することで、それら疾患に対する遺伝子診断法の確立ならびに新規治療法の開発に貢献することを目標としています。

阪本裕美 | 泌尿器内科

犬と猫の病気で一般的な腎臓や膀胱などの泌尿器疾患を、超音波やCTなどの画像診断装置を用いて診断し、有効な治療薬について研究しています。また、腎臓や肝臓、腸に病気のある動物に対して、適切な食事療法と新たな栄養評価法についても研究を進めています。

手島健次 | 麻酔/疼痛制御

動物の診療は麻酔をかけなくてはできないことが多く、また、様々な動物種に合った麻酔法が必要なため、安全で質の高い麻酔法を開発する研究をしています。加えて、手術後の動物看護として、動物の痛みの評価や痛みを和らげる治療に関する研究もしています。

TOPICS

教えて！愛玩動物看護師の仕事とは？

「愛玩動物看護師」は、獣医師と協力しながら動物の健康と福祉に貢献する新しい国家資格です。動物病院（犬・猫など）において診療や治療をサポートするだけでなく、入院動物の世話やリハビリテーション、動物の世話に関する飼い主への指導なども担当。獣医師のパートナーとして活躍する、「動物看護」のプロフェッショナルといえます。

新たな「法律」と「国家試験」

☆愛玩動物看護師法
〈農林水産省・環境省所管〉
・令和元年6月制定
・令和4年5月施行
☆愛玩動物看護師国家試験
・令和5年2月末～3月頃
第1回国家試験実施

愛玩動物看護師！

獣医師のシゴト

動物の診察・診断・治療
外科手術
X線などの検査



愛玩動物看護師のシゴト

採血・投薬・
マイクロチップ挿入・採尿
(獣医師の指示で行う)
入院動物の世話・
リハビリテーション
動物の世話や栄養管理に
関する指導・助言

獣医学科



幸せな動物は、人も幸せにします。

日本大学動物病院では、一次診療を行う動物病院では対応するのが難しい病気にかかった動物を受け入れ、放射線療法や高度な外科手術など、最先端の治療に取り組んでいます。しかし最近、動物も人間同様に高齢化が進み、従来の治療法では治せない病気も現れてきました。また、動物を大切な家族として捉える人も増え、たとえ難病であっても治したいというニーズが一層高まっています。そこで注目されているのが、医学分野で成果を上げているiPS細胞を使った再生医療です。2019年、枝村一弥教授をはじめとする研究グループは、世界で初めて臨床応用可能な犬のiPS細胞の作製に成功。再生医療への歩みを大きく前進させました。このiPS細胞により、どんな病気が克服できるでしょうか。「一つは変形性関節症の治療です。我々の調査では10歳以上の犬の40%にこの疾患があり、歩くのがつらくなってきます。治療が可能になれば、犬と飼い主さんのQOL(生活の質)改善に大きな福音となるでしょう」と、枝村教授は期待を込めて語ります。さらには、犬の再生医療で得られた知見が、人間の再生医療に役立つ可能性も十分にあると考えられています。動物と末永く暮らす幸福な人生のために、日大発の先進技術が活躍する未来は、もうすぐそこまで来ているのです。

獣医学科って、どんなところ？

最先端の獣医学が学べる！



都市近郊で大動物の臨床が学べる！



キャンパス内の付属動物病院



110年を超える歴史と伝統



学科の特長

獣医師に求められるのは広範囲な領域にわたる専門知識と実践力です。獣医学科では、それらを段階的に修得できるように綿密なカリキュラムを編成しています。また、多彩な人材や研究施設を活用し、最先端の学習環境と体制を整えることで、アクティブな学生生活ができるようにサポートしています。

獣医学科

基礎
獣医学
分野

病態
獣医学
分野

応用
獣医学
分野

臨床
獣医学
分野

最先端の教育により獣医師を養成する学科

獣医学科では、iPS細胞を使った動物の再生医療や人獣共通感染症など、これからの獣医師が知っておくべき先端の研究が進められています。また、高度な診断・治療機器を利用した実践的な臨床教育にも定評があります。もちろん本学科の特色は、卒業時に獣医師国家試験受験資格を得ることができる"ライセンス教育"にあり、最終的にはすべての学生が獣医師国家試験に合格できるよう、万全なサポートも充実しています。

付属動物病院など充実した実習環境

本学部の動物病院には、人の総合病院に匹敵する、優れた医療機器が揃っています。国内有数の最先端の診断・治療機器を駆使し、高度な動物医療が行われています。学生は病院実習を通して、専門的な診断技術と実践的な治療法を習得しています。診断に始まり、専門教員により行われる外科手術にも立ち会う中で、授業での学びを深く自分のものとしてすることができます。

首都圏近郊で総合的な獣医学教育を実現

首都圏近郊にあり、駅から3分の住宅街にある広大な湘南キャンパスには、動物病院だけでなく牧場、博物館などの実習施設や研究施設が充実。このキャンパスに在りながら、リニューールした牧場や大動物実習施設で実習を受けることができるのも大きな強みです。また、令和5年からは同キャンパスに獣医保健看護学科も開設。愛玩動物看護師と連携し、より現場に即した実践的な学びも可能になります。

110年以上の歴史と同窓生の全国ネットワーク

獣医学科の開設は1907年にまで遡り、これまで数多の優れた獣医師を社会に送り出してきました。本学科の同窓生は、全国のあらゆる現場で活躍しており、同窓生同士の緊密なネットワークも健在です。獣医師としての職場は、動物病院、畜産・公衆衛生関連の公務員、研究機関、民間の製薬・食品メーカーなどさまざまですが、どんな地域や職場にあっても、母校や同窓生による力強いサポートを実現することができるでしょう。

学修の流れ

1～2年次	3～4年次	5～6年次
獣医学の概要や獣医師の倫理、動物の体の構造や生体機能などについて学修します。また、動物に起こる病気の特徴や、その原因となる細菌・ウイルス・寄生虫の性状、治療に必要な薬などについて講義を通して学ぶとともに、実習を通して各専門科目に関する理解を深めます。	動物の感染症や人獣共通感染症、乳・肉・卵など動物性食品の安全性などについて学修します。内科学・外科学をはじめとする臨床系科目の講義・実習も始まり、動物の病気やケガに対する実践的な診断・治療・予防についても学びます。	臨床系科目を中心に学び、大学の付属動物病院での参加型臨床実習や学外実習、所属研究室における研究活動も行います。6年次には、すべての獣医学教育分野の総復習を行うことにより、科目どうしの有機的なつながりを深く理解するとともに、獣医師に求められる専門知識の定着を図ります。

科目一覧



【導入・基礎獣医学】

獣医学概論、獣医解剖学、獣医生理学、獣医生化学、獣医倫理動物福祉学、動物遺伝育種学、放射線生物学、獣医組織発生学、獣医薬理学、動物行動学、実験動物学、獣医法規

【病態獣医学】

獣医微生物学、獣医病理学、獣医免疫学、獣医寄生虫病学、動物感染症学

【応用獣医学】

毒性学、獣医公衆衛生学総論、食品衛生学、獣医疫学、人獣共通感染症学、動物衛生学、環境衛生学、魚病学、野生動物学

【臨床獣医学】

獣医臨床病理学、獣医臨床繁殖学、獣医外科学 / 手術学総論、獣医内科学総論、獣医内分泌代謝病学、獣医血液病学、獣医皮膚病学、産業動物臨床学、獣医画像診断学、獣医軟部組織外科学、獣医麻酔学、獣医運動器病学、獣医呼吸循環器病学、獣医臨床行動学、獣医消化器病学、獣医臨床腫瘍学、馬臨床学、獣医臨床薬理学、獣医眼科学、獣医腎泌尿器病学、獣医神経病学、獣医臨床栄養学

【実習】

獣医解剖学実習、獣医生理学実習、獣医生化学実習、獣医組織学実習、獣医微生物学実習、獣医薬理学実習、獣医病理学実習、実験動物学実習、毒性学実習、獣医寄生虫病学実習、食品衛生学実習、魚病学実習、動物感染症学実習、獣医公衆衛生学実習、動物衛生学実習、小動物内科学実習、小動物外科学実習、獣医臨床繁殖学実習、獣医画像診断学実習、産業動物臨床実習、総合参加型臨床実習

【展開領域】

獣医事特別演習（キャリア形成）、獣医学外演習（インターンシップ）、専門獣医学演習（リサーチアクティビティ）、総合獣医学、獣医学研究

【選択】

分子生物学、動物品種論、牧場実習、獣医臨床解剖学、生物統計学、エキゾチックアニマル学、獣医応用免疫学、獣医再生医療学、動物園・水族館演習

将来の活躍分野

臨床獣医師（伴侶動物、産業動物）や、公務員獣医師（家畜衛生分野、公衆衛生分野）として、また大学や研究機関、企業（製薬、食品）などで多くの先輩が活躍しています。

資格

（予定であり、変更となる場合があります。）

獣医師国家試験受験資格

【任用資格（卒業後の実務経験により取得できる資格）】

狂犬病予防員、家畜防疫員、と畜検査員、食鳥検査員、環境衛生監視員、業事監視員

【その他の取得できる免許・資格】

中学校教諭一種免許状（理科）※、高等学校教諭一種免許状（理科）※、飼料製造管理者、食品衛生責任者

※申請中。ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります。

基礎獣医学分野

動物の体の基本的な構造や機能、また獣医学で用いる薬の基礎を学びます。

獣医解剖学・組織発生学 | 五味浩司、安井 禎、高橋直紀

様々な動物の体のしくみ（構造）を肉眼解剖学的レベルから電子顕微鏡による細胞の微細構造レベルまで、比較研究しています。

獣医生化学 | 岡林 堅、成田貴則

代謝調節や細胞内情報伝達機構を明らかにすることで、生体機能の謎を解明し、感染症や腫瘍など疾病の診断や治療への応用をめざしています。

実験動物学 | 佐藤雪太、越後谷裕介

野生動物が持っている病原体を対象に、フィールド調査や分子レベルの解析を行い環境の変化をとらえ、自然環境の保全に貢献します。

病態獣医学分野

動物に起こる病気やその原因である細菌、ウイルスや寄生虫について学びます。

獣医病理学 | 渋谷 久、近藤広孝

動物の病気の原因や経過、結果を、病理解剖や病理組織学的検査、免疫組織化学的検査、および分子生物学的手法で解明します。

獣医寄生虫病学 | 松本 淳、増田 純

動物の寄生虫と寄生虫病について、その診断や予防に役立つ知見を追究するとともに、新しい検査法の開発、応用などについて研究しています。

応用獣医学分野

人と動物に関わる食品や環境の衛生、また共通の感染症などについて学びます。

獣医公衆衛生学 | 丸山総一、佐藤真伍

ペットや家畜、野生動物から感染する猫ひっかき病などの人獣共通感染症などについて研究し、人と動物の健康に寄与します。

獣医毒性学 | 橋本 統

褐色・ベージュ脂肪細胞をターゲットにした代謝性疾患に対する創薬をめざしています。また、生薬の効果と毒性についても研究しています。

魚病 / 比較免疫学 | 森友忠昭、片倉文彦

イヌ・ネコ～魚類まで、様々な動物の免疫のしくみを研究しています。また、世界の食料生産において重要な、養殖魚の病気とその治療、ワクチン開発などを研究しています。

臨床獣医学分野

動物の病気に対する実践的な診断や治療を学びます。

獣医内科学 | 亘 敏広

付属動物病院の来院する犬や猫の一般内科、消化器科の診療を担当し、病気の治療や診断法に関する臨床研究を行っています。

獣医麻酔学・呼吸器病学 | 山谷吉樹

犬や猫を中心に呼吸・循環器疾患をもつ患者の病型分類・重症度判定・治療戦略・麻酔疼痛管理・救急救命に関する教育・研究を行っています。

獣医放射線学 | 高橋朋子、合屋征二郎、谷浩由輝

エックス線検査、CT検査、MRI検査により体の内部の異常を診断したり、放射線治療装置を用いて腫瘍の治療を行ったりします。

獣医臨床繁殖学 | 大滝忠利

家畜の繁殖性向上のため、乳牛の代謝病が繁殖機能に及ぼす影響の解明、子宮疾患と卵巣機能、豚の凍結精液作製技術などの研究に取り組んでいます。

獣医生理学 | 鯉江 洋

動物の恒常性とそれが破綻した状態の疾病との関係について取り組んでいます。主に動物の基礎生理学分野と循環器分野を中心に研究しています。

獣医薬理学 | 山崎 純、山口卓哉

分子から細胞、組織レベルの機能解析により、イオン透過タンパク（イオンチャンネル）を分子標的とした新たな薬物療法や、抗がん薬を探求しています。

獣医微生物学 | 遠矢幸伸、木庭隼達

動物に感染するウイルスの進化や病原性発現機構の解明をめざし、新規ウイルスの検索並びにウイルスと宿主との相互作用の研究をしています。

獣医伝染病学 | 小川健司、小熊圭祐

ウイルスが持つ遺伝子やタンパク質の機能を解析し、新しい治療薬の開発や、ウイルスが病気を引き起こすメカニズムの解明を目標としています。

動物衛生学 | 伊藤琢也、瀬川太雄

動物の免疫や病原体進化の研究に取り組むことで、動物の疾病予防や健康増進に寄与することをめざしています。

獣医食品衛生学 | 壁谷英則

腸管出血性大腸菌などの細菌性食中毒の疫学とそれらの病態について研究し、食の安全と健康に寄与します。

獣医外科学 | 浅野和之、枝村一弥、関真美子

付属動物病院での外科手術や診療を担当し、がんに対する高度医療、神経や骨の再生医療、内視鏡外科などを研究しています。

獣医神経病学 | 北川勝人

付属動物病院で、犬や猫の神経内科・外科疾患の診療を担当し、脳腫瘍と水頭症の診断治療や脊髄再生医療に関する研究を行っています。

産業動物臨床学 | 堀北哲也、大野真美子

牛、豚などの家畜（産業動物）の疾病に係る診断、治療および予防対策の開発や臨床研究を行っています。

大学院

生物資源科学研究科と獣医学研究科は、
こんなテーマに取り組みます。



生物資源科学研究科の組織は、基礎となる生物資源科学部の各学科の教育・研究体系を直接的に継承する方式ではなく、基礎となるそれぞれの学科の領域を超えて「生物資源の生産科学並びに利用科学に関する領域」「生命科学領域」「環境科学領域」「生物資源経済学領域」の4領域で編成。研究対象別に分散しがちな知識や技術の統合・体系化を実現するとともに学際領域の研究分野にも対応しています。また獣医学研究科は、プロダクションアニマルやコンパニオンアニマル、エキゾチックアニマル、ラボラトリーアニマルなどの疾病予防・診断治療及び公衆衛生の向上、さらには野生動物や水棲哺乳類の生態研究、保護などを主なテーマとして研究に取り組んでいます。

大学院生物資源科学研究科ならびに獣医学研究科の構成

生物資源科学研究科

生物資源生産科学専攻

植物生産科学分野／動物生産科学分野／水圏生物生産科学分野／森林生産科学分野／生産環境工学分野

生物資源利用科学専攻

生物資源利用学分野／生物資源利用化学分野／微生物利用科学分野／食品科学分野

応用生命科学専攻

生体分子科学分野／細胞生物科学分野／生体機能科学分野／分子生態科学分野

生物環境科学専攻

ストレス耐性科学分野／環境計画学分野／環境創造保全学分野／環境情報科学分野

生物資源経済学専攻

生物資源・食品経済学分野／食品流通・経営学分野／国際食品資源経済学分野／国際地域開発学分野



バイオサイエンス学科 / 動物学科 / 海洋生物学科 / 森林学科 / 環境学科
アグリサイエンス学科 / 食品開発学科 / 食品ビジネス学科 / 国際共生学科 / 獣医保健看護学科

獣医学研究科

獣医学専攻

獣医比較形態学分野
獣医比較機能学分野
獣医感染制御学分野
獣医疾病予防学分野
獣医病態制御学分野
獣医病態情報学分野



獣医学科

1年で終えるのがもったいないほど、
研究やフィールドは面白い。



伊藤正晟さん
生物資源科学研究科
生物資源生産科学専攻 博士前期課程 2年

大学に入って好きな魚の研究をすることは、小さい頃からの夢だったんです。それを4年(実質的には最後の1年)だけでやめてしまうのももったいないと思い、大学院の修士課程へ進学しました。現在はフグなど海洋生物の毒化の原因について研究中で、近いうちに沖縄へフグなどのサンプリングに行く予定です。私は魚好きで、自然を体感できるフィールドワークが大好き。フィールドは、地域によって息する生き物に大きな違いがあり、本当に興味が尽きません。修了後は企業の研究職をめざしています。自分の研究が活かせる養殖業界に興味があり、今は水産飼料の会社を中心に就活を進めています。

高い研究力と支援制度、優しい学風で、
この大学院を選びました。



小川里桜さん
生物資源科学研究科
生物資源利用科学専攻 博士前期課程 2年

他大学を卒業後、科学的な視点から食物について研究したいと考え、こちらの大学院に進みました。大学院選びの決め手となったのは研究力です。日本でも有数の研究施設が整い、大学全体の研究をバックアップしているという雰囲気にも惹かれました。さまざまな奨学金制度や、毎月手当が支給されるTA制度など、経済的な支援も充実。無理にアルバイトなどをしなくても安心して学生生活が送れます。大学の学風や人柄も素晴らしいですね。外からきた私に対しても、皆さんとても暖かく、困ったときはすぐにフォローしてくれます。こんな仲間のいるキャンパスで研究ができるのは、本当に幸せだと思います。

研究の醍醐味は、世界の謎を
まず自分が明らかにできること。



尾山 輝さん
生物資源科学研究科
生物資源生産科学専攻 博士後期課程 3年

学部4年のときに先生に誘われ、他大学の実習船に乗る機会がありました。そこで知り合った人たちが楽しそうに研究している姿を見て、ぜひ自分もと進学を決意したのです。現在は「新たなTTX保有生物の発見およびTTX獲得機構の解明」というテーマで、日本学術振興会の特別研究員にも採用いただき、フグ毒に関する研究に取り組んでいます。こうした研究の醍醐味は、世界で誰も知らないような謎を、まず自分が明らかにできることではないでしょうか。将来は大学の教員として研究を続けるつもりです。これまで人にも教えることはあまり得意ではありませんでしたが、TAとして活動するうちに、教育の面白さにも目覚めてきました。

研究はやればやるほど面白い。
あきらめずに続けてよかった。



森笹瑞季さん
生物資源科学研究科
応用生命科学専攻 博士後期課程 3年

学部時代から魚肉のタンパク質に注目した研究を続けてきました。研究はやればやっただけ結果が返ってきます。とくに、自分が想像していなかったようなデータが出るのがなにより面白く、もう少し、もう少しと思っているうちに、結局博士課程まで進んでしまいました。でも、途中でやめていたら後悔したでしょうね。大学院では「魚肉タンパク質摂餌が引き起こす骨格筋肥大メカニズムの解析」という研究テーマで、日本学術振興会の特別研究員に採用していただき、学業や研究を継続する上でも大変に助かっています。修了後は民間でも大学でもいいので、人の健康に役立てるような研究に携わりたいと考えています。



ここが知りたい！ 新しい生物資源科学部での学び方

どの学科で学べる？

Q 動物についてはどの学科で学べますか？

A 「動物学科」、「獣医学科」、「獣医保健看護学科」、「アグリサイエンス学科」などで学べます。

純粋に動物の生理機能や生態、進化などについて学びたいのなら「動物学科」、動物の病気を治したり、健康を守ったりする仕事をしたのなら「獣医学科」や「獣医保健看護学科」、動物の飼育や畜産に興味があるのなら「アグリサイエンス学科（動物性食資源コース）」などをご検討ください。



Q 植物についてはどの学科で学べますか？

A 「アグリサイエンス学科」、「森林学科」、「バイオサイエンス学科」などで学べます。

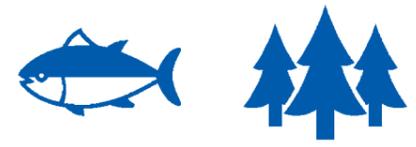
作物や果樹に興味があり、食料生産に関わる仕事をしたのなら「アグリサイエンス学科（植物性食資源コース）」、花の栽培や品種改良、装飾などに興味があるのなら「アグリサイエンス学科（フラワーサイエンスコース）」、植物の生理機能や生態を科学的に解明したいのなら「バイオサイエンス学科（微生物・植物コース）」、森林の植物や樹木、きのこなどに興味があるのなら「森林学科」などをご検討ください。



Q 環境保護に興味があります。どの学科がおすすめですか？

A 「環境学科」、「森林学科」、「動物学科」、「海洋生物学科」などをご検討ください。

環境一般や地球温暖化などに興味があるのなら「環境学科」、森林や里山の保全、バイオマス資源などに興味があるのなら「森林学科」、動物の生態や外来種の問題に興味があるのなら「動物学科」、海洋環境に取り組んでみたいのなら「海洋生物学科」などをご検討ください。



学科の学びが知りたい

Q 「食品開発学科」と「食品ビジネス学科」の違いは？

A 食品の開発や生産について学ぶか、食品の流通や食文化について学ぶかの違いです。

「食品開発学科」では、新しい食品の開発や加工・製造などに関する理論や、技術・スキルを学びます。そのため化学など理系科目の比重が大きくなっています。「食品ビジネス学科」では、食品産業や流通、消費、食文化などを学びます。そのため政治・経済、マーケティングなど文系科目の比重が大きくなっています。



Q 「動物学科」で学ぶ動物とは？

A 動物が持つ普遍的な機能から、多様な種が持つ特徴を学びます。

ほ乳類はもちろん、鳥類、昆虫など、さらには古生物についてもその研究対象としています。ただし、魚類と海生ほ乳類（イルカやクジラ）については、「海洋生物学科」で研究しています。



Q 「国際共生学科」は、海外実習や研修が必須なのでしょうか？

A 推奨しますが、必須ではありません。

「国際共生学科」では、国内にいながらグローバルに活躍できる人材を育成することも重視しています。国内に住む外国人が増加し多文化社会が形成されたり、日本から海外へ向けて情報を発信する機会が増えるなど、国内にいながらグローバル化に対応する能力が、今後ますます必要となってきます。そのため、国内におけるフィールドワークや課題解決型プロジェクトなども海外実習同様に重視します。



Q 「環境学科」の環境とは何を意味しているのですか？

A 地球環境、自然環境、都市環境の3つを研究分野としています。



地球環境とは、気象や地球温暖化など地球全体の環境。自然環境とは、生物が棲息する水や土壌、大気などの身近な環境。都市環境とは、私たちが暮らす街や都市、社会基盤を指します。それぞれの環境で起こっている問題を解決します。

こんな仕事に就きたい

Q 獣医師の活躍の場はペット病院だけでしょうか？

A 実は公務員、民間企業など幅広い進路があります。

獣医師の職場はペット病院ではありません。農村部には家畜の診療を担い、畜産農家をサポートする家畜診療所や共済組合があります。都道府県の家畜保健衛生所や食肉衛生検査所・動物愛護センター、農水省や厚労省の検査関係など、公務員として働く獣医師も多く存在します。また、医薬品メーカー、ペットフードメーカーなど民間企業に勤務する獣医師もいます。獣医師には想像以上に幅広い可能性があるので。

Q 愛玩動物看護師とは何をやる仕事ですか？

A 動物の健康や福祉を守る、獣医師の強力なパートナーです。



愛玩動物看護師は、獣医師と協力しペットの健康を守る新しい国家資格です。具体的には動物病院などで、獣医師の診療の補助や動物の看護、ペットの飼い主へ適正な飼養に関する助言などを行います。

Q 食品メーカーに就職するならどの学科がいいですか？

A 「食品開発学科」、「食品ビジネス学科」、「海洋生物学科」、「アグリサイエンス学科」、「国際共生学科」などをご検討ください。

どんな能力を身につけ、どんな仕事をしたいかによって異なります。食品の開発や製造など技術的な仕事をしたのなら「食品開発学科」、商品企画やマーケティングの仕事なら「食品ビジネス学科」、水産加工品などを扱う会社なら「海洋生物学科」、農畜産物に直結した仕事をしたのなら「アグリサイエンス学科」、食品の輸出入や流通に関する仕事なら「国際共生学科」をご検討ください。もちろんこれ以外の学科からも就職の可能性は十分にあります。

Q 医薬品メーカーに就職するならどの学科がいいですか？

A 「バイオサイエンス学科」、「獣医学科」などをご検討ください。

開発や製造など技術的な仕事をしたのなら「バイオサイエンス学科」、「獣医学科」などをご検討ください。もちろんこれ以外の学科からも就職の可能性は十分にあります。



Q 動物園で働くにはどの学科がいいですか？

A 「動物学科」、「獣医保健看護学科」、「獣医学科」などをご検討ください。



動物園（飼育員）の就職にとくに決まった道はありません。「動物学科」や「獣医保健看護学科」などで動物に関する学びを深め、インターシップなどの機会を生かすのが近道となります。また、展示動物の病気を治療する獣医師の求人もあります。ただし、いずれも求人数は少なく、狭き門であることを覚悟する必要があります。

畜産業や牧場で働きたいのですが…

A 「アグリサイエンス学科」の動物性食資源コースなどをご検討ください。

動物性食資源コースでは畜産などについて学び、牧場などでの実習もあります。コースは入学時から決まっているわけではなく、基礎科目を学んでから2年次以降に選択することができます。

Q 理系の学科から公務員をめざすことは可能ですか？

A もちろん可能です。専門知識を生かした技術職もあります。

公務員には事務職だけでなく、理系の技術や知識を要求される仕事も多数あります。本学部の卒業生も、畜産職、農業職、林業職、水産職、獣医職など、さまざまな分野の公務員として全国で活躍しています。もちろん事務職（行政職）をめざすことも可能です。

Q 専門高校（農業科や水産科など）の教員免許は取得できますか？

A 「アグリサイエンス学科」、「バイオサイエンス学科」、「森林学科」、「海洋生物学科」での取得に向けて申請中です。

農業科の免許は「アグリサイエンス学科」、「バイオサイエンス学科」、「森林学科」で、水産科の免許は「海洋生物学科」での取得に向けて申請中です。ただし、文部科学省における審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります。

旧学科について

Q 生命農学科をめざしていましたが…

A 「アグリサイエンス学科」などをご検討ください。

作物や果樹などの生産について学びたい方は、「アグリサイエンス学科（植物性食資源コース）」、フラワーについて学びたい方は「アグリサイエンス学科（フラワーサイエンスコース）」をご検討ください。

Q 生命化学科をめざしていましたが…

A 「バイオサイエンス学科」、「食品開発学科」などをご検討ください。

化学を基盤として生命現象を解明したい、将来バイオ関連産業をめざしたいという方は「バイオサイエンス学科」、食品の成分と健康について学びたい、新しい食品を開発したいという方は「食品開発学科」をご検討ください。

Q 文系科目だけで受験できる学科はありますか？

A 「食品ビジネス学科」と「国際共生学科」が該当します。上記2学科は文系科目だけで受験できます。

Q 興味深い学科が複数あって迷っています。

A 学科を超えた学びも可能です。

本学部は全学科が一ヶ所に集まっているワンキャンパスで、自分の学科以外の講義も簡単に受講することができます。他学科の講義を単位として認める制度もあります。



We Love ShonanLife

豊かな自然と文化的な環境に恵まれた湘南エリアで、忘れられない学生生活を。

都会と自然のバランスが絶妙な湘南

気候も温暖で、晴れた日には富士山を望み、相模湾に面した美しい海岸が広がる湘南エリア。その中核ともいえる人口44万の藤沢市に、本学はキャンパスを置いています。近くには江の島、鎌倉などの観光地も多く、横浜や川崎、東京都心も近くて買い物なども便利。都会と自然が調和したオシャレな街で、忘れられない学生生活を過ごすことができます。



湘南キャンパスに集まったのは、自称「湘南・鎌倉通」の先輩たち。今日は新入生のあなたのために、大学周辺のとっておきスポットを案内してくれるそう。それでは元気スタートです。

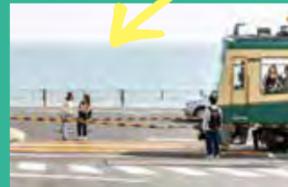
ドラマや映画で見たあの街に出会える

寺社仏閣などの歴史遺産が豊富な観光都市・鎌倉。サーフィンやマリッジのメッカである江の島や湘南海岸。中華街や山下公園、みなとみらいなど見所の尽きない大都市・横浜。キャンパスの周辺には、ドラマや映画で見たような人気スポットが数え切れないほどあります。次の休日にはどこにいきましょうか、迷ってしまいそうですね。

今日のはんびり湘南・鎌倉ウォーキング



藤沢市の海岸にある江の島は、湘南を代表する観光地。島内の神社や展望台巡りもいけれど、鵜沼海岸からの雄大な景色も格別です。江の島をバックに波打ち際を散歩すれば、気分はドラマの主人公?



江の島からは江ノ電で移動。鎌倉高校前駅で途中下車した先にあるには、あのマンガに登場し世界一有名になってしまった踏切です。海をバックに走る江ノ電は、さすが絵になりますよね。



鎌倉を代表する神社、鶴岡八幡宮です。鎌倉幕府を開いた源頼朝にゆかりの神社で、御利益は勝ち運など。テストやサークルの試合前には、ぜひ参拝に訪れましょう。



広いキャンパスを探検してほしい
鎌倉でおいしい食べ物を探すが好き
大学では図書館が気に入ります



歴史や御利益もいだけれど、最後はやっぱ食欲。グルメやおみやげがいっぱいの小町通りで、今日は何を食べましょうか。



今回はさらに足を伸ばして横浜散歩へ。中華街や赤レンガ倉庫など、にぎやかな街や話題のグルメスポットもあって、今から待ち遠しい~。

ACCESS

- 主要駅から六会日大前駅までの所要時間
- 東京駅：JR 東海道線・小田急江ノ島線で約1時間
 - 横浜駅：JR 東海道線・小田急江ノ島線で約30分
 - 新宿駅：小田急小田原線・江ノ島線で約1時間



日本大学生物資源科学部
神奈川県藤沢市亀井野 1866



令和4年4月現在、登録されているクラブ・サークルの一覧です。

体育部連盟

- 合気道部
- 陸上競技部
- カッター部
- ワンダーフォーゲル部
- 空手道部
- 弓道部
- 剣道部
- ソフトボール部
- 硬式野球部
- バドミントン部
- 柔道部
- ローラーホッケー部
- スキー部
- 少林寺拳法部
- 卓球部
- 女子ラクロス部
- 軟式庭球部 (テニス部)
- アメリカンフットボール部
- 排球部 (バレーボール部)
- 籠球部 (バスケットボール部)
- サッカー部

文化部連盟

- 美術部
- JAZZ 音楽研究会「羅刹」
- 海外研究部
- 農業問題研究会
- 自然保護研究会
- バイロジ同好会
- 写真研究部
- 将棋研究会
- 動物研究会
- 漫画研究会
- 放送研究会
- 管弦楽団
- 落語研究会
- 文芸団体「扉」
- ラ・サンテ・マンドリンクラブ
- フォルクローレ合奏団
- 模型同好会
- Student Divers Club
- ロック研究会

一般サークル

- 環境教育ボランティアの会
- キララ
- インドアテニスサークル「トマト」
- ESS 英語研究会
- 硬式テニス同好会 POTATO
- 硬式テニス同好会 Fiesta
- 釣り同好会
- 「TEAM CHARTREUSE」
- アーチェリー同好会
- 茶房,S
- NUWSF (日本大学ウインドサーフィン)

- とっこカマガモ部隊
- 森友
- 軟式野球サークル
- 日大ビーチバレーサークル
- 水泳サークル AQUA
- 男女混合フットサル「ラポーナ」
- ハイキング同好会 わらじ
- ボクシング同好会 HASITA
- Moby-Dick
- 基礎スキークラブ
- ふっとさる
- Light Music Players
- 農業実習同好会
- フォークソングクラブ
- Classy
- VBC

学術部連盟

- 獣医学科学術研究部
- 臨床班 (V.C)
- 獣医学科学術研究部
- 臨床繁殖班 (V.R.C)
- 獣医学科学術研究部
- 動物福祉班 (V.A.C)
- 水産増殖学術研究部
- 動物資源科学術研究部
- 生物環境工学術研究部
- 魚類病理学術研究部
- 生命農学術研究部
- 森林科学研究会
- 応用生物科学術研究部
- 生命化学術研究部
- 食品生命学術研究部
- 食品ビジネス学術研究部

CLUB & CIRCLE

生物資源科学部のクラブ&サークル

湘南キャンパスでは広々とした環境に支えられ、体育・文化・学術などのクラブ・サークル活動も盛ん。同じ趣味や興味を通じ、他学科の仲間との交流も大きく広がります。



- 吹奏楽サークル
- ブレイメン
- 演劇部
- マジック&ジャグリングサークル JACK-BOX





図書館

生物資源科学に関する国内外の主要な図書(約36万冊)・雑誌(約4700種類)を網羅しています。



グラウンド

400mの本格的な陸上トラックと人工芝を敷き詰めたフィールドが自慢のグラウンド。春には満開の桜に囲まれます。



体育館

バスケットボールやバレーボール、バドミントンなどができるアリーナをはじめ、柔道場、剣道場、卓球場、トレーニングルームがあります。



スポーツジム

体育館併設の本格的トレーニング施設です。トレーナーが常駐し、体や運動に関するアドバイスやサポートをしてくれます。



大講堂

約500名を収容する大講堂。講義はもちろん、講演会、シンポジウムなど多目的に利用されています。



学生ホール

1号館地下1階の学生ホールは、種類の豊富な本格ピザやパスタをはじめとした軽食コーナーなど開放感あふれるスペースのほか、学生生活に必要なものがそろいショップや就活に便利な写真館もあります。



入学センター

学部への入学相談はもちろん、大学院への進学相談まで多くの学生が利用します。生物資源科学部に興味を持ったなら、まずはここを訪ねてみましょう。



桜が咲くキャンパスや、湘南の美しい海が大好きです。
ポルトニク・アンナさん

私はポーランドで生まれ、フランスの大学を卒業後、好きな馬術競技を続けるため強い馬術部のある日本大学に入学しました。馬術部では2頭の馬を担当し、朝と夕方に馬の世話や練習に取り組んでいます。馬術部の仲間も、外国からきた私にとっても親切に接してくれます。昨年の全日本大会では個人で2位、団体で優勝という成績を残すことができ、チームに貢献できて本当によかったと思っています。この湘南キャンパスは、桜の咲く季節が素敵ですね。とくに設備の新しい1号館は、授業でも休憩でもお気に入りの場所。最近友達に影響され、お弁当を持ってきて食べるようになりました。天気の良い日は、近くの引地川公園や江の島などでのんびり散歩もしています。日本の海はとてきれいなので大好きです。



FIELD 04

仲間と集い学ぶ



アトリウム

キャンパスを訪れた人にひととき鮮烈な印象を与えるのが、ガラスで囲まれた5層吹き抜けのアトリウム。明るい外光がたっぷりと降り注ぐ開放感あふれる空間です。

湘南エリアの閑静な住宅街に広がる湘南キャンパス。東京ドーム12個分の広大な敷地を有し、全11学科の全課程がここ1ヶ所に集結しています。緑豊かなキャンパスには先端的な施設から農場、森林などがバランスよく共存し、学問から課外活動まで、学生生活のすべてを快適にサポートする環境が整っています。



本館



キャンパスのシンボルでもある本館には、講義室、研究室のほか、さまざまな機能を持つ最新施設を効率的に配置。人と人の交流の場としての役割も備えています。

ガレリア



2つの建物にはさまれた大きなガラス屋根のある広場。さまざまなイベントにも対応します。



生命科学研究所

急速に発展する生命科学の成果と技術を生物生産・利用や環境保全に役立てるための先端研究を実践しています。



6 下田臨海実験所

フィールドサイエンスを支える教育施設

- 1 湘南キャンパス
- 2 藤沢演習林
- 3 水上演習林
- 4 八雲演習林
- 5 君津演習林
- 6 下田臨海実験所
- 7 富士自然教育センター



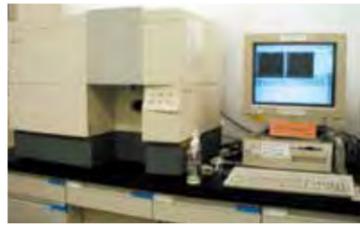
総合研究所

学科の枠を超えて特定のテーマを広く深く研究し、科学の発展に寄与することを目的として設置された施設。大型の分析器などを多数保有し、各分野の研究において大きな成果をあげています。



国際地域研究所

生物資源科学に関する国際地域研究や調査、教育活動にかかる国際交流を推進することを目的としています。



動物医学研究センター

人獣共通感染症を中心に各種動物感染症の疫学解明や診断、治療および予防法の開発・研究に取り組んでいます。



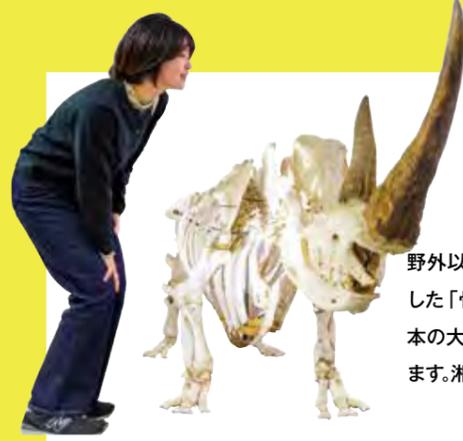
生物環境科学研究センター

学内外から人材を受け入れるオープンな体制のもとで、環境科学の先導的・独創的研究を推進しています。



先端食機能研究センター

食の生体への作用機構、および食による疾病予防に関する先端分野を扱う研究・教育拠点です。



FIELD 03

本物に触れて理解する

野外以外にも、学生が本物に触れて学ぶ施設は充実しています。骨の多様性と進化をテーマにした「骨の博物館」は、生物に関する基礎的な学びの機会を提供。「食品加工実習所」は、日本の大学では唯一の JAS 認定施設。熟練した技術者による実習を行うことが可能になっています。湘南キャンパスにはそれ以外にも、高度な研究につながる多くの研究施設が点在しています。



博物館展示室



3 水上演習林



7 富士自然教育センター

日本唯一のユニークな展示施設
「骨の博物館」

キャンパスの入口近くにある骨の博物館は、「骨の多様性と進化」をテーマに据えた、日本でも珍しい博物館。現在は哺乳類や鳥類、魚類など、内骨格を持つ脊椎動物をメインに多くの展示等を行なっています。将来的には外骨格や体を支えるという意味での骨格（植物の形成層など）も視野に入れ、展示の充実を図っていく予定です。

学生は動物形態学や動物生態学といった科目で本物に触れながら学ぶことができ、さらに博物館実習など学芸員資格の取得にも活用されています。博物館は一般にも無料で開放されており、近隣住民を対象とした生涯教育の場としても期待が寄せられています。



先輩からのフィールドメッセージ

実習はこんなにエキサイティング!

磯には不思議な生物がたくさん。下田にはでっかい伊勢エビもいました!

今日はクサフグ釣り。普段触れることのない生物に出会えるのが楽しい。

この辺は魚が豊富。下田の海ではサバをたくさん釣りました。



「食品加工実習所」
本当の食品製造について学ぶ

食品加工実習所は、食肉製造に関する教育・研究を行う施設です。一般の工場と同様のクリーンルームやスモークハウス、レトルト装置などを備え、熟練した技術者が、高鮮度・高品質の原料を選び、十数種類の食肉加工品を製造します。日本の大学において、唯一ともいえる JAS 認定も受けており、日本ブランドの食肉加工品販売も行っています。

ここでは食品加工学実験や食品開発実習などの科目が履修でき、また食品衛生監視員養成講座などでも活用が期待されています。

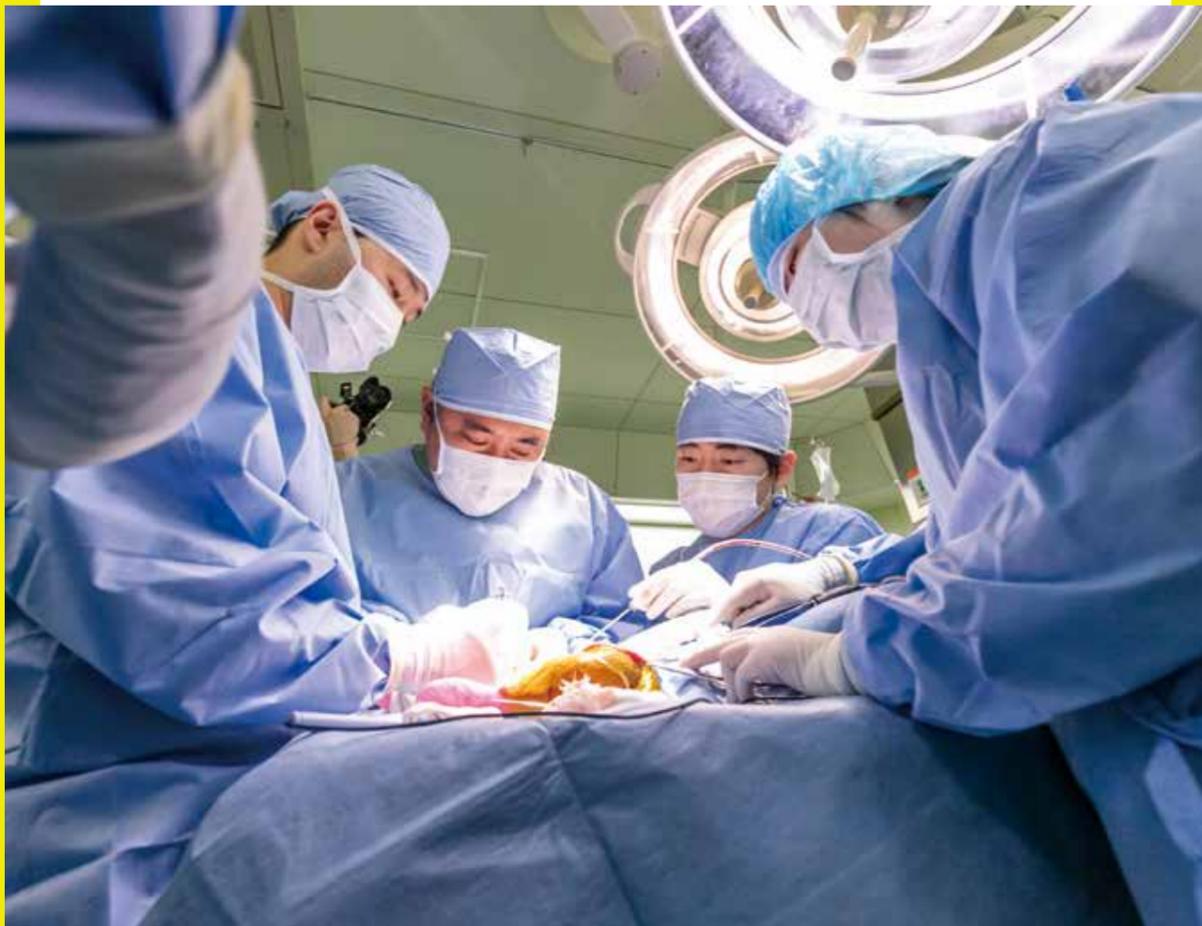


食品加工実習所でのソーセージ製造

先端的な獣医療の拠点
「付属動物病院」

日本大学付属動物病院（ANMEC）は、動物医療の地域中核拠点であり、獣医学臨床教育や研究の場として活用されている施設です。2021年度の年間外来頭数（犬猫）は、合計7262件（一営業日当たり約30件）。いずれも街の動物病院では手に負えない、難しい症状を抱えた動物が来院します。そのため設備も人間の病院に匹敵。動物の体の断面を高画質で撮影し、腫瘍などの病気を的確に診断する高性能なCT装置やMRI装置、腫瘍を治療する放射線治療装置など、高度な医療機器が用意されています。

同時に学生は、一般の病院では知ることが少ない、専門的な診断や治療を目の当たりにすることができます。動物病院は治療だけでなく、獣医学科や獣医保健看護学科の各種実習など、獣医療・動物看護の実践的な学びの場として極めて重要な施設なのです。



FIELD 02

いのちを守り育む

キャンパスの一角にある「付属動物病院」は、高度な医療機器をも保有し、動物のいのちを守る現場。学生はそこに身を置きながら、最先端の獣医学や動物看護学を実践的に学ぶことができます。一方、キャンパス内の「農場」は、2022年度に施設を全面リニュアル。

周辺環境や作業性に
配慮した「農場」

本学部は都市近郊にありながら、キャンパス内に広大な農場（面積28ha）を保有しているのが、他大学にはない特徴。学生は長距離を移動する必要もなく、日常的にアグリサイエンス実習などを履修できるようになっています。また、牛や豚などを飼育する牧場も備え、キャンパスにしながら大型動物の飼育管理を学ぶことができます。

なお、農場の動物管理施設については、2022年に全面リニュアル。家畜ごとに区画管理を行うことで防疫対策を徹底し、悪臭対策など近隣環境にも配慮。学生にとっても作業しやすく学びやすい施設となっています。



FIELD
SCIENCE
& CAMPUS
LIFE

- ① 牧場全景（パース図）
- ② 展望台（パース図）
- ③ 乳牛舎（パース図）
- ④ 豚舎（パース図）
- ⑤ 展望台
- ⑥ 乳牛舎遠望
- ⑦ ウインドレス豚舎内部
- ⑧ 下水浄化装置
- ⑨ 大動物実習棟



FIELD SCIENCE & CAMPUS LIFE



FIELD 01
大自然を肌で感じる

本学部には大自然そのものを教材とした実習環境が充実しています。例えば、私立大学でも最大級の規模を誇る「演習林」、富士山の麓にある「富士自然教育センター」、伊豆半島の「下田臨海実験所」など、いずれもフィールドサイエンスの最前線。学生は多様でリアルな生物の営みを肌で感じながら、学びを深めることができます。



湘南の自然を教材にした教育
神奈川県湘南地域は、都市と自然環境が調和した理想的なエリア。江ノ島や葉山などの海岸、相模川などの河川、丹沢山地といった場所は、いずれも学生の実習や卒業研究に欠かせない、自由なフィールドワークの舞台です。キャンパスが立地する湘南の自然こそが、最高の教材といえるでしょう。

富士自然教育センターは、静岡県富士宮市の富士箱根伊豆国立公園内に位置する施設。約58haの敷地には、樹林地・池・疎林広場・草地・花木・花壇などが点在。何よりも富士山のすばらしい眺望も楽しみながら、この広大な施設の中で、野生動物や自然環境に関する観察・計測などの実習、卒業研究を行うことができます。そこには宿泊施設やセミナーホール、実験施設なども設置され、さまざまな教育・研究活動を行うフィールドとして利用されています。

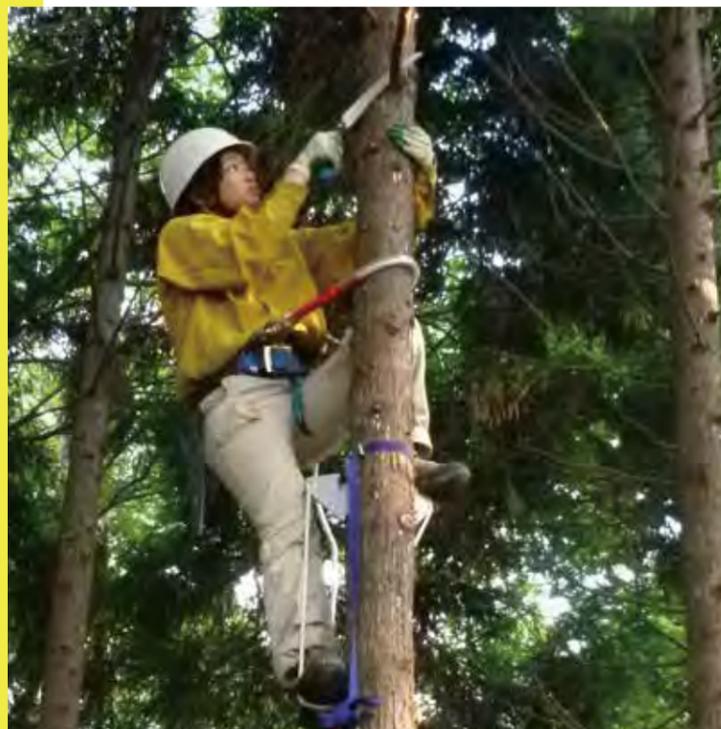
【富士自然教育センター】
実習や卒業研究に活用
れている、海洋生物の研究には最高の環境。生物採集船「すざき2世」、水槽室、水中ドローンなどの充実した設備を整え、海洋基礎実習や海洋環境学実験など、実践的な科目を学ぶ舞台として活用されています。またここでは、小型船舶操縦法実習やダイビングライセンスの講習会、近くにある静岡県水産・海洋技術研究所や卸売市場、干物の加工場、定置漁場などの見学会も実施するなど、学生をフィールドへと誘う拠点ともなっています。



【下田臨海実験所】
豊かな海洋資源に恵まれた
伊豆半島最南端の田ノ浦湾に面する下田臨海実験所は、須崎御用邸にもほど近く、周囲には磯場など手つかずの自然環境が残さ

森林研究には必須の演習林。複数ある演習林の中でもっとも個性的な場所は、キャンパスに隣接する藤沢演習林でしょう。住宅街の中に現れる鬱蒼とした森林は、東京ドーム3分の1ほどの面積があり、かつて地域住民が暮らしていた里山に由来するもの。森林生態学実習や森林基礎実習などの学びでは、驚くほど多彩な動植物をこく身近で観察することができます。

個性的な「演習林」
一方、群馬県の上越国境に位置する水上演習林は、面積158haの広大な森林。谷川岳山麓の変化に富んだ地形や、落葉広葉樹林を主体とする多様な植生が特徴です。首都圏から交通の便もよく、四季折々の学生実習や卒業論の研究、野生動物の生態調査や地球環境の観測、昆虫の分布・分類やブナ原生林の保護の教育・研究などに広く活用されています。



FIELD



SCIENCE

現場に出て、本物に触れる。
フィールドはもうひとつの教室です。

生命の営みやそれを支える環境などをリアルに理解するためには、現場に出て本物の対象に接することが欠かせません。ここでは、独自の「総合的フィールドサイエンス教育」を支える充実した施設や教育環境、それ自体が自然にあふれた湘南キャンパスの姿などを紹介していきます。

&

CAMPUS

LIFE

千葉県
長生農業事務所
改良普及課 東部グループ

野口 琴未さん



土壌についてさまざまな分析を行うことも

農家の声に耳を傾け、農家に信頼される農業改良普及員になりたい。私がこの学部を選んだのは、当時まだ自分が何をやりたいのかわからず、園芸や食品、動物など幅広い分野が学べるという点に惹かれたからです。最初は食品に興味があり、将来は食品の仕事をしたかと思っていたのですが、ところが友人の手伝いで植物を育てるボランティアを始めたところ、とても面白くて園芸について深く研究するようになりました。それが現在の仕事にも繋がっています。農業事務所での私の業務は、大学でも研究したイチゴ、及び花き全般について、農家の方に技術指導などを行うことです。とはいえまだ分からないことも多く、今は教えていただくという立場で接しています。早く農家さんの信頼を得て、「イチゴのごとらこの人に」と、頼られるような普及員になりたいと思っています。



今が旬のイチゴ農園で栽培指導を行います

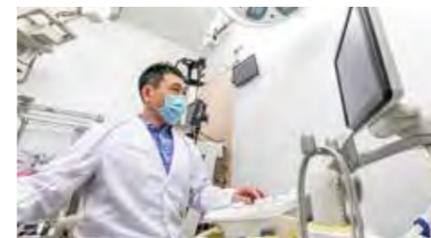
MESSAGE FROM GRADUATES

コルフェ動物病院
院長

三浦 輝久さん



動物の「ホームドクター」として、地域の方々の人生と共に歩んでいきたい。日大の大学院へ進学し、博士課程修了後に今の病院を開業しました。当時は結婚や妻の出産も重なり、公私にわたって大変な時期でした。子どもを病院に寝かせて緊急手術をした夜も覚えています。開業医になって最初に悩んだのは、どうしたら飼い主さんが満足する医療を提供できるかという点です。飼い主さんにはそれぞれ時間的、経済的な制約もあり、大学病院のようにすべての必要な治療を施せることは限りません。その中でも最善を尽くし、飼い主さんに喜んでいただくことをやりがいとして診察に臨んできました。先日高齢犬を亡くした飼い主さんから、「仔犬の時からずっと先生に診てもらってよかったよ」といわれた時は、その方の人生に寄り添えた気がして、獣医師冥利に尽きると思えました。



Eコー検査を行い内臓の異常を診断



診察でペットの健康状態を飼い主さんにご説明

キリンホールディングス株式会社

キリン中央研究所

城内 健太さん

研究は諦めず、当たり前を疑うこと、その成果が、新商品として開花しています。



大学の授業で、特定の食品成分が免疫を制御できることを初めて知り、非常に驚いたことを覚えております。研究室では乳酸菌を用い、花粉症などのアレルギーを抑える研究に取り組み、卒業後はその学びを活かせる職場を選びました。入社2年目に配属された研究所で、当時の上司と一緒に発見したのが、プラスマ乳酸菌です。プラスマ乳酸菌には一般的な乳酸菌にはない機能があり、当時の学説を覆す論文を発表した際も国内外から注目を集めました。発見する前も、そして発見した後もいくつかの壁を乗り越えながら研究を重ね、現在28報の論文を発表しています。いまプラスマ乳酸菌は、キリングループにおいて、幅広く活用されています。研究は粘り強く、当たり前を疑うことが大切であると、改めて勉強になった出来事です。



いつもお客様のためになる研究を考えています

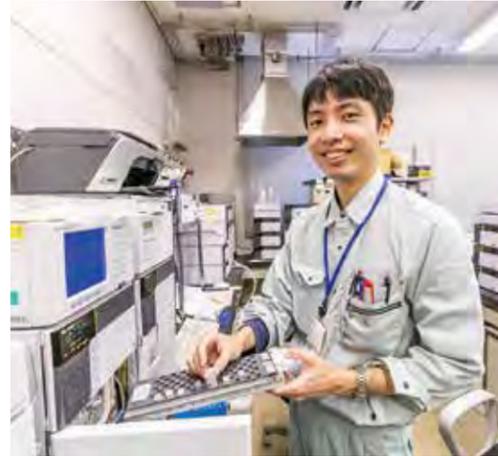
MESSAGE FROM GRADUATES

神奈川県農業技術センター

生産環境部 品質機能研究課

澤田 幸尚さん

大学以来続けているトマトの研究で、農家のお役に立てることが大きな目標です。



トマトの糖度について分析します

大学の研究室ではトマトの食感について研究し、大学院でも同じ研究を続けました。修了後は地元へ貢献したいと考え、農業職として神奈川県に入庁。現在、県の農業技術センターで農産物の品質評価などに携わっています。主に担当している作物は、大学以来付き合いの長いトマトとなります。県で開発された「湘南ボロン」はリコヘンなどの機能性成分がたっぷり含まれている品種で、当センターの普及指導部なども協力し、栽培をお勧めできるよう研究を進めているところです。現在の職場は現場に出て作物を見たり、農家の方と話したりしながら研究できるため、勉強にもなりますし、大変恵まれた環境だと感じています。今後その成果を農家の皆様に還元できるよう、努力していきたいと思っています。



さまざまなトマトの品質分析を行います

住友林業株式会社

建築・住宅事業本部

井ノ上 良太さん

お客様に満足していただけるご提案を心がけています



木材の風合いをいかしたモデルハウスをご案内

この人なら安心して相談できる、そう思えるような営業マンをめざしています。学生時代の塾講師のアルバイトで、自分には物事を説明する仕事に向いているのではないかと感じた覚えがあります。それが営業職を志すきっかけとなりました。現在は金沢の北陸支店で、フルオーダーの木造住宅を販売する仕事に携わっています。営業活動は、お客様から住まいの悩みをうかがい、それを根本から解決するような住宅をご提案していくという流れになります。その際に大切なことは、押しつけがましくならず、お客様の気持ちになって相談相手に徹するという姿勢ではないでしょうか。そんなスタンスを評価していただいたのが、先日大きな邸宅の契約をまとめることができました。お客様から「井ノ上君を気に入ったから建てる」という言葉をいただいた時は、本当に嬉しかったですね。



MESSAGE FROM GRADUATES

大成建設株式会社

名古屋支店 土木部

塚田 華世さん

スケールの大きい土木の現場はクルマで移動



大きな構造物をつくる土木の現場で、「任せれば大丈夫」といわれる、一人前の技術者になりたい。地滑りについて研究していた学生時代、土壌の試料を採取するため、高知県の工事現場を訪ねる機会がありました。その際、災害復旧などで人々の暮らしを守るセネコンの仕事に触れ、自分も同じように働いてみたいと考えたのが、入社のきっかけとなりました。現在は三重県四日市にある現場に常駐。構造物をつくるための測量や工程管理、現場での調整といった、いわゆる施工管理に携わっています。仕事をする上で心がけているのは、まず働く方にとって安全で快適な作業環境をつくること、そして図面に記載された構造物の寸法や品質などを厳守することだと思っています。今後は、早く技術者として成長し、「塚田に任せれば大丈夫」と、周囲から認められるような存在になりたいですね。



作業の工程管理や調整などデスクワークも



新江ノ島水族館

展示飼育部 海獣類チーム

伴野 竜次さん

イルカも自分自身もトレーニングを積み、お客様を虜にするショーを演じたい。

新江ノ島水族館の飼育員として、イルカなど海獣類の飼育に携わっています。業務内容は多岐にわたり、日常的な給餌や健康管理などはもちろん、イルカショーに必要なトレーニングや、「イルカのおにいさん」としてショーへの出演も行っています。言葉が通じない動物とのトレーニングは何かと大変です。またショーに備え、私たち自身も発声や動作などのトレーニングを積みなければなりません。人前でのおしゃべりが少々苦手だった私は、出演が認められるまでずいぶん苦しみました。しかし、大好きな動物たちと一緒にショーを成し遂げ、お客様の笑顔を見ることができたときは、本当に嬉しく苦勞も報われます。将来は魚の展示にも関わり、海を感じられるような水族館づくりに取り組みたいです。



ショーの成功には動物とのきずなが欠かせません



お客様とイルカの交流を取り持つのが私たちの仕事

アサヒビール株式会社

ブリュードッグ・カンパニー・ジャパン株式会社
出向中

宮广 朋美さん

大学時代に挑戦し経験したことは、今の自分を形作る大切な土壌となっています。



学生時代は、自由な時間が持てるのは今しかないのだから、一生に一度しか経験できない何かに挑戦したいと思っていました。研究室では興味のある遺伝子の研究に没頭。また、フットサルのサークルを組織したり、サーフィンに熱中してハワイまで行ったりした思い出もあります。こうした活動やそこで出会った人は、自分の視野を広げる上で貴重な財産となりました。入社後にマーケティング部に配属され、アイデアを考える仕事をするようになった時も、学生時代の蓄積が大変役に立ったような気がします。おかげで「もぎたて」という缶チューハイの商品開発を担当し、多くの方の力を得て、2016年のヒット商品にすることもできました。今後は新規事業やブランドの育成にも挑戦し、いずれは経営にも携わりたいです。



チームミーティングでマーケティングプランを共有



アサヒビールグループのさまざまな商品

味の素株式会社

アミノサイエンス事業本部
バイオ・ファイン研究所

谷田 瑞希さん

実験装置に掛けるサンプルを調整



大学での学びを生かし、分析の仕事を通じて、商品開発に貢献しています。

私は研究所の中でも「評価・分析室 構造解析グループ」という部署に所属しています。ここでは、調味料や冷凍食品、医薬品や電子材料に至るまで、あちこちから分析案件が舞い込みます。例えば食品であれば、「おいしさ」を構成する成分がどのくらい入っているか、開発中の製品がデザインした通りにできているかなど、目視や試食では判断が難しい場面で分析データという客観的な指標を示し、課題解決に貢献する役割が求められています。また時には、思いがけない新発見に繋がることもあります。分析を通じて当社の多彩な事業に触れるのは大変に面白く、開発を推進する力にもなれるのでやりがいも感じています。私は大学で得た知識を生かせる仕事に就きたいと考えていましたが、ここはその希望にピッタリの職場だと思います。



粉末 X 線測定装置にサンプルをセット

MESSAGE FROM GRADUATES

田辺三菱製薬株式会社

営業本部

田村 真巳さん

働く女性に優しい、子育てを応援してくれる会社です



化学や生物に強い生物資源科学部は、製薬会社への意外な近道です。

製薬会社の専門MR(医薬情報担当者)として、医薬品の情報提供や営業活動などを行っています。私たちは医師と対話するため、医療や病気などの最新情報についても熟知する必要があります。私には勉強が欠かせません。入社当初は知識不足で医師に叱られるなど失敗もありましたが、自分たちの提供した情報が医師やひいては患者さんのお役に立っている点には大きなやりがいを感じています。私は大学で再生医療について研究した経験もあり、製薬会社への入社を希望しました。製薬会社への就職というと、一般的に薬学部が有利なように考えがちですが、生物資源科学部も意外な近道です。化学や生物に強い学科も多くMRとしても活躍しやすいですし、大学院に進めば研究開発職への道も開けていると思います。



医師の信頼を得られるような説明をめざしています



学生生活に安心を広げる、 学生支援制度&奨学金制度。

充実した大学生活を送るためには、生活基盤の安定や心身の健康が重要です。
生物資源科学部では多彩な支援&奨学金制度により、大学生活のスタートから卒業まで心強いサポートを実施します。

生物資源科学部で学び、社会で活躍する先輩たち

MESSAGE FROM GRADUATES

創立110年以上の歴史と伝統を誇る日本大学生物資源科学部は、これまで数多くの人材を社会に送り出してきました。卒業生の多くは国や自治体、公的機関、大手民間企業などに勤め、活躍の幅を大きく広げています。ここでは、生物資源科学部の特色ある学びを修め、手厚い就職支援を得て、豊かなキャリアライフを築きつつある卒業生10名をご紹介します。学生時代の学びや就活、現在の仕事の魅力などについて語っていただきます。ぜひ、皆様のキャリアプランの一助としてください。

高度な専門性を生かし、質の高い職場でそれぞれのキャリアを実現する卒業生たち

全体の就職率だけでなく、その中身＝就職の質についても注目していただきたいのが、生物資源科学部の就職です。

【民間企業】生物資源科学部の特色ある学び(専門性)は、広く産業界でも認められています。民間企業就職では52%が大企業であり、20%が上場企業に決定しています。特に「食品業界」、「医薬・化学業界」、「建設・土木業界」、「農業関連業界」では多くの就職者があり、その中でも合同企業セミナー参加企業への就職が40%~50%と非常に高い実績を残しています。この合同企業セミナーでは、学生たちの希望と専門性を活かせる企業を招待していること、企業側も生物資源科学部生を採用したいという意欲が高いことから、マッチングする機会も多くそれが実績につながっています。

【公務員】公務員の就職先でも学びが活かされ、行政職ではなく専門の「技術職」での採用が毎年80%~90%を占めています。国家公務員(15%)では、主な就職先が農林水産省とその関連省庁となっています。地方公務員(85%)も、神奈川県やその近郊の都県を中心に、多くが「技術職」で就職しています。これは、学内での教養科目対策講座と、専任教員が行っている専門科目対策講座を受講した成果であるといえるでしょう。



順位	就職先	人数
1	農林水産省	14
2	農林水産省 林野庁	8
3	農林水産省 関東農政局	6
4	厚生労働省	5
5	農林水産省 動物検疫所	4

順位	就職先	人数
1	神奈川県庁	28
2	東京都庁	19
3	千葉県庁	14
4	埼玉県庁	12
5	福島県庁	11

順位	就職先	人数
1	神奈川県横浜市役所	18
2	神奈川県相模原市役所	8
3	神奈川県川崎市役所	7
4	神奈川県藤沢市役所	6
5	神奈川県平塚市役所	4
5	神奈川県横須賀市役所	4
5	東京都中央区役所	4

※1 企業データ 令和元年度~2年度(2年間) ※2 公務員データ 平成28年度~令和2年度(5年間)

学生支援制度

多くの学生を支えてきたノウハウが生きています。

1. 下宿・アパートの紹介

日本大学では、平成26年度から大学の直営寮を設置しました。詳しくは日本大学のホームページをご覧ください。また、本学部には学生寮はありませんが、学生の皆さんがよりよい環境で大学生活を過ごせるよう、学部のホームページで下宿・アパート等の紹介を行っています。大切な学生時代を過ごす基盤となる住居ですから、外観や家賃等のみで安易に決めるのではなく、周辺の環境や交通の便なども考慮し、できれば保護者とともに物件を自分の目で確認して決定したほうがよいでしょう。

2. 日本大学学生生徒等総合保障制度

在学中、十分に注意していても課外活動で思わぬ事故に遭遇したり、学外で交通事故などにあったりしないとも限りません。そこで本大学では、このような

不測の事態から学生を救済するために、大手損害保険会社と共同で企画した「日本大学学生生徒等総合保障制度」を導入しています。これは本大学学生のために独自に開発した割安な保険制度で、不慮の事故による学生自身の災害や、他人に損害を及ぼす事故を招いたとき、下宿学生が自身の過失により自室を焼失したときなどの保障、また、学費支弁者が死去されたときの学業費用の給付など、広範囲にわたる保障を行うものです。

3. 健康管理

健康相談や体調不良・怪我の応急処置に対処するため、保健室を設置しています。毎年4月には、健康管理の一環として全学生対象に健康診断を実施しています。また、必要に応じて健康診断証明書を発行しています。

4. 学生支援室

学生生活の充実を図るために、本学部に学生支援室、日本学生会館に学生支援センターを開設しています。学業・進路について、メンタルヘルスについて、友人・家族について、障がい支援について、その他様々な相談について、臨床心理士の資格を持つカウンセラーが対応します。

5. 研修所・厚生施設

日本大学には、全国各地に学生が利用できる研修所・厚生施設があります。本学部直属の実習所等が3か所(みなかみ・下田・富士宮)、また、日本大学直属の研修所等が1か所(軽井沢)、そのほか他学部が管理している研修所やセミナーハウス等が5か所設置されています。これらはクラブ・サークル活動に、研究室の課外授業にと、積極的に利用されています。

奨学金制度

学ぶ意欲を応援する、いろいろな奨学金制度があります。

日本大学には、全学生を対象とする奨学金制度と、所属学部学生を対象とする奨学金制度があります。また、学外の日本学生支援機構や地方公共団体・民間団体の奨学金制度も利用することができます。

本学部関係の奨学金

1. 日本大学特待生

本大学では、学業優秀、品行方正な学生を選考の上、特待生としています。この制度に基づいて、本学部では毎年数十名が特待生となっています。制度の概要は次のとおりです。

①特待生には甲種と乙種があり、甲種は授業料1年分相当額の半額及び図書費、乙種は授業料1年分相当額の半額を奨学金として給付します。
②特待生は年度ごとに決定されます。

2. 古田奨学金

本大学の興隆発展に寄与された故古田重二良先生を記念して、大学が基金を設置したもので、大学院生に対する奨学金制度です。選考により学業・人物ともに優秀と認められた大学院生に対し、年額20万円を給付します。

3. ロバート・F・ケネディ奨学金

故ロバート・F・ケネディ氏の寄贈基金に、大学の拠出金を加えた基金によって運用されています。選考により学業・人物ともに優秀と認められた大学院生に対し、年額20万円を給付します。

4. 日本大学創立100周年記念外国人留学生奨学金

創立100周年記念基金を運用し、外国人留学生で学業成績・人物が特に優れている学生に対し、学業に専念することを目的として奨学金を給付します。ただし、国費外国人留学生、外国政府派遣留学生は対象外となります。

5. 日本大学創立130周年記念奨学金

創立130周年基金を運用し、経済的な理由により修学が困難な学生に対し、年額30万円を給付します。ただし、高等教育の修学支援制度の対象者となった場合、本奨学金の対象外となります。

6. 生物資源科学部奨学金

本学部1年次に入学を許可され、入学試験の成績、高等学校在学時の学業及び人物ともに優秀な学生に奨学金(当該年度1年間の授業料及び施設設備資金相当額)を給付します。

7. 生物資源科学部後援会奨学金

経済的な理由により修学が困難である学生に対して生物資源科学部後援会から、学生が所属する学科により奨学金が傾斜給付されます。

8. 生物資源科学部校友会奨学金

経済的な理由により修学が困難である学生に対して生物資源科学部校友会から、学生が所属する学科により奨学金が傾斜給付されます。

9. 大森奨学金

本学部学生(最終学年)に対する奨学金制度で、故大森智雄先生が寄贈された基金を基に運用されており、選考により学業・人物ともに優秀と認められた学生に対し、年額20万円を給付します。

学外の奨学金

1. 日本学生支援機構奨学金

1) 給付型
修学支援制度
授業料等の減免と給付型奨学金の2つの支援を受けることができます。対象者は世帯収入や資産の要件、学業成績に係る基準を満たしている学生です。世帯の収入によって減免額や給付額が異なりますが、最大年額70万円の減免を受けることができます。

2) 貸与型

第1種奨学金(無利子)
第2種奨学金(有利子)
経済的理由により就学が困難がある優れた学生に対し、奨学金の貸与が行われます。貸与奨学金は卒業後に定められた期間内に割賦の方法で返還しなければなりません。

※外部奨学金の中でも生物資源科学部生や大学院生物資源科学研究科生、獣医学研究科生を対象としている給付奨学金です。応募資格など詳細は各奨学金募集要項を確認してください。

2. 中重奨学金(指定校:指定学部)

創意工夫、勤勉努力、誠実を旨とし、産業の興隆に寄与する優秀な学徒にして、経済的事由により就学が困難な者に対し、奨学金を支給し、社会有用な人材育成を目的とします。給付期間は大学院1年から最長2年間で月額4万円が給付されます。

3. イカリ謝恩育英財団

学業優秀でありながら経済的理由により就学が困難な大学生に対して奨学援助を行い、学術及び科学技術の振興、公衆衛生の向上、地球環境の保全及び自然環境の保護を担う優れた人材を育成することにより、地球環境文化の創造、持続可能な社会の成長と

グローバルな社会的課題の解決に寄与・促進することを目的とします。給付期間は1年間で月額3万円が給付されます。

4. 日揮・実吉奨学金

健康かつ学業優秀でありながら、経済的理由のため就学が困難な者に、奨学金の給付を行い、将来社会に貢献しうる人材を育成することを目的とします。給付期間は1年間で年額30万円が給付されます。

5. サカタ財団奨学金

将来、社会に貢献したいという強い意識や高い志を持った方を支援し、事業を通じて、日本のみならず世界における社会的な課題解決に取り組む有為な人材を支援し、「未来にタネをまく人材」の育成に寄与することを目的とします。給付期間は(大学2年・大学院博士前期課程1年)の給付開始月から課程修了月まで月額7万円が支給されます。

6. JEES・JRA獣医学学生奨学金

人々と古くから共存し、産業や文化の発展に寄与してきた動物である馬の中でも、競走馬及び乗馬の獣医師を志す学生を支援し、日本の馬産業を支える人材を育成することを目的とします。給付期間は大学5年~6年の2年間で月額3万5千円が給付されます。

7. 一般財団法人高居百合子獣医学奨学金

動物医療および動物学に関する各種研究ならびに動物福祉や環境保全に関する事業を通じ、これらの研究または事業を促進するための啓発活動および人材育成支援活動等をもって、人と動物が共生できる豊かな社会の発展に寄与することを目的とします。給付期間は大学4年~6年の3年間で月額5万円が支給されます。

8. その他

上記の奨学金以外にも多くの奨学金の募集が学外から寄せられています。また、地方公共団体や民間団体が、独自の方針に基づいて実施している奨学金は、団体等が定めた選考方法によって奨学金が貸与または給付されますが、ほとんどの奨学金は学費の支弁が困難な者を対象に経済的支援することを目的としています。

その他、外国人留学生を対象としている奨学金もあります。これらの奨学金制度については、出身都道府県、市区町村の教育委員会等、または当該奨学金取扱機関(財団等)に照会してください。

学生それぞれの 学ぶ力に応じ、 きめ細かくサポート。

原則として大学での学びは、自分の興味によって選び、自己責任において行うものです。高校までとはまったく異なる環境に対応できないと、学びの継続に困難をきたしてしまうこともあるでしょう。そうしたことが起きないよう、本学部ではさまざまな教育支援活動を実施。大学で有意義な時間を過ごし、無事卒業するまで一人も脱落させないためのサポートに取り組んでいます。

**基礎学力の不足を補う
リメディアル教育**

リメディアル教育とは、基礎学力が不足していると考えられる学生に対し、大学入学後に補習的に行う授業・教育

**入学までに苦手手を克服
入学前準備教育**

大学での授業は、高校までに学んだ教科を完全に理解していることが前提となります。推薦入学などで基礎的理解が不足している、あるいは未履修の科目がある場合、その後の学びが難しくなる可能性も。そこで本学部では、入学予定者を対象に「入学前準備教育」を実施。「DVDの映像教材」を利用して自宅で学習し、課題のやり取りをすることにより、学習の理解度を深めていきます。

**学生の学びと暮らしを
見守る 学級担任教員**

各学科とも1学年に3人の教員が学級担任となり、一人ひとりの成績や出席、生活状況などを見守ります。万一問題があれば学生と面談。必要に応じて保護者とも連絡を取り、学生が学びを継続できるようサポートします。

一人ひとりを支える 教育支援体制

生物資源科学部は「ここ」がスゴイ!!



このことをいいます。本学部では、すべての入学者に対し、「理解度確認テスト」を実施。その結果に基づき、一人ひとりの学生にリメディアル教育、化学、生物、物理の受講を推奨しています。もちろん、苦手意識のある科目などは自主的な受講も可能です。

学部生と大学院生双方の学びを助ける、 TA (ティーチング・アシスタント) 制度

理系の場合、企業の研究・開発職に就くには大学院卒が圧倒的に有利であり、本学部でも現在、卒業生の約1割が大学院へと進学しています。一方で経済的な事情により、不本意ながら進学を断念する学生も少なくありません。TA (ティーチング・アシスタント) は、大学院生の希望者から試験と面接によって選ばれ、授業や実習で教員の補助業務を行うスタッフのこと。もちろん手当も支給されます。学部生への教育効果を高めるのはもちろん、大学院生への経済的支援にもつながるものとして、大変に期待されている制度です。



安川詩乃さん
生物資源科学部研究科
生物資源生産科学専攻 博士前期2年

TAとして後輩の卒業研究のサポートなどを行っています。一人ひとりの個性に合わせて指導する仕事は、将来、博物館で自然教育などの仕事を希望している私にとって、とても貴重な経験です。卒業する学生から「お世話になりました」と挨拶されたときは、まるで先生のような温かい気持ちになりましたね。もちろん毎月支給される手当も、学業を継続する上で大変役に立っています。

**卒業生の感謝の言葉が、
なにより
心に響きました。**



**学びで悩んだら気軽に相談
学習支援センター**

2号棟2階にある学習支援センターは、学びサポートの司令塔。リメディアル教育、教職や学芸員資格の取得など、学びに関するあらゆる支援を担っています。授業や学びに「つまづき」ようになったら、一人で悩まず気軽に相談ください。

学内オンライン合同企業セミナー (業界・職種勉強会)

令和3年度に生物資源科学部で行われた合同企業セミナーにご参加いただいた企業・団体様の一覧です。生物資源科学部生が、学びの専門性を活かし、活躍の幅を広げることができる業界の中で日本を代表する企業様にご参加いただいております。

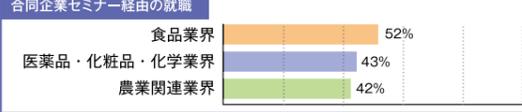
令和元年度対面式 令和2年度オンライン式

日本を代表する企業が
続々参加!

- 業界**
- 食品業界 (メーカー・商社・食品インフラ・フードサービス)
 - 医薬・化粧品・化学業界
 - 建設・住宅・不動産・建材業界
 - 農業関連業界 (農園・種苗・造園・農協・農済等)
 - 衛生・環境サービス業界
 - 公務員 (国家・地方)

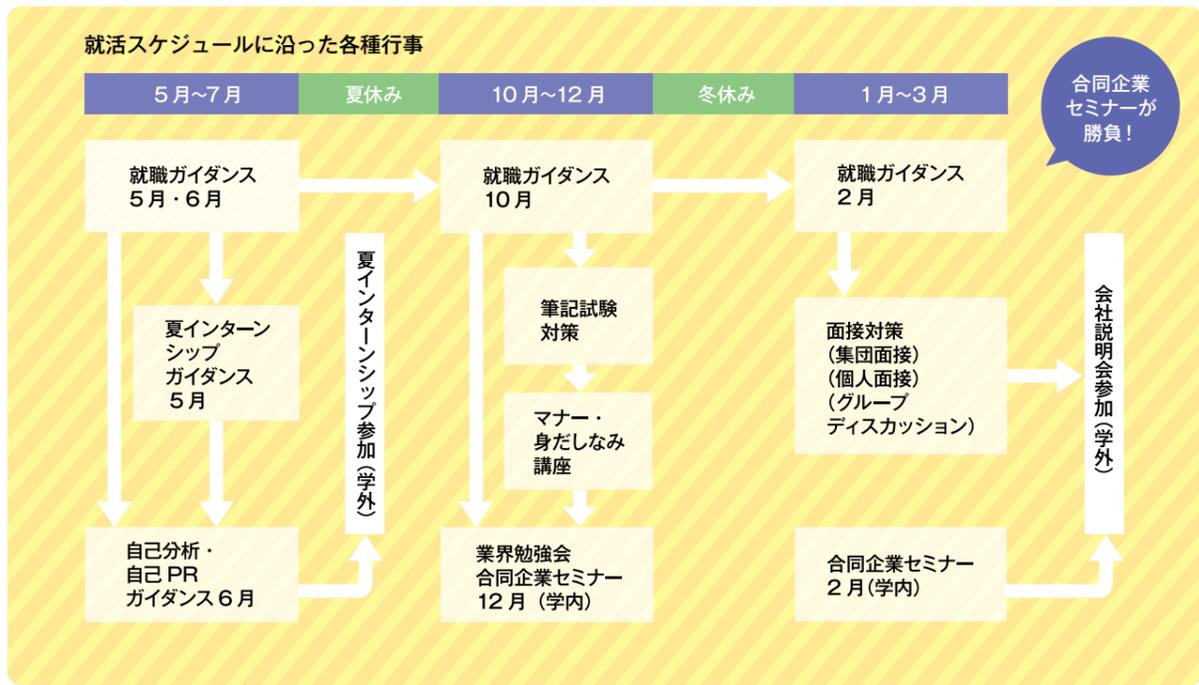
12月6日 オンライン形式	12月7日 オンライン形式	12月8日 オンライン形式	12月9日 オンライン形式	12月10日 オンライン形式	2月7日 オンライン形式	2月8日 オンライン形式	2月9日 オンライン形式	2月10日 オンライン形式
アース環境サービス(株) アグロ カネショウ(株) 伊藤一興工業(株) 栄研化学(株) エイツヘルスケア(株) 大林道路(株) オハヨー乳業(株) カネコ食品(株) カネコ種苗(株) キスコフーズ(株) クマイ化学工業(株) 三栄源 エフ・エフ・アイ(株) JA さがみ JA 全農たまご(株) 株式会社スズケン 株式会社リーボンド 株式会社静環検査センター 大成設備(株) 大和ハウス工業(株) 中央化学(株) 株式会社ツムラ テーブルマーク(株) デリカフーズ(株) 東海旅客鉄道(株) (JR 東海) 株式会社東京めいらく 株式会社ニチレイフーズ 日清製粉グループ 日特建設(株) 日本クッカー(株) 日本道路(株) 日本ハム食品(株) 株式会社日比谷アメニス 株式会社比谷花壇 フジパン グループ本社(株) 株式会社不動トラ ヤマキラー(株) 北興化学工業(株) 丸美屋食品工業(株) 三井化学東セロ(株) 三井ホーム(株) 明治グループ (明治/Meiji Seika7/17) ヤマエ久野(株) ヤンマーアグリ ジャパン(株) 株式会社ユハイム 理科研(株) 株式会社LEOC 株式会社ロッテ	アース製薬(株) あすか製薬(株) 五十嵐冷蔵(株) 株式会社イシダ 出光ユニテック(株) 株式会社オオスミ オリパス(株) 科研製薬(株) 鹿島道路(株) 亀田製薬(株) 株式会社環境管理センター 関東日本フード(株) 株式会社紀文食品 キユーピー(株) 共立製薬(株) 株式会社クラウン・パッケージ 小岩井乳業(株) 国分グループ本社(株) 株式会社サカタのタネ 株式会社シー・アイ・シー JA 全農: 全国農業 協同組合連合会 JA 全農青果センター(株) 株式会社シノテス スターゼン(株) 全農パールライス(株) 全農物流(株) 大東カカオ(株) 東海濃粉(株) 東京水道(株) 戸田建設(株) 株式会社橋本 株式会社なとり 株式会社日本アクセス 日本水産(株) 日本ビュッパード(株) 日本ルナ(株) パルシステムグループ (生活協同組合) 株式会社フジタ 株式会社不二家 株式会社マルハニチロ物流 三井化学アグロ(株) 三菱食品(株) 明星食品(株) 株式会社モスフードサービス (株)桃屋 モランボン(株) ライオン(株) ライト工業(株)	ALSOK 総合警備保障(株) イカリ消毒(株) 伊藤豊バック産業(株) イビデン グリーンテック(株) エースコック(株) エノテカ(株) 株式会社キユーピーターマコ(株) 株式会社極洋 ケンコーマヨネーズ(株) 生活協同組合 コープみらい JA 東日本 くみあい飼料(株) 数島製パン(株) JAPAN TESTING LABORATORIES (株) 株式会社成城石井 株式会社積水ハウス(株) ゼリア新薬工業(株) 全業工業(株) JA 全農青果センター(株) 協同組合連合会 大正製薬(株) タカナシ乳業(株) 株式会社テラオカ 東京サラヤ(株) 東洋冷蔵(株) ニチレキ(株) 日清医療食品(株) 日本酒類販売(株) 日本食研 HD (株) 株式会社野澤組 ハーベスト(株) 株式会社バスコ 株式会社プライムデリカ(株) 株式会社プリマム(株) 株式会社ブルドックソース(株) 株式会社金帝 株式会社マザー牧場 三井食品(株) 株式会社 Mizkan HD: ミツカン ミヨシ油脂(株) 山崎製パン(株) 株式会社山屋 ユースキン製薬(株) 株式会社雪印種苗(株) 株式会社雪印メグミルク(株) 株式会社雪印冷凍(株) ロゼット(株) 渡辺パイプ(株)	アース・ベット(株) 赤城乳業(株) アスクル(株) イカリ消毒(株) 伊藤忠食品(株) 江崎グリコ(株) エバラ食品工業(株) 株式会社大塚製薬工場 加藤産業(株) 株式会社ケンヤ 株式会社久世 株式会社江東微生物研究所 国土緑化(株) 株式会社サラダコモ シマダヤ(株) 城北信用金庫 株式会社神明 ホールディングス 株式会社セレサ川崎 農業協同組合 生活クラブ生活 全農チキンフーズ(株) タカノフーズ(株) タマノイ(株) 株式会社鉄建建設 東京セキスイハイム(株) 株式会社タカナシ乳業 トモエ乳業(株) 中島水産(株) 株式会社ナガノマト 日本中央競馬会 日本光電工業(株) 日本食品 分析センター フィード・ワン(株) 富士森乳業(株) ホクト(株) 株式会社ポッカサッポロフード & ビバレッジ(株) 株式会社ヤマザキビスケット(株) 株式会社ヤマザキ醤油 株式会社ユアサ・フナショク(株) 株式会社UCC 上島珈琲(株) 株式会社持田製薬(株) 株式会社森久保薬品(株) 守山乳業(株) 株式会社ヤオイサンフーズ 株式会社ユニバーサル園芸社	アイベツ損害保険(株) アイリスオーヤマ(株) アジア航測(株) アリアケジャパン(株) アルテア技研(株) アルフレックス(株) 株式会社石勝エクスティア 伊藤忠飼料(株) エムケース(株) エムケースチーズ(株) 株式会社折業 HD オリスクス水族館(株) カオメ(株) 片倉コープアグリ(株) 株式会社神戸屋 株式会社サンデリカ JA 全農ミートフーズ(株) JA 横浜: 横浜農業協同組合 ジェイカムアグリ(株) 生活クラブ生活 協同組合・神奈川県 西武造園(株) 株式会社全農 ビジネスサポート ソントン食品工業(株) 中館飼料(株) 株式会社東京食肉市場 東洋製罐グループ HD (株) ニッポンハムグループ 日本総合住生活(株) 長谷川香料(株) 人の森(株) 株式会社ファンケル 株式会社マルイチ産商 丸大食品(株) 味覚糖(株) 株式会社武蔵野 HD 株式会社ヤマザキビスケット(株) 株式会社ヤマザキ醤油 株式会社ユアサ・フナショク(株) 株式会社UCC 上島珈琲(株) 株式会社横浜森乳業(株) 株式会社理研ビヒムン(株) 株式会社わかもと製薬(株)	株式会社アーネストワン 株式会社アイネット 株式会社アキホホーム 旭食品(株) 株式会社池田理化 株式会社いなげや 株式会社NSD 株式会社銀座コーナー 株式会社クリエイトエス・デー 株式会社丸井 株式会社サンドラッグ オリーブス水産(株) ジズクン(株) 株式会社島津サイエンス東日本(株) 城南信用金庫 新菱冷熱工業(株) 株式会社鈴鹿蒲鉾本店 住商アグリビジネス(株) 西武信用金庫 全農畜産サービス(株) クリエーション(株) 株式会社高山 千葉製粉(株) 株式会社月島食品工業(株) 東京青果(株) 株式会社トーモク 株式会社巴商会 内外 エンジニアリング(株) 中林建設(株) 日本ビジネス システムズ(株) 株式会社日立ハイテック 株式会社ソリューションズ 株式会社日立プラントサービス 株式会社福田道路(株) 株式会社補助工業(株) 株式会社フリーデン 株式会社マツモトキョーグループ 株式会社ユアサ・フナショク(株) 株式会社UCC 上島珈琲(株) 株式会社横浜森乳業(株) 株式会社横浜肉ミシン(株) 株式会社わかもと製薬(株) 株式会社若鈴コンサルタンツ(株)	秋本食品(株) アップコン(株) 株式会社アンデルセングループ 岩井機械工業(株) ウエルシア薬局(株) 株式会社ヴィ・ド・フランス 永大産業(株) 株式会社大月真珠 加藤化学(株) 株式会社神奈川県厚生農業 協同組合連合会 株式会社カネ美食品(株) 株式会社協同油脂(株) 株式会社ほらばし銀行 株式会社島津サイエンス東日本(株) (オリエントランドグループ) 株式会社クリニコ 株式会社高遠 株式会社コーナン商事 株式会社北海道開発局 株式会社コムロ 株式会社栄屋乳業(株) 株式会社シノヤ精機(株) 株式会社鈴茂器工(株) 株式会社第一製パン(株) 宝製薬(株) 株式会社タマホーム 株式会社築地魚市場 株式会社特別区人事 委員会事務局 株式会社熊虎屋 株式会社ニチモウ(株) 株式会社日本製紙木材(株) 株式会社日本ホワイトファーム(株) 株式会社東日本旅客鉄道(株) (JR 東日本) 株式会社PCUソリューションズ 株式会社ヒューテックノリン 株式会社富士食品工業(株) 株式会社保健科学研究所 株式会社ミート・コンパニオン 株式会社マイクロソフトウエア 株式会社三本珈琲(株) 株式会社三本ミヨシグループ 株式会社ヤマトシステム開発(株) 株式会社有機合成薬品工業(株) 株式会社UCC コーヒー 株式会社プロフェッショナル(株) 株式会社ユニフォーム 株式会社横浜丸中(株) 株式会社ヨシモトアグリ(株) 株式会社若鈴コンサルタンツ(株) 株式会社横山屋 株式会社ユアサ 株式会社ユザワヤ商事(株) 株式会社横浜市役所 株式会社横浜丸中(株) 株式会社ヨシモトアグリ(株) 株式会社若鈴コンサルタンツ(株) 株式会社横山屋 株式会社ユアサ 株式会社ユザワヤ商事(株) 株式会社横浜市役所 株式会社横浜丸中(株) 株式会社ヨシモトアグリ(株) 株式会社若鈴コンサルタンツ(株)	旭建設(株) 株式会社アナザーウェア 株式会社アンデルセングループ イオホールディング(株) 株式会社ヴィ・ド・フランス 永大産業(株) 株式会社大月真珠 加藤化学(株) 株式会社神奈川県厚生農業 協同組合連合会 株式会社カネ美食品(株) 株式会社協同油脂(株) 株式会社ほらばし銀行 株式会社島津サイエンス東日本(株) (オリエントランドグループ) 株式会社クリニコ 株式会社高遠 株式会社コーナン商事 株式会社北海道開発局 株式会社コムロ 株式会社栄屋乳業(株) 株式会社シノヤ精機(株) 株式会社鈴茂器工(株) 株式会社第一製パン(株) 宝製薬(株) 株式会社タマホーム 株式会社築地魚市場 株式会社特別区人事 委員会事務局 株式会社熊虎屋 株式会社ニチモウ(株) 株式会社日本製紙木材(株) 株式会社日本ホワイトファーム(株) 株式会社東日本旅客鉄道(株) (JR 東日本) 株式会社PCUソリューションズ 株式会社ヒューテックノリン 株式会社富士食品工業(株) 株式会社保健科学研究所 株式会社ミート・コンパニオン 株式会社マイクロソフトウエア 株式会社三本珈琲(株) 株式会社三本ミヨシグループ 株式会社ヤマトシステム開発(株) 株式会社有機合成薬品工業(株) 株式会社UCC コーヒー 株式会社プロフェッショナル(株) 株式会社ユニフォーム 株式会社横浜丸中(株) 株式会社ヨシモトアグリ(株) 株式会社若鈴コンサルタンツ(株)	アマノ(株) イービーエス(株) 株式会社イトーヨーカ堂 株式会社イー・シー・ティ 株式会社大田花き 神奈川県 かながわ信用金庫 川崎市役所 キスコフーズ(株) 株式会社キユーソン 株式会社流通システム 株式会社協同油脂(株) 株式会社協同製薬 株式会社佐政水産(株) 株式会社正栄食品工業(株) シンポー 株式会社情報システム(株) 株式会社ウェーデンハウス 株式会社ソフテム 株式会社太陽誘電 株式会社ケミカル 株式会社テクノロジー(株) 株式会社滝沢ハム(株) 株式会社タキヨー(株) 株式会社地崎道路(株) 株式会社公益社団法人 中央畜産会 株式会社中央畜産会 株式会社東京多摩青果(株) 株式会社東武緑地(株) 株式会社島屋 株式会社ニクニ 株式会社(株)西原商会 株式会社日建リース工業(株) 株式会社日新化工(株) 株式会社日東製網(株) 株式会社はごもフーズ(株) 株式会社(株)美十 (おたがグループ) 株式会社(株)船昌 株式会社(株)フラー 株式会社オークションジャパン 株式会社(株)フルシ EPO (株) 株式会社(株)ボソリサチ センター 株式会社(株)町田食品(株) 株式会社(株)丸善食品工業(株) 株式会社(株)丸千代田水産(株) 株式会社(株)メフォス 株式会社(株)八千代 株式会社(株)エンジニヤリング(株) 株式会社(株)ヤマタネ 株式会社(株)ユアサ 株式会社(株)花園 株式会社(株)横浜魚類(株)

2月24日 対面式	2月25日午前 対面式	2月25日午後 対面式
藤原市役所 小田原市役所 神奈川県警察 千葉県警察	農林水産省 横浜植物防疫所 日清医療食品(株) 株式会社野澤組	フィード・ワン(株) 横浜丸中青果(株) ライト工業(株) 渡辺パイプ(株)
株石勝エクスティア 出光ユニテック(株) 株式会社エムケース(株) 株式会社カネコ種苗(株)	株石勝エクスティア 出光ユニテック(株) 株式会社エムケース(株) 株式会社カネコ種苗(株)	株石勝エクスティア 出光ユニテック(株) 株式会社エムケース(株) 株式会社カネコ種苗(株)



人気業界への就職は、半数近くが合同企業セミナー経由

本学部では、内定者の多くが学部主催の「合同企業セミナー」を通じて内定を得ています。とくに人気の高い「食品業界」や「医薬品・化粧品・化学業界」、「農業関連業界」では、セミナー経由の就職が半数近くに及ぶなど、その成果は圧倒的です。



公務員志望者への手厚いサポート

公務員をめざす学部生に対しては、情報収集や学習の手助け、相談など、一人ひとりの準備段階に応じて手厚いサポートを用意しています。

説明会・相談

●自治体等職員採用説明会
毎年、全国の自治体や各種団体の採用担当者をお招きし、湘南キャンパスにて開催される採用説明会です。専門性を生かせる「獣医師」、「農業土木職」、「水産職」、「林業職」など、公務員志望者にとっては、将来の仕事内容などについて知る貴重な機会となっています。

相談コーナー

迷ったときや困ったときは、一人で悩まずキャンパス内の相談コーナーへ。幅広い知識を持った専門の相談員が親身に話を聞き、一緒に解決策を探します。

令和3年度に実施した講座実績

- 【1・2年次対象】
 - 公務員試験 入門講座(通年コース・集中コース)
- 【3年次対象】
 - 公務員試験 教養科目実践講座
 - 公務員試験 行政職完成講座
 - 公務員試験 警察官・消防官講座
 - 公務員試験 直前特化講座
- 【4年次対象】
 - 二次試験対策(面接・政策課題討議対策講座)
 - 模擬試験

講座・模試

公務員試験対策講座

公務員試験対策で実績のある大手予備校から専任講師を招き、各種公務員試験に共通する教養試験科目の対策に取り組む課外講座です。質の高い講義を手軽な料金で受講することができます。公務員講座は、低年次(1・2年次)を対象とした「入門講座」を皮切りに「実践講座」「合格完成講座」など、ステップアップして実力を養います。

公務員試験専門科目講座

学部の専任教員約50人が担当し、国家総合職、国家一般職、地方上級職での各種専門科目試験に対応した講義を開講しており無料で受講できます。

模擬試験

公務員試験前に実施する模擬試験は無料です。周囲と比べて自分がどこまでできているか、実力を確認する格好の機会になります。

民間企業希望者への手厚いサポート

令和3年度に実施した講座実績

- ステップアップ講座
- 自己分析
 - ・自己PR対策講座
 - ・自己表現力アップ講座
 - ・エントリーシート対策講座
- グループディスカッション対策講座
- 面接対策講座
 - ・企業人事模擬面接指導
 - ・集団模擬面接
 - ・個人面接レッスン 等
- 筆記試験対策講座
 - ・筆記試験総合対策セミナー
 - ・SPI模擬試験+SPI解説対策講座
 - ・Web型(SPI・玉手箱等)模擬テスト
 - ・就職筆記試験(非言語)対策講座

就職ガイダンス

民間企業の採用活動は年々早まっています。そのための準備として就職活動準備期の3年次に対し、「就職ガイダンス」を年間通して必要な時期に開催。就職活動の基礎から全体像をつかむために必要な知識を、専門講師が指導します。

現在の就職活動では欠かせないインターンシップ(IRS)については、「IRSガイダンス」にて概要やエントリーの方法、選考対策などを説明します。

ステップアップ講座

筆記試験対策講座
就職活動において「自分を知る(自己分析)」ということは、就活の初期では方法がわからないものです。個々のスキルアップを目的とした「ステップアップ講座」では、自己分析の方法を学び、自己PRをすること、エントリーシート・履歴書を書くことなどを指導していきます。

スゴい!

03

企業編

生物資源科学を学んだ人材に、期待する企業が多くてスゴい!

民間企業就職の概要

生命・食料・資源・環境など、多彩な専門分野をフィールドとする生物資源科学部は、これまで幅広い分野の企業に数多くの優秀な人材を輩出し、産業界との間に揺るぎない信頼関係を築いてきました。その期待や注目の大きさは、本学部の就職関連イベントをご覧になれば一目瞭然。業界を代表する数多くの有力企業・団体の方々が、本学部の採用を目的に、ここ湘南キャンパスにお越しいただいています。

食品関連、医薬・化学系、建設・土木・造園系、農学系をはじめ、卒業後の進路と可能性は多彩です。そこで生物資源科学部では、企業の人事採用担当者

に直接話を聞ける「学内合同企業セミナー」を毎年度実施。本学部生を採用したいと考えている約500もの企業・団体に参加いただきました。このセミナーは、さまざまな企業の特徴や仕事の内容を理解して自分の希望進路を明確にし、その後の就職活動を成功へとつなげていく絶好の機会となっています。

※令和2年度はZoomによる「オンライン合同企業セミナー」を開催。



ようにします。そして12月と2月の「合同企業セミナー」において企業人事担当者と面談することで、志望動機付けを行っていきます。



令和3年度に実施した講座実績

- 業界・企業研究
 - 業界・企業理解のワザガイダンス
 - つながる理解パネルトーク
 - 日経で知っておく商社・食品業界
 - 業界研究・企業研究のやり方を学ぶ
 - 食品業界基礎講座
 - 医薬品業界基礎講座
 - 建設・道路業界理解セミナー
 - 世界/日本トップクラス企業と優良企業の探し方
- 業界別オンラインインターンシップ企業説明会
 - ※説明会はLIVE配信とオンデマンド配信で実施
- 学内合同企業セミナー12月開催
- 学内合同企業セミナー 2月開催
 - ※令和3年度の開催方法はZoomによるオンライン形式

公務員の職種・仕事とは？

公務員には大きく分けて国の官庁などで働く国家公務員と、都道府県や市区町村、警察や消防などで働く地方公務員があります。国家公務員の試験（筆記試験・人物試験など）は主に人

事院が一括して行い、各省庁が採用します。地方公務員は、各自自治体が行います。試験日程が異なる自治体もあるので、複数受験することも可能です。

働きやすい職場環境・女性採用の増加

公務員は、法律でその身分を保障されています。ワークライフバランスに関する取り組みも積極的に行われ、女性にとっても働きやすい環境が整っています。

誇りを持って働ける一生の仕事

公務員の仕事は、社会のためのルールをつくり、社会の活性化を支える、大きなやりがいのある仕事です。

高水準で安定した収入

公務員平均年収（一般行政職）は、約600万円となっており、民間企業の平均年収と比べて高い水準で安定しています。

多様な業務に携わることができる

公務員の職場には多様な部署があります。3～5年程度で部署を異動する機会が多く、さまざまな分野の業務に携わることができます。また、研修制度も充実しています。

驚くほど幅広い、公務員のフィールド

公務員の仕事には事務的な職種（行政職など）のほかに、理系分野の知識や技術が必要とされる技術職もあります。ここでは、生物資源科学部の卒

業生が進路とすることの多い職種を選び、就職の近道となる学科とともにご紹介します。

将来の仕事も考えて学科を選ぼう！

畜産職

畜産の振興、生産基盤の整備、家畜伝染病の予防、畜産農家への技術指導など

めざすなら？
→アグリサイエンス学科

農業職

農業の振興、農業に関する技術開発、試験研究、農業者への技術指導など

めざすなら？
→アグリサイエンス学科

林業職

林業の振興、公有林の管理、治山事業、森林所有者への技術指導など

めざすなら？
→森林学科

土木職

市街地や農地の再開発、河川などの管理、直路や上下水道の管理・保全など

めざすなら？
→環境学科

農業土木職

農地の区画整理、かんがい排水施設・農道改良、土地改良など

めざすなら？
→環境学科

水産職

水産資源の管理・調査、栽培漁業の推進、漁業調整や取締りなど

めざすなら？
→海洋生物学

化学職

生活環境の保全・モニタリング、衛生管理、騒音・粉じん・水質管理など

めざすなら？
→バイオサイエンス学科
環境学科

造園職

公園・庭園などの整備・保全・施設管理など

めざすなら？
→アグリサイエンス学科、森林学科

獣医師

家畜伝染病の予防や畜産農家への指導、食品安全や公衆衛生行政、動物愛護など

めざすなら？
→獣医学

行政職

企画・政策立案、管理など、事務的な業務

めざすなら？
→全学科

※職種名や職務内容は自治体などによって異なります。

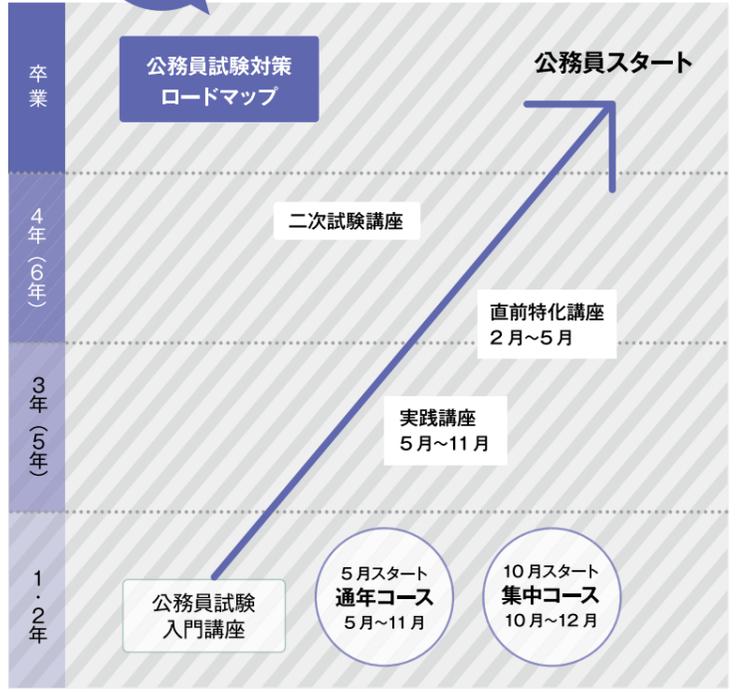
公務員試験の概要と、準備しておきたいこと

公務員という仕事に興味を持った人にとって、最初に大きな壁となるのは公務員試験の概要です。採用試験内容は筆記試験、適性検査、面接等。一次試

験は筆記で、教養試験と専門試験が行われます。二次試験は記述式の筆記試験や論文、面接などがあります。



1年次から始められる！



■第一次試験

●教養試験・基礎能力試験
地方公務員試験の教養試験は、試験区分に関係なく共通に課されるものです。出題科目は、一般知能分野（文章理解、判断推理、数的推理、資料解釈）と、一般知識分野（社会科学、人文科学、自然科学、時事等）に大別できます。国家公務員試験で実施されている基礎能力試験は、一般知能分野に重きを置いた構成です。一般知識分野の出題は少なく、時事問題が多く出題されます。

●専門試験
農業職、土木職など、各試験の区分に

■第二次試験

専門記述式試験、論文試験、人物試験（面接等）、適性検査などが課されます。地方公務員試験では、人物試験として集団討論、グループワーク、プレゼンテーション試験などが行われる場合もあります。警察官・消防官などは、身体検査や体力試験も実施されます。

応じて必要な専門的知識、技術などの能力を測るために課されるものです。専門試験については択一式のほかに、与えられた課題について論述する記述式の試験が課される場合があります。

進路別に充実した キャリア支援

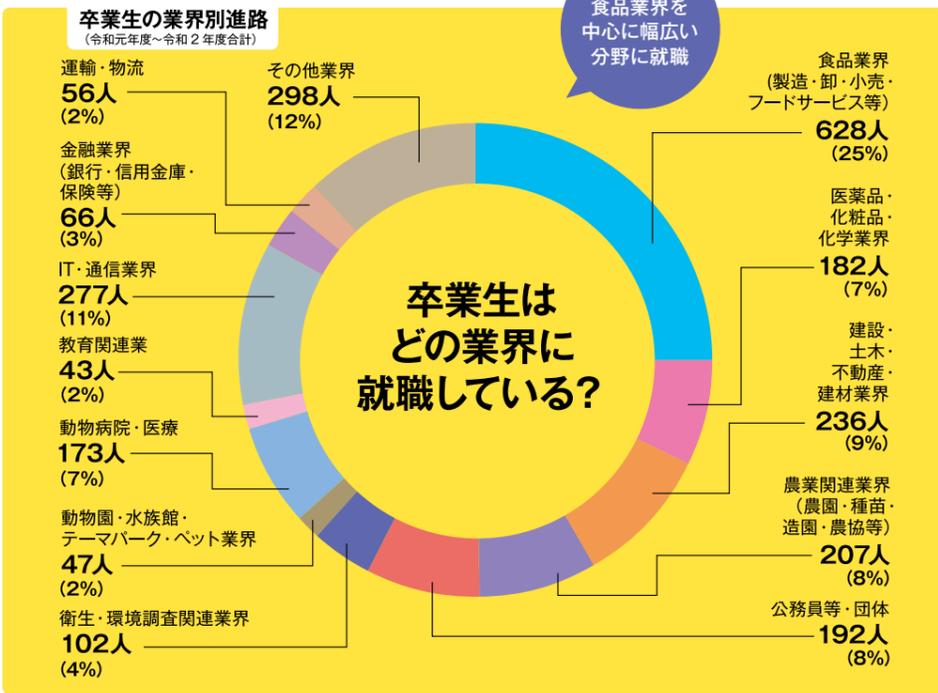
入学後から
卒業後も続く、
キャリア支援がすごい！

すごい！
01
概要編

将来の進路や就職のことなんてまだ先の話、卒業までにゆつくり決めれば良い。そんなふうに軽く考えてはいませんか。今後あなたがどのようなキャリアを積み、どのように人生を充実させていくか、そのスタートラインは、大学入学時、いえ、大学を選ぶ現時点でもう始まっているのです。日本大学生物資源科学部が、社会から得ている揺るぎない信頼、そして学生一人ひとりに寄り添った就職支援活動。ここではその一端をご紹介します。

生物資源科学部の 就職状況・特徴

幅広い分野の企業、団体・官公庁への豊富な就職実績があります。令和4年3月卒業生の就職希望者に対する就職率は96.4%、女子学生のみでの就職率は97.3%を達成。また、国家公務員、地方公務員の採用試験には、当該年度で147名が合格し、実際に100名が採用されています。これは就職した学生の8%に及んでいます。



就職支援活動の概要

本学部では、日本大学全体で実施される就職支援に加え、ここ湘南キャンパスを拠点として行われる学部独自の就職指導にも特に力を入れています。就職活動のノウハウを伝授するもの、企業や社会の動向を知るためのもの、語学のスキルを磨くものなど、年間を通してさまざまな就職支援行事があり、学生は個々のニーズに応じて参加することができます。また、多くの行事が湘南キャンパスで開催されるため、授業や研究活動、学生生活との両立も容易です。

低年次(1・2年)からの支援

入学した最初の年は、専門教育を学ぶ上で必要となる基礎知識を身に付け、大学での人間関係を構築する大切な時期です。就職支援としては、主に「働くとは何か」といった社会人としての心構えやコミュニケーション力の強化など、就職に対する意識を高めるカリキュラムを用意。学生一人ひとりが夢を実現するための基礎づくりをサポートします。

キャリアガイダンス

1・2年次の4月に実施。主体的な「未来選択」ができることを目的に早期から「将来やりたいこと」「働く価値観」を考え、卒業後のキャリアを見据えた行動・考え方を踏まえた大学生活が送れるようガイダンスで指導しています。

●公務員導入ガイダンス

公務員を志望する学生向けに、公務員試験の概要や今後の対策講座などを解説します。

●TOEIC®対策講座

TOEIC®L&Rテストの点数アップをめざす対策講座です。英語教育に精通した日本人講師が日本人特有の英語力の弱点を指摘し、リスニングの強化、基本的な語彙・文法を習得すると同時に自己学習法を紹介します。

就活準備時期(3年・獣医5年)の支援

昨今の早期化した企業採用活動に対応した就職支援行事を実施。例えば、就職活動の全体的な概要を知る「就職ガイダンス」、3年次の夏から始まるインターシップ対策の「インターシップガイダンス」、就職活動で一番重要な「自己分析」は、「ステップアップ講座」で実施します。また、最近では試験の種類が多岐に渡り、対策なしでは本番で痛い目にあうことから「筆記試験対策講座」も重視。とくに本学関連企業を多数お呼びする「業界・企業研究・合同企業セミナー」は、最も力を入れている行事です。このように本番までの準備期となる1年間は、約100講座を開講し支援していきます。

※志望先に特化した支援活動は、次の公務員編、企業編もご覧ください。

●セミナールーム

(就職支援センター内)

通常の就職ガイダンスや講座とは一味違った「カジュアルな」就活イベントを開催。参加予約などは基本的に不要で、途中入室や退室も自由。リラックとした雰囲気の中、企業の採用担当者や先輩方と楽しく情報交換できる貴重な機会です。

●就職相談コーナー

(就職支援センター内)

就職やインターシップに関する個別相談を受け付けます。業界・企業研究、ES・履歴書添削、面接練習などのサポート、就活前の「いまから準備できることは何だろう」、「そもそもやりたいことが見つからない」といった不安・疑問に関する相談にもお応えします。

●就職活動報告書

「後輩のために」

日本大学全学部に届いた1万件超の求人情報を閲覧できる「NU就職ナビ」では、就職活動報告書「後輩のために」も閲覧できます。これは先輩方が残してくれた宝物。さまざまな業界に挑んだ先輩方の体験から、就活の現実やノウハウを肌で感じることができます。

卒業年次と 卒業後の支援

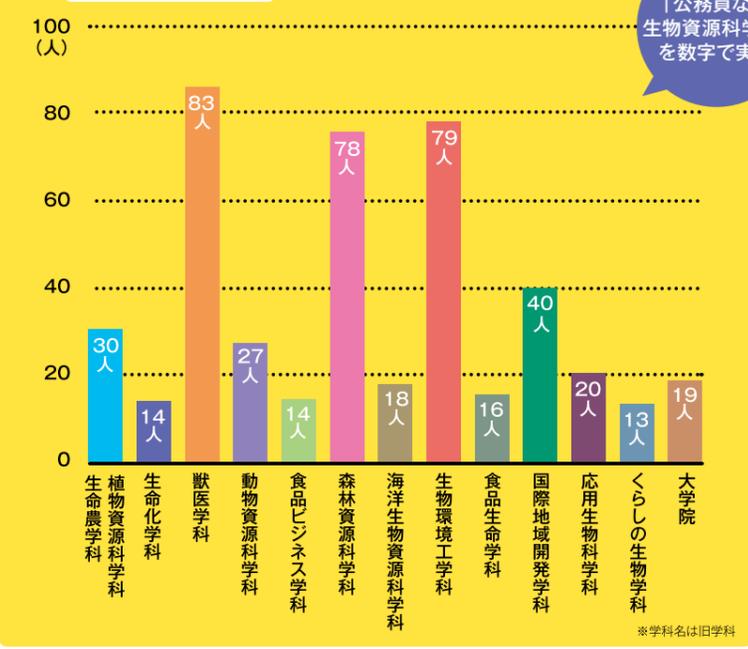
4年次(獣医学科は6年次)といえは、昨今は就活も終盤。内定先の決まっていない学生は、不安な思いを募らせがちな時期です。しかし、そんな場合も

すごい！
02
公務員編

公務員は
ひとつじゃない、
いろんな仕事に
就けるからすごい！

官公庁や地方自治体では、獣医・食・農・環境などの知識を持った人材を常に必要としています。生物資源科学部は、特に専門性の高い分野の公務員に強く、これまで幅広い公的機関に優秀な卒業生を輩出してきました。ひと口に公務員といっても、さまざまな組織・

学科別公務員就職数
(平成28年度～令和2年度まで)



「公務員なら
生物資源科学部」
を数字で実証

業務が存在するため、自分のスキルや興味などを考え、民間同様インターン

シップなどの機会を利用し、1年次のうちから早めに参加してください。

●4年次フォロー講座
未内定学生向けに、一次選考も兼ねた学内企業説明会を実施し、内定獲得をサポート。さらに、キャリアアカウンセラーによる個別相談、求人情報の個別提供、合同企業説明会開催など、卒業まで個別的・重点的な支援を継続します。

●卒業後の支援
卒業後3年間は、学部が有する求人情報の提供など、新卒者と同じように就職支援を継続。公的な就職支援事業と連携しながら、就職活動をサポートします。困ったときは、迷わず就職支援センターをお訪ねください。

学生生活を楽しみ、確かな夢を描く

LIFE ライフ編 SIDE



湘南藤沢で、 あなたの未来を見つけよう。

4年間（獣医学科は6年間）の大学生活。あなたはどんな挑戦をしてみたいですか。そしてその先が続く未来で、あなたはどんな夢をかなえようと思っていますか。自然と文化に恵まれた湘南エリアなら、あれもこれも好きなことができます。生物資源科学部なら、あなたが思い描く未来へのサポートを惜しみません。充実したキャンパスライフと、希望に満ちたキャリアライフ。そのすべてを、この場所から始めてみませんか。

CONTENTS

02	夢を叶える 生物資源科学部はここがスゴイ!進路別に充実したキャリア支援	 広く研究を知り、 自分の学びを選ぶ スタディ編 STUDY SIDE	
09	学びによりそう 一人ひとりを支える教育支援体制		
11	先輩からのメッセージ 生物資源科学部で学び、社会で活躍する先輩たち MESSAGE FROM GRADUATES		学部長からのメッセージ ————— 02
17	フィールドでのリアルな学び FIELD SCIENCE & CAMPUS LIFE		学びのキーワード 生物資源科学部の新しい11学科で学べること 04
26	課外活動紹介 CLUB & CIRCLE		11学科の研究と学びの特色 学科紹介 ————— 06
27	湘南エリア紹介 ロケーション	より高度な学びへ 大学院紹介 ————— 50	
		ここが知りたい Q&A 新しい生物資源科学部での学び方 52	

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）に関する本学部の対応について

本学部ではコロナ禍での学修をより安心して安全に効率よく実施するため、学生の健康管理システムの導入やIT環境のさらなる整備、対面授業を安心して実施するために入構システム、空調の管理、講義室での感染防御対策などを強化しています。

【入構時の検温の徹底】入構する学生・教職員はサーモグラフィーにて体温をチェック

【手指消毒の徹底】各建物の入り口に手指消毒用のアルコールを設置

【飛沫感染防止対策】全ての講義室にアクリル板を設置

※本学部案内の制作に付随する取材、インタビュー、写真撮影などにつきましても、感染症対策に充分留意しながら実施しています。



一人ひとりに
合わせたサポートで、
あなたの夢をかなえます。

ご存じのように日本大学は大きい大学です。
でも、生物資源科学部の学生を見つめる眼差しは、想像以上にきめ細やか。
私たちは一人ひとりの個性や興味に寄り添うことで、
誰もが安心して学生生活を送り、将来のキャリアが描けるよう、
徹底した学生ファーストの教育・就職サポートを用意しています。
色とりどりの夢を、ぜひこのキャンパスで見つけましょう。



生物の謎を解く、最先端のその先へ。

日本大学生物資源科学部

NIHON UNIVERSITY College of Bioresource Sciences

バイオサイエンス学科 / 動物学科 / 海洋生物学科 / 森林学科 / 環境学科 / アグリサイエンス学科
食品開発学科 / 食品ビジネス学科 / 国際共生学科 / 獣医保健看護学科 / 獣医学科 設置届出書類提出中

〒252-0880 神奈川県藤沢市亀井野 1866 TEL.0466-84-3812 <https://www.brs.nihon-u.ac.jp> ※設置計画は予定であり内容が変更となる場合があります。



二次元バーコードに関して、デバイスによっては読み取れない場合があります。

